

**平成 23 年度 健保組合医療費（医科・歯科・調剤）
の動向に関する調査分析報告**

平成 24 年 11 月

健康保険組合連合会 IT 推進部データ分析推進グループ

調査分析の目的と概要

- 本調査分析は、第 1 部「平成 23 年度の健保組合医療費の動向」として、通年でご提供頂いた 609 組合のレセプトを対象に「医科」・「歯科」・「調剤」の医療費について、1 人当たり医療費及び医療費 3 要素を軸にその動向を調査し、傾向を把握するものです。
- 第 2 部「平成 22 年度と 23 年度の比較分析」では、同一の 450 組合のレセプトを対象に、医療費の伸び率や 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素の前年同期比の伸び率から、医療費の増減の要因を調査・把握するものです。
- それぞれ医療費の基本数値となる、1 人当たり医療費及び医療費 3 要素を軸に様々な視点から医療費の構造分析を試みたものであり、基礎的な参照数値としてご活用頂ければ幸いです。

※なお、本内容によるデータは、全組合の集計ではなく、対象組合数が限定されていること、23 年度と 22 年度の比較は、便宜上、加入者調整等を考慮していない単純比較のため、必ずしも組合全体を正確に反映したものではありません、若干、偏りが生じている可能性があることにご留意下さい。

第 1 部：平成 23 年度の健保組合医療費の動向の対象データ（609 組合）について

◇全体の概要◇

組合数	区分	加入者数（名）	受診者数（名）	レセプト件数（件）	診療実日数（日）	処方せん受付回数（回）	診療費（円）	
609 組合	医科・歯科（計）	13,632,138	12,610,181	143,577,201	164,474,703	57,635,408	1,864,995,821,100	
	医科		医科（計）	11,890,416	79,514,211	128,167,977	-	1,273,704,521,430
			入院	674,584	1,098,007	10,413,007	-	476,180,089,410
			入院外	11,874,660	78,416,204	117,754,970	-	797,524,432,020
	歯科		歯科（計）	6,095,171	19,044,387	36,306,726	-	223,765,605,540
			入院	10,377	12,506	69,518	-	3,408,693,880
			入院外	6,095,130	19,031,881	36,237,208	-	220,356,911,660
調剤		9,347,417	45,018,603	-	57,635,408	367,525,694,130		

◇本人・家族別の概要◇

組合数	加入者区分	人数	区分	受診者数(名)	レセプト件数(件)	実日数(日)	処方せん受付回数	医療費
609 組合	本人	7,100,725	医科・歯科(計)	6,365,564	66,366,392	76,043,454	24,466,855	939,995,352,380
			医科(計)	5,909,296	36,475,257	56,460,534		627,936,794,840
			入院	310,909	504,277	4,631,038		233,873,716,880
			入院外	5,905,208	35,970,980	51,829,496		394,063,077,960
			歯科(計)	2,987,981	9,715,783	19,582,920		124,688,840,210
			入院	5,202	6,333	37,608		1,732,403,420
			入院外	2,987,963	9,709,450	19,545,312		122,956,436,790
	調剤	4,487,640	20,175,352		24,466,855	187,369,717,330		
	家族	6,531,413	医科・歯科(計)	6,244,617	77,210,809	88,431,249	33,168,553	925,000,468,720
			医科(計)	5,981,120	43,038,954	71,707,443		645,767,726,590
			入院	363,675	593,730	5,781,969		242,306,372,530
			入院外	5,969,452	42,445,224	65,925,474		403,461,354,060
			歯科(計)	3,107,190	9,328,604	16,723,806		99,076,765,330
			入院	5,175	6,173	31,910		1,676,290,460
入院外			3,107,167	9,322,431	16,691,896		97,400,474,870	
調剤	4,859,777	24,843,251		33,168,553	180,155,976,800			

【参考】 医療費3要素と1人当たり医療費について

(1) 受診率(1人当たり件数) = 一定期間における医療機関の診療件数 ÷ 一定期間における平均加入者数

- 受診率とは、加入者が一定期間にどのくらいの頻度で医療機関に受診したのかを示す指標です。
- ある地域、業態等で受診率が全国平均よりも高い場合には、その地域、業態において医療機関に受診する人の割合が高いことを示しています。受診率の伸び率が高いということは、医療機関に受診する人が増えていることを示しています。

- (2) **1 件当たり日数** = **受診（延べ）日数（入院・入院外）** ÷ **総レセプト枚数（レセプト総数：入院・入院外）**
- 1 件当たり日数とは、1 つの疾病を治療するために医療機関に通院した日数（あるいは、入院日数）を表し、診療実日数を診療報酬明細書（レセプト）で割ったものです（ただし、必ずしも、患者の疾病期間と一致するものではない点に注意）。
 - 1 件当たり日数の傾向として、入院 1 件当たり日数が多ければ入院期間が長く、入院外 1 件当たり日数が多ければ、通院頻度が高いと考えることができます。
- (3) **1 日当たり医療費** = **一定期間における医療費（請求金額）** ÷ **一定期間における診療実日数**
- 1 日当たり医療費は、医療費の単価を表し、医療費を診療実日数で割ったものです。
 - 1 日当たり医療費が高い場合には、1 回の診療、あるいは 1 日の入院にかかる費用が高いことを示しています。
- (4) **1 人当たり医療費** = **医療費総額** ÷ **加入者数**
- 1 人当たり医療費（入院・入院外・合計）は、医療費総額を加入者数で割ったものです。
 - 『医療費 3 要素』の概念を使うと、**受診率** × **1 件当たり日数** × **1 日当たり医療費** となります。

その他：調剤レセプト、年齢階層区分について

(1) 調剤レセプトのデータ集計における表記

調剤レセプトでは、診療実日数ではなく、処方せん発行回数を使用して算出しています。このため、「1 件当たり日数」は「1 件当たり回数」、「1 日当たり医療費」は「1 回当たり医療費」と表記します。

(2) 75 歳以上の数値計上について

75 歳以上の加入者は原則、後期高齢者医療制度の適用対象者のため統計上、存在しないはずですが、①診療年月日を診療年月の月末として計算しており、75 歳の誕生日を迎える月に誕生日前に診療を受けた場合に年齢が 75 歳となるため、75 歳以上に計上しているほか、②外国に住所を有する 75 歳以上の加入者についても 75 歳以上に計上しています。

第 1 部 平成 23 年度の健保組合（609 組合）医療費の動向

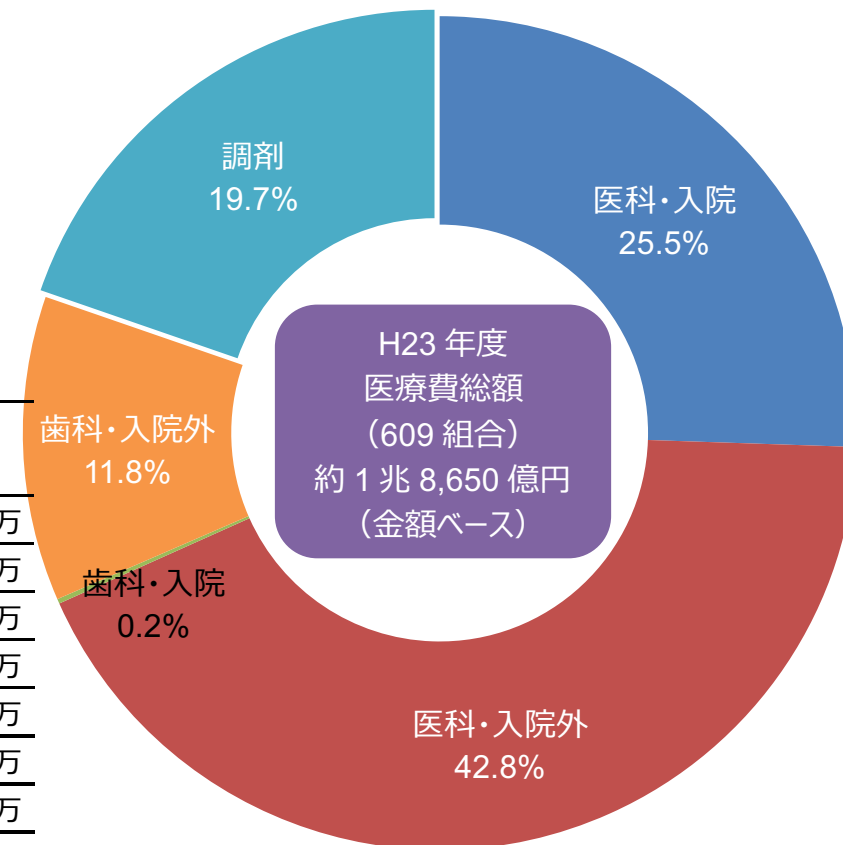
I . 平成 23 年度の医療費の概観

1. H23 年度健保組合（609 組合）の医療費:総額と種類別割合

- H23 年度の 609 組合（加入者総数 1,363 万 2,138 名）の医療費総額（医科・歯科・調剤）は、約 1 兆 8,650 億円となっている。
- 金額ベースの割合をみると、①医科・入院外：42.8%、②医科・入院：25.5%、③調剤：19.7%—となっており、調剤の占める割合が約 20%となっている。

【参考】

H23 年度	受診者数 (名)	レセプト件数 (件)	診療実日数 (日)	医療費 (円)
総計	12,610,181	143,577,201	164,474,703	1 兆 8,649 億 9,582 万
医科 (計)	11,890,416	79,514,211	128,167,977	1 兆 2,737 億 452 万
入院	674,584	1,098,007	10,413,007	4,761 億 8,009 万
入院外	11,874,660	78,416,204	117,754,970	7,975 億 2,443 万
歯科 (計)	6,095,171	19,044,387	36,306,726	2,237 億 6,561 万
入院	10,377	12,506	69,518	34 億 869 万
入院外	6,095,130	19,031,881	36,237,208	2,203 億 5,692 万
調剤	9,347,417	45,018,603	-	3,675 億 2,569 万



注) 「医科」・「歯科」の入院には「調剤」が含まれる。

2. H23 年度健保組合（609 組合）の医療費：1 人当たり医療費と医療費 3 要素

	1 人当たり 医療費（万円）		受診率 （1 人当たり件数）		1 件当たり 日数（日）		1 日当たり 医療費（千円）	
	本人	家族	本人	家族	本人	家族	本人	家族
医療費（総計）	13.2	14.2	9.35	11.82	1.15	1.15	12.4	10.5
医科（計）	8.9	9.9	5.14	6.59	1.55	1.67	11.1	9.0
（入院）	3.3	3.7	0.07	0.09	9.18	9.74	50.5	41.9
（入院外）	5.5	6.2	5.07	6.50	1.44	1.55	7.6	6.1
歯科	1.8	1.5	1.37	1.43	2.02	1.79	6.3	5.9
（入院）	0.02	0.02	0.00	0.00	5.94	5.17	46.1	52.5
（入院外）	1.7	1.5	1.37	1.43	2.01	1.79	6.3	5.8
調剤（計）	2.6	2.8	2.84	3.80	1.21	1.34	7.7	5.4

【参考】

厚生労働省「平成 23 年度医療費の動向」（H24 年 8 月 4 日）より

	1 人当たり 医療費（万円） （被用者保険）		1 日当たり 医療費（千円） （制度全体）
	本人	家族	（合計）
医療費（総計）	14.0	14.9	14.4
医科・入院	/		31.7
医科・入院外			7.7
歯科			6.4
医科・歯科（計）			11.9
調剤			8.4

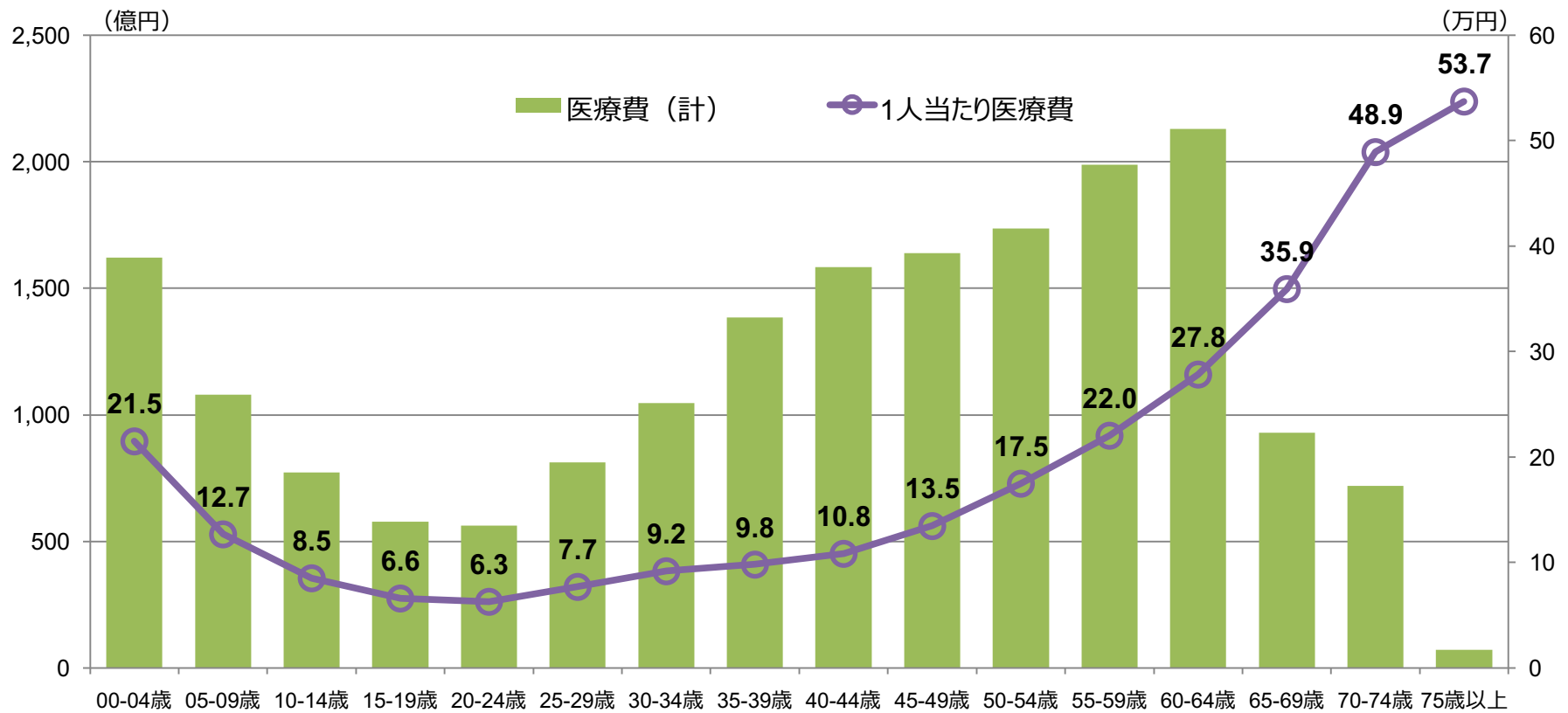
- H23 年度の 609 組合の 1 人当たり医療費は、本人：13.2 万円、家族 14.2 万円となっており、厚生労働省発表「平成 23 年度 医療費の動向」の被用者保険全体の数字と比較した場合には低い傾向にある。
- また、1 日当たり医療費では、制度全体との比較では、医科・入院を除き、低い数字となっている。医科・入院では制度全体：3.2 万円に対して、本人 5.1 万円、家族 4.2 万円とやや高い傾向が示されている。

3. H23 年度健保組合（609 組合）の医療費：本人・家族別 1 人当たり医療費と医療費 3 要素

組合数	加入者 区 分	診療区分	1 人当たり医療費 (円)	1 日当たり医療費 (円)	1 件当たり日数 (日)	受診率 (件)	
609 組合	本人	医科・歯科 (計)	132,860	12,361	1.15	9.35	
		医科 (計)	88,554	11,122	1.55	5.14	
		入院	入院	32,916	50,501	9.18	0.07
			入院外	55,462	7,603	1.44	5.07
		歯科 (計)	17,598	6,367	2.02	1.37	
		入院	入院	246	46,065	5.94	0.00
			入院外	17,291	6,291	2.01	1.37
		調剤	26,328	7,658	1.21	2.84	
	家族	医科・歯科 (計)	142,201	10,460	1.15	11.82	
		医科 (計)	99,106	9,006	1.67	6.59	
		入院	入院	37,103	41,907	9.74	0.09
			入院外	61,646	6,120	1.55	6.50
		歯科 (計)	15,146	5,924	1.79	1.43	
		入院	入院	244	52,532	5.17	0.00
入院外			14,908	5,835	1.79	1.43	
調剤	27,687	5,432	1.34	3.80			

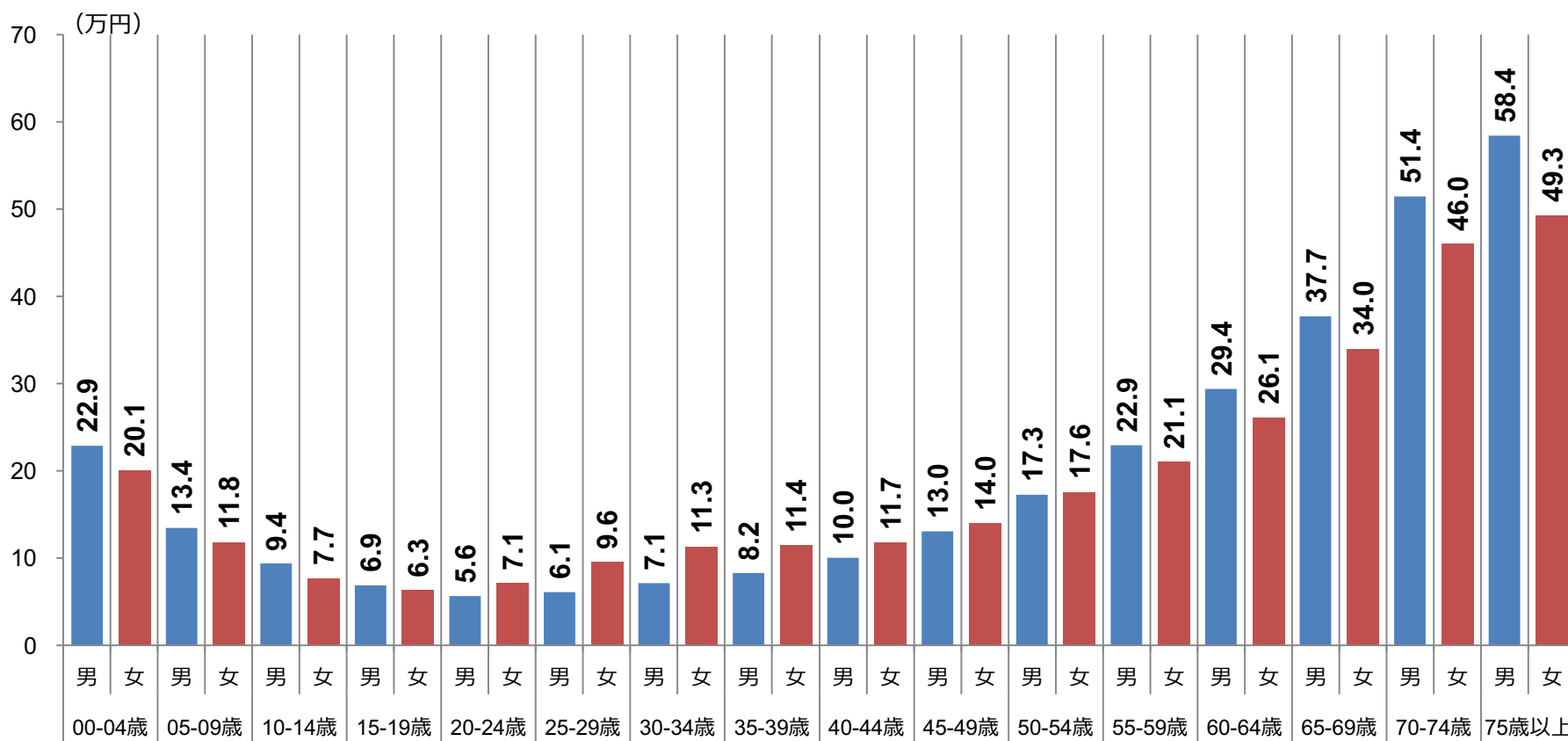
4. 年齢階層別医療費（本人・家族計）と1人当たり医療費

- 表は、年齢階層別の医療費（本人・家族）と1人当たり医療費を合わせてみたものである。
- 全体の傾向として、①00歳-04歳、②50歳以上において1人当たり医療費が高く、それ以外の年齢層では、全体の平均を下回る数字（前記「2」を参照）となっている。また、45歳以降、年齢階層が上がるごとに1人当たり医療費が顕著に上がる傾向が示されている。



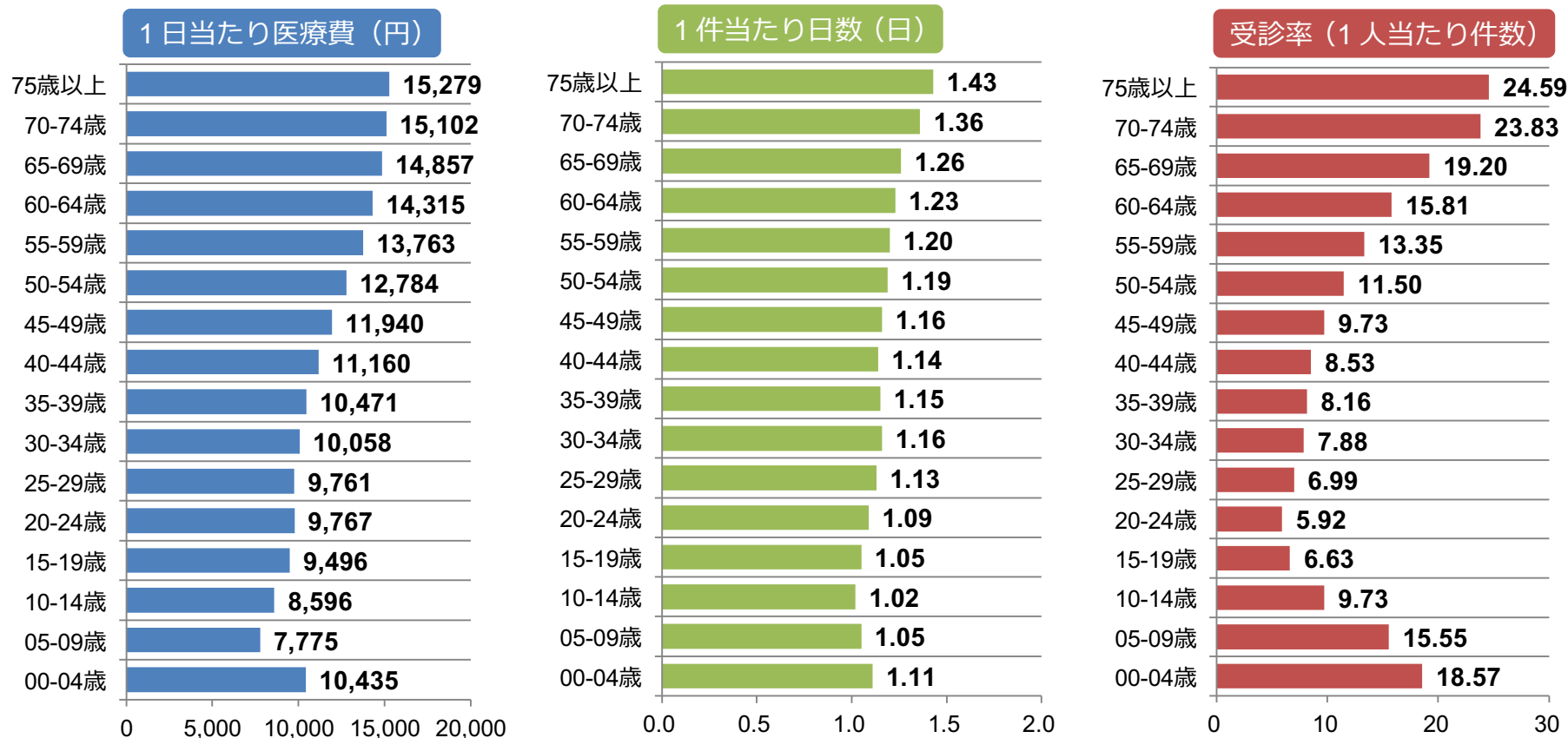
5. 年齢階層別 1 人当たり医療費（総計、本人・家族計）の男女比較

- 表は、年齢階層別の総医療費（本人・家族計）を男女別にみたものである。
- 男性に比べ 20 歳-54 歳では、女性のほうが 1 人当たり医療費がやや高い傾向が示されている。
- また、55 歳以上では男性の方が高くなり、かつ、年齢階層が上がるにつれて女性との開きが大きくなる。



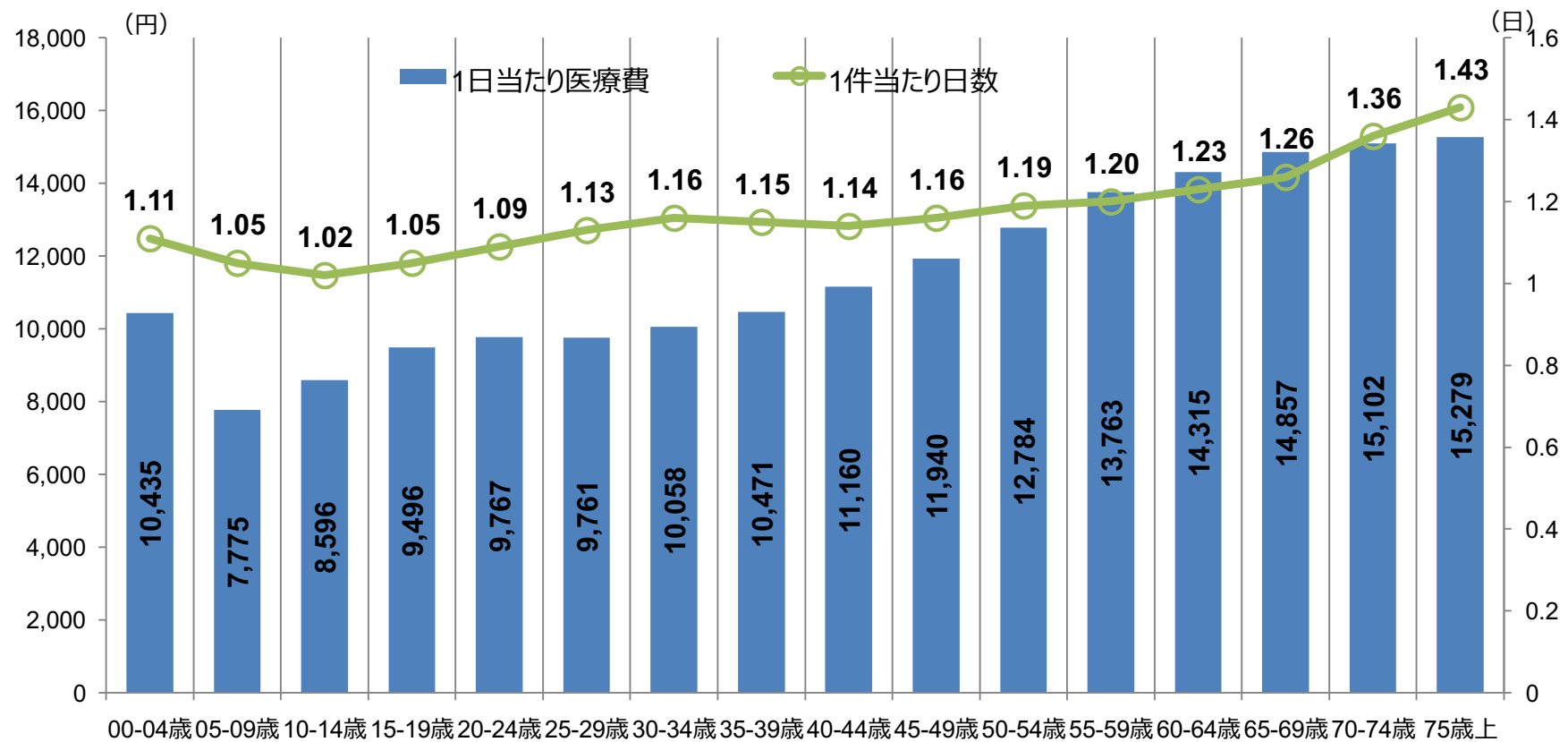
6. 年齢階層別医療費（本人・家族計）3要素

- 表は、年齢階層別の総医療費（本人・家族計）について医療費3要素からみたものである。
- 医療費3要素とも00-04歳で高い傾向のほか、年齢階層が上がるにつれて高くなる傾向にある。とくに受診率（1人当たり件数）は、15-49歳で10件以下の低い数字を示しているが、50歳以降で10件を超え、①65-69歳19.2、②70-74歳：23.8、③75歳以上：24.6—と、高齢者で受診率の高さが顕著となっている。（なお、後述の「11.入院」及び「13.入院外」の「医療費3要素」も参照のこと。）



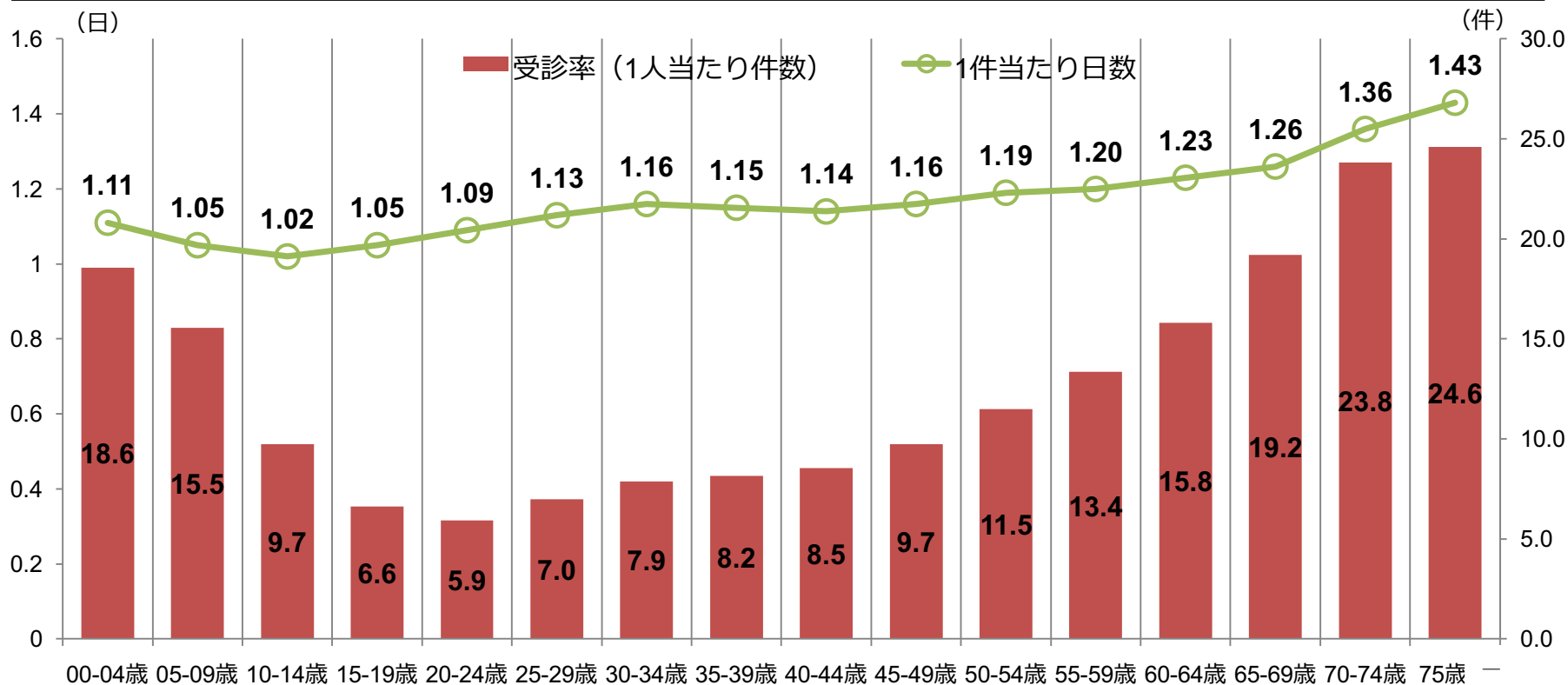
7. 年齢階層別医療費 3 要素：1 日当たり医療費×1 件当たり日数（=1 件当たり医療費）

- 総医療費について、1 日当たり医療と 1 件当たり医療費を年齢階層別にみると、00-04 歳では 1 日当たり医療費が高いが、30 歳以降では年齢階層が上がるにつれて、1 日当たり医療費及び 1 件当たり日数がともに高くなる傾向にある。
- その結果、30 歳以降では、1 件当たり医療費（=1 日当たり医療費×1 件当たり日数）が高くなっていることがわかる。



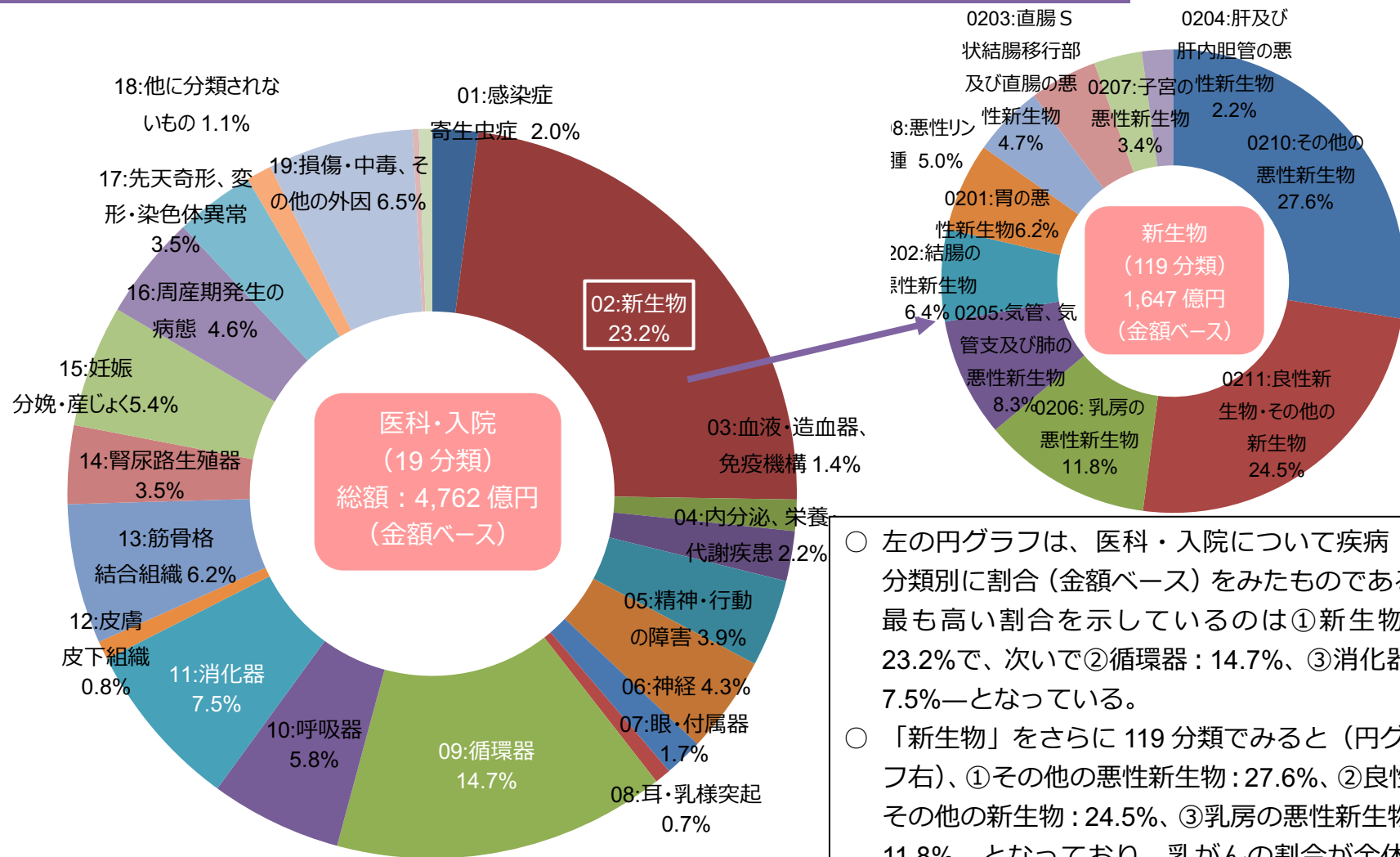
8. 年齢階層別医療費 3 要素：1 件当たり日数×受診率（=1 人当たり日数）

- 総医療費について、受診率（1 人当たり件数）と 1 件当たり日数を年齢階層別にみると、00-04 歳及び 05-09 歳で受診率が高いほか、55 歳以降で高くなる傾向にある。また、1 件当たり日数は、50 歳以降、1.20 日を越えて高くなり、70-74 歳では 1.36 日となっている。
- その結果、とくに 55-69 歳では 1 件当たり日数が長くなることで 1 人当たり日数（=1 件当たり日数×受診率）が高くなっており、70 歳以降は受診率が高く、1 件当たり日数が長くなることで 1 人当たり日数が長くなっている。



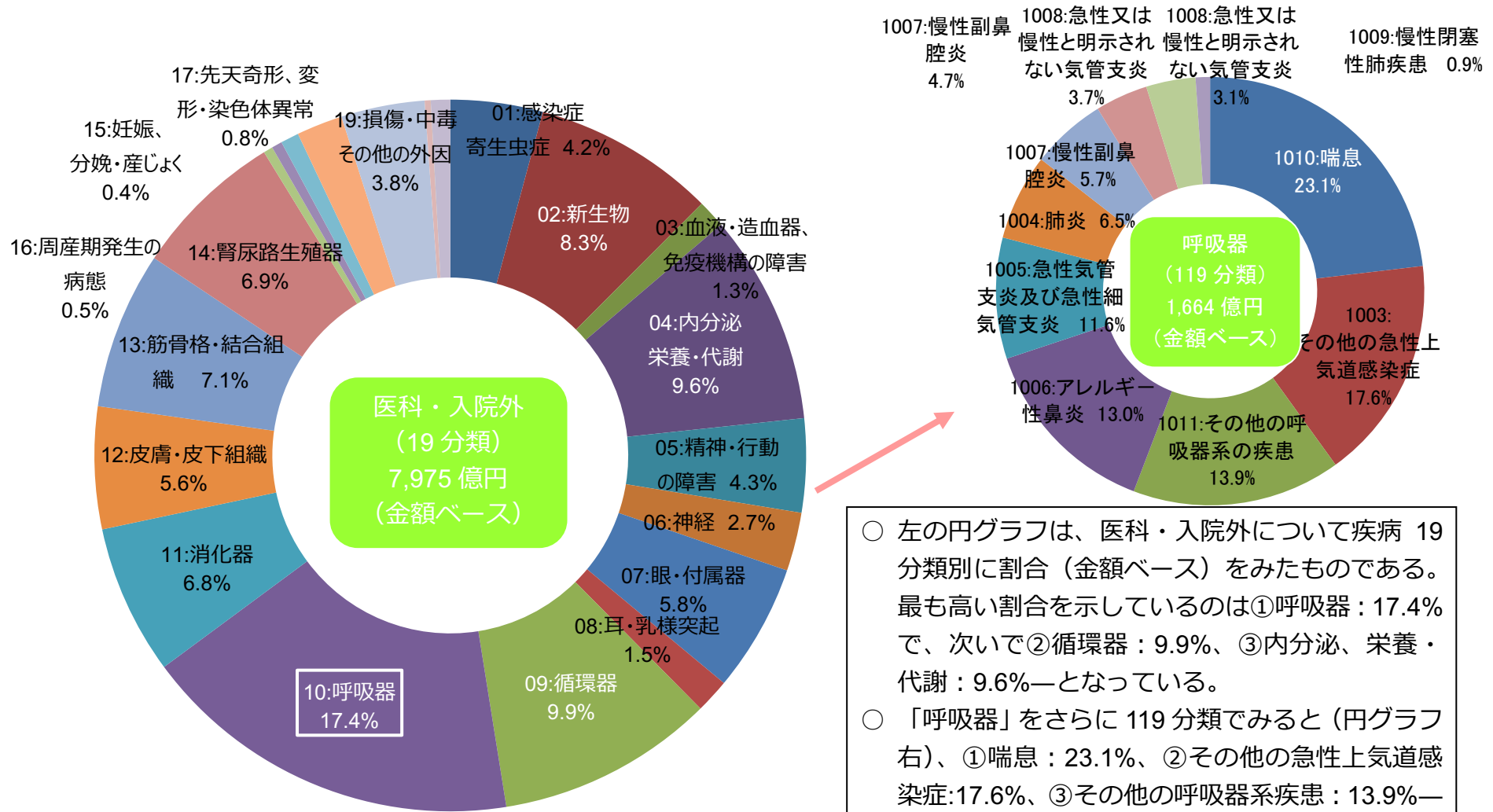
Ⅱ. 医科：入院・入院外医療費の動向と現状

1. 医科・入院／19 分類別にみた割合



- 左の円グラフは、医科・入院について疾病 19 分類別に割合 (金額ベース) をみたものである。最も高い割合を示しているのは①新生物：23.2%で、次いで②循環器：14.7%、③消化器：7.5%—となっている。
- 「新生物」をさらに 119 分類でみると (円グラフ右)、①その他の悪性新生物：27.6%、②良性・その他の新生物：24.5%、③乳房の悪性新生物：11.8%—となっており、乳がんの割合が全体の 10%以上となっている。

2. 医科・入院外／19 分類別にみた割合

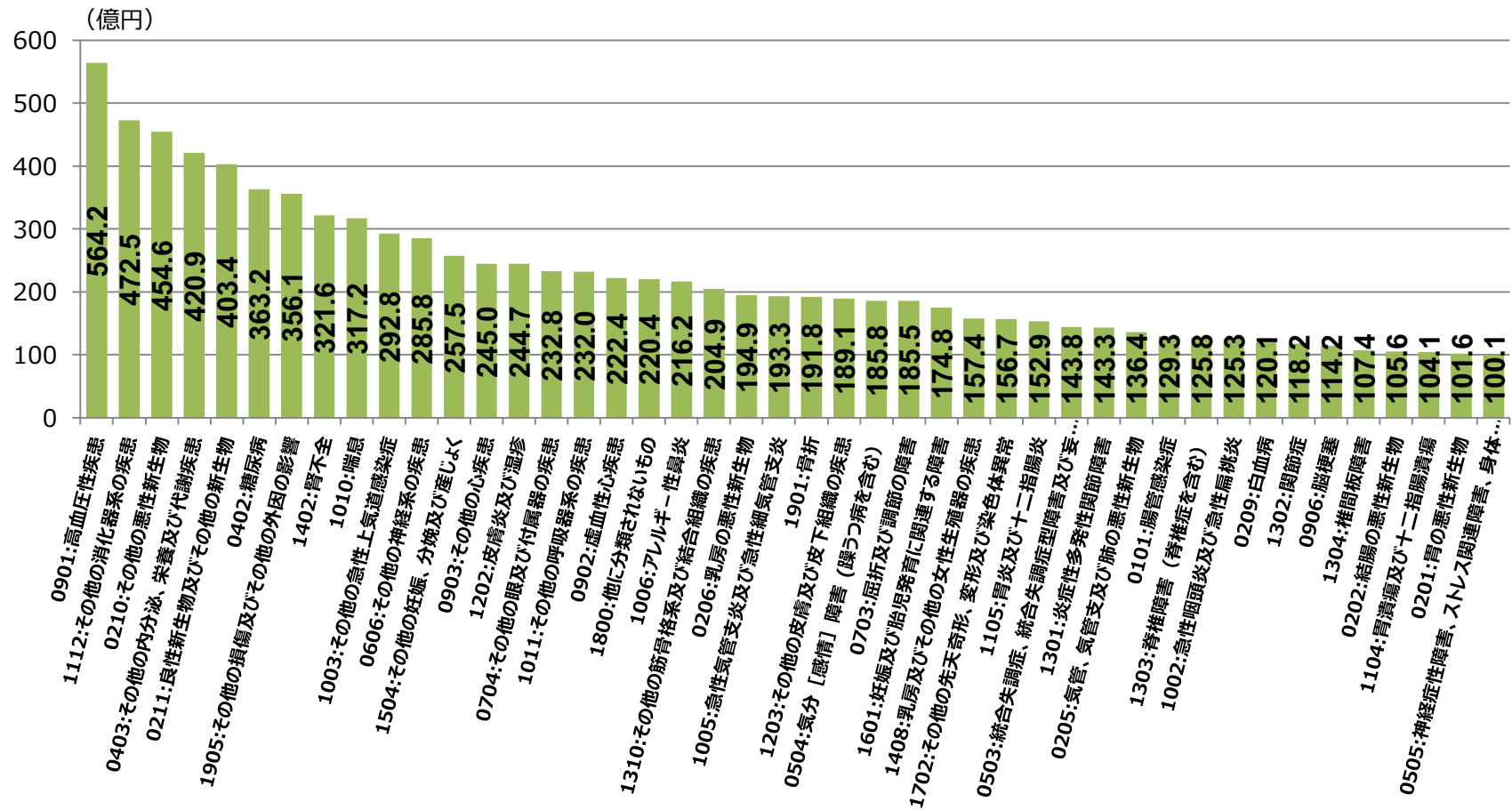


○ 左の円グラフは、医科・入院外について疾病 19 分類別に割合（金額ベース）をみたものである。最も高い割合を示しているのは①呼吸器：17.4%で、次いで②循環器：9.9%、③内分泌、栄養・代謝：9.6%—となっている。

○ 「呼吸器」をさらに 119 分類でみると（円グラフ右）、①喘息：23.1%、②その他の急性上気道感染症：17.6%、③その他の呼吸器系疾患：13.9%—となっているほか、アレルギー性鼻炎も 13.0%と比較的高い割合を示している。

3. 医科（調剤を除く）119 分類でみた医療費（上位 44 位：100 億円以上のもの）

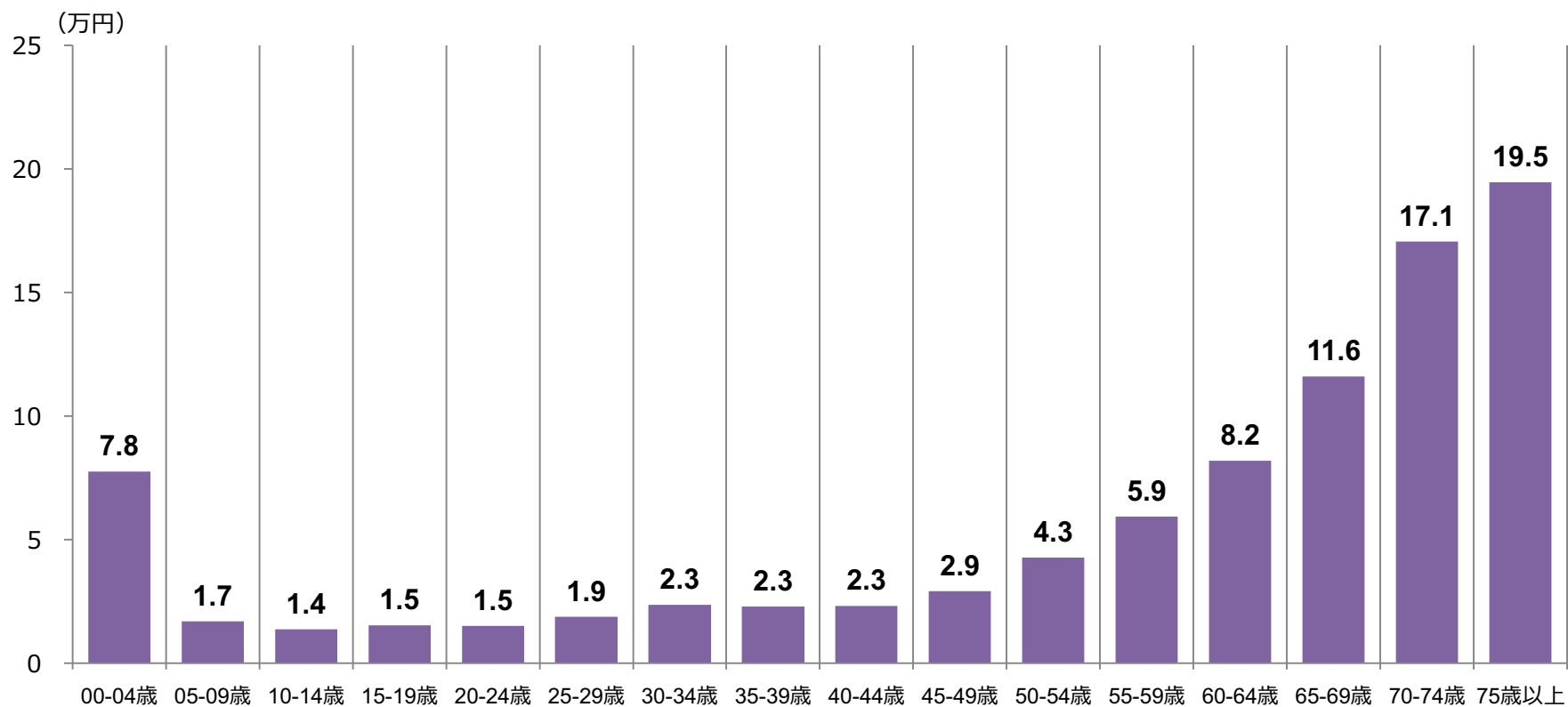
- 医科（入院・入院外計／調剤を除く）119 分類でどのような疾患の医療費が高いのかを上位 44 疾患（100 億円以上）を並べてみたものである。最も高いのは①高血圧性疾患：564 億円で、次いで②その他の消化器系疾患：472 億円、③その他の悪性新生物、④内分泌、栄養・代謝系疾患：455 億円、⑤良性・その他悪性新生物—となっている。
- また、メンタルヘルスに関連するような、気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）：186 億円や神経性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害：100 億円なども見受けられる。



4. 医科・入院：年齢階層別 1人当たり医療費

入院

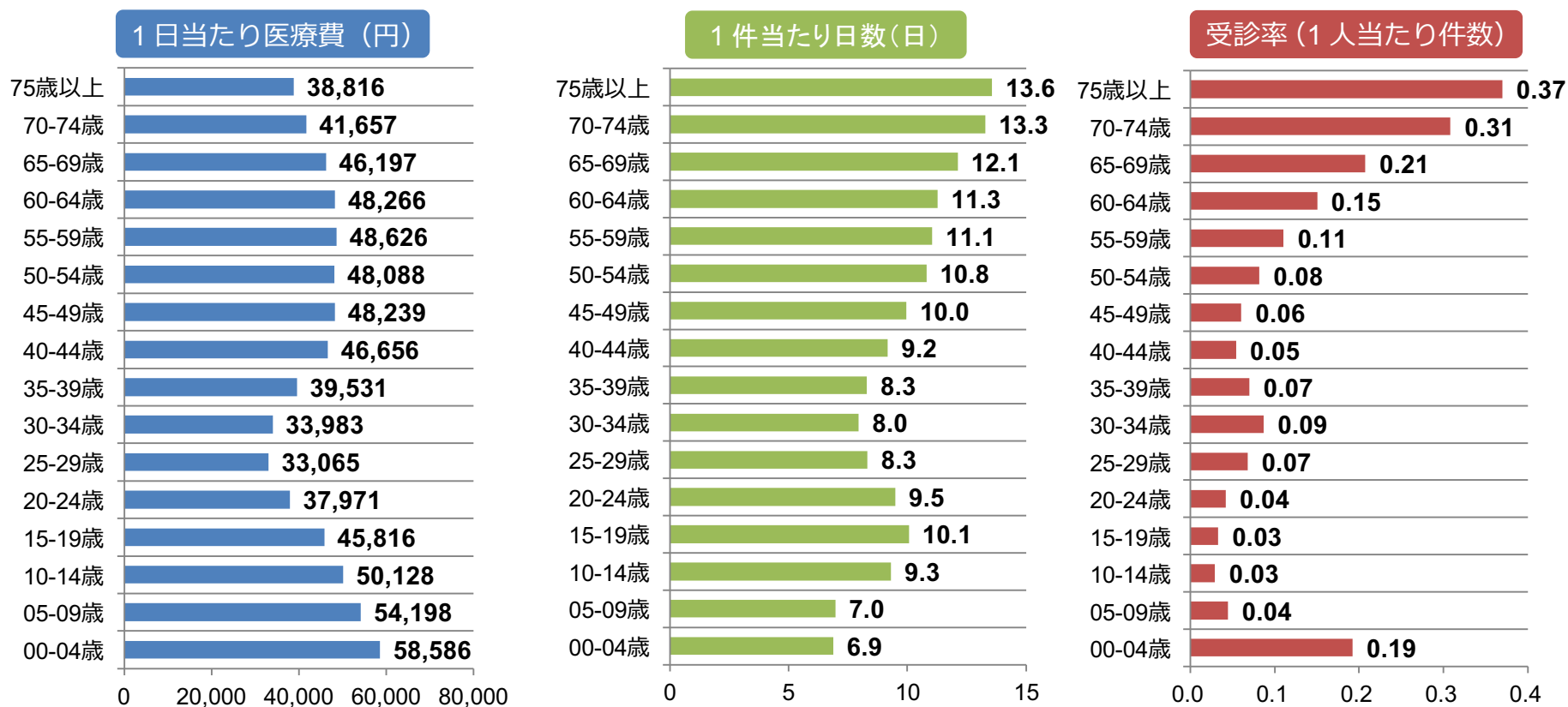
- 医科・入院について年齢階層別に1人当たり医療費をみると、0-4歳で7.8万円と高い数字を示している以降は、年齢階層が上がるにつれて高くなる傾向が示されている。とくに、45歳以降では、30歳以下に比べ1.5~2倍ほど高くなり、65歳以上では5倍以上の開きとなっている。



5. 医科・入院：年齢階層別医療費3要素

入院

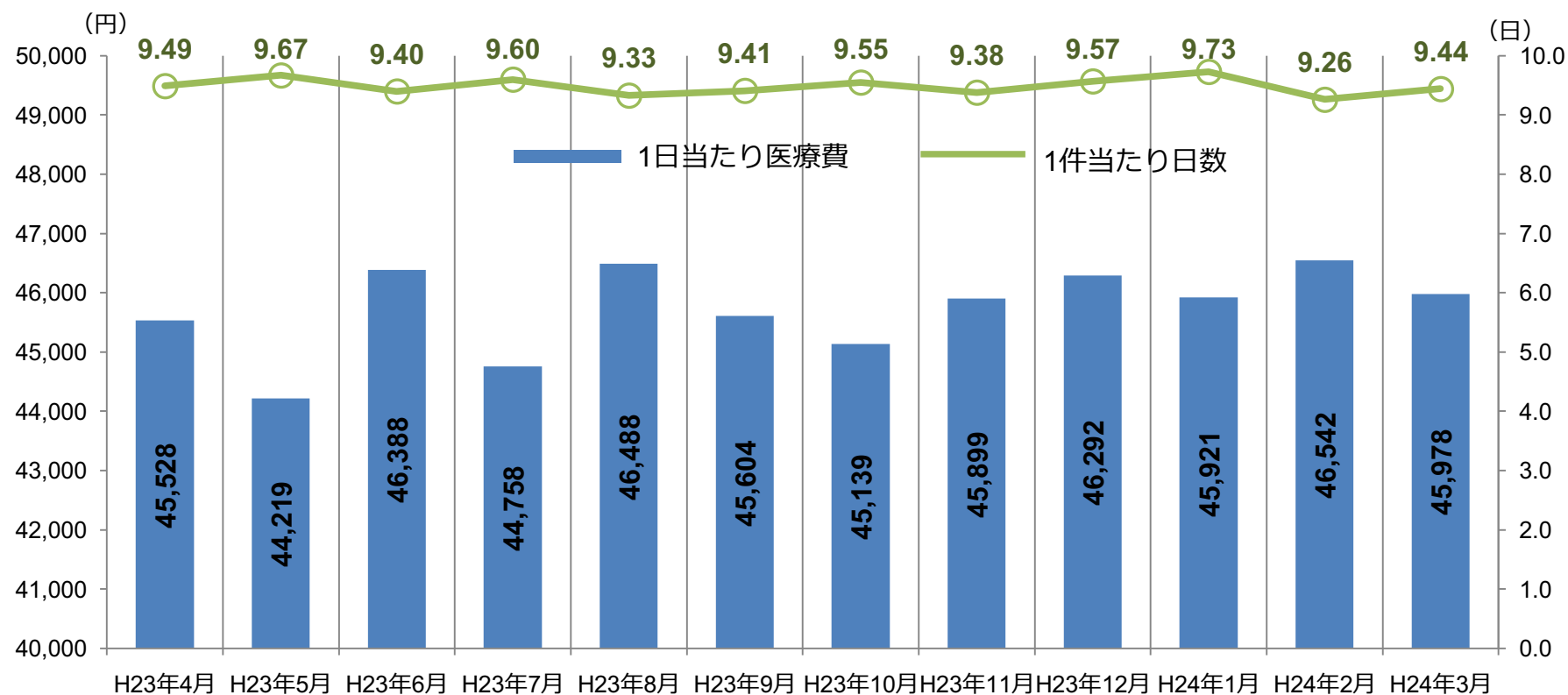
○ 医科・入院について年齢階層別に医療費3要素をみてみたものである。1日当たり医療費は、乳幼児や就学者層で高く、逆に60歳以上では低くなる傾向にある。また1件当たり日数と受診率は、60歳以上で徐々に高くなっている。



6. 医科・入院：1日当たり医療費×1件当たり日数（＝1件当たり医療費）の月次推移

入院

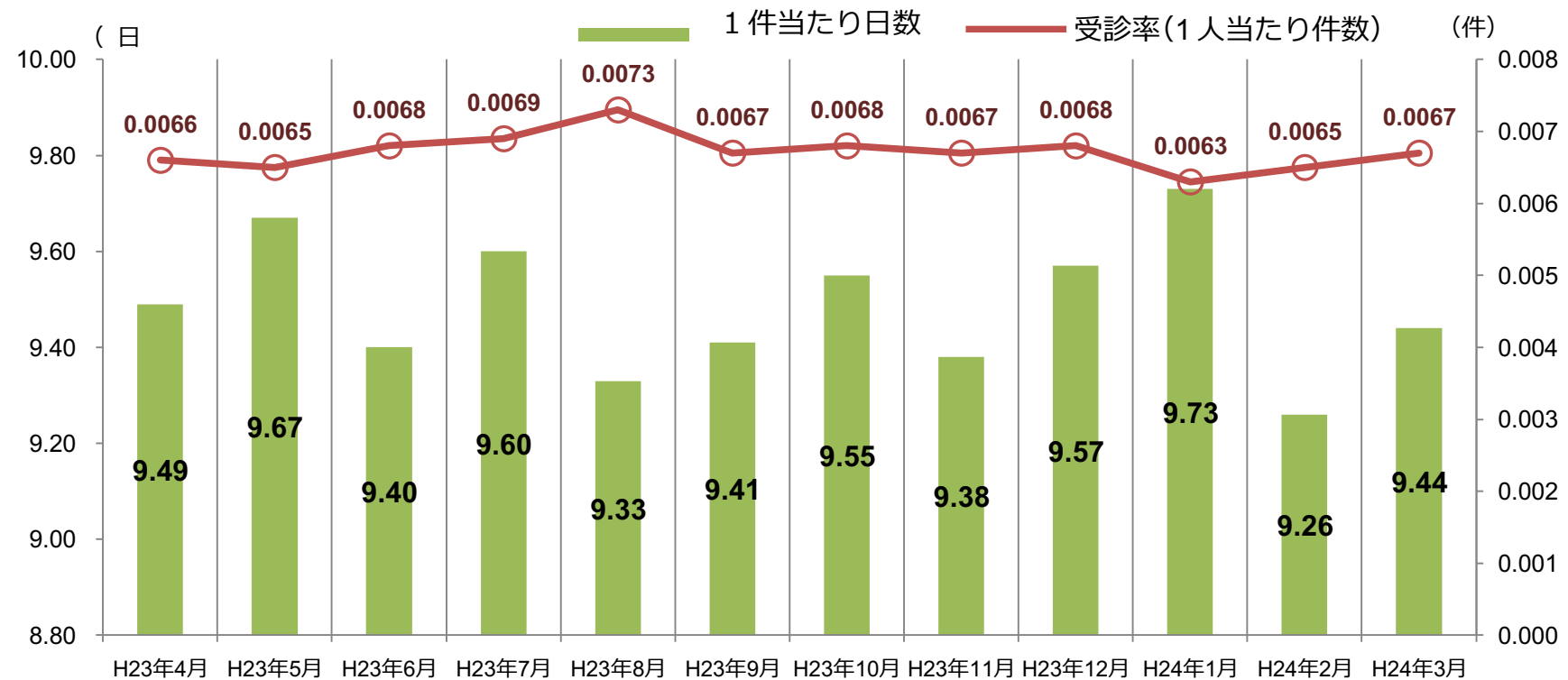
○ 医科・入院について、1日当たり医療費及び1件当たり日数の月次推移をみると、1日当たり医療費は4.5～4.6万円とほぼ一定で、1件当たり日数も9日台と大きな変動はなく、入院における1件当たり医療費（＝1日当たり医療費×1件当たり日数）の月次での差異はあまりない（「入院外」参照）。



7. 医科・入院：1件当たり日数×受診率（＝1人当たり日数）の月次推移

入院

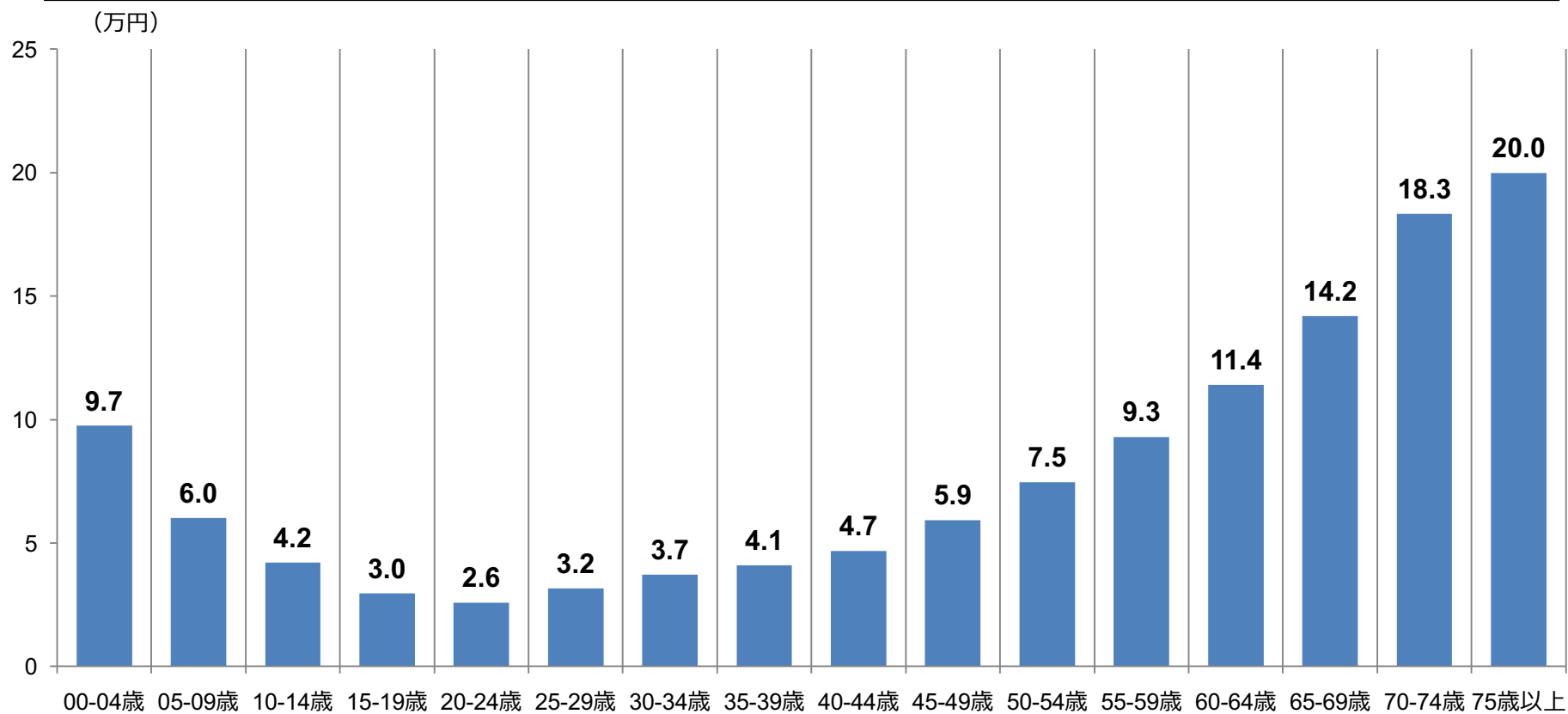
○ 医科・入院について、1件当たり日数及び受診率（1人当たり件数）の月次推移をみると、1件当たり日数は1月でやや高くなるものの、全体的に9日台と顕著な変動はなく、受診率も大きな差はみられない。そのため、入院における1人当たり日数（＝1件当たり日数×受診率）の月次での差異もあまりない（「入院外」参照）。



8. 医科・入院外：年齢階層別 1 人当たり医療費

入院外

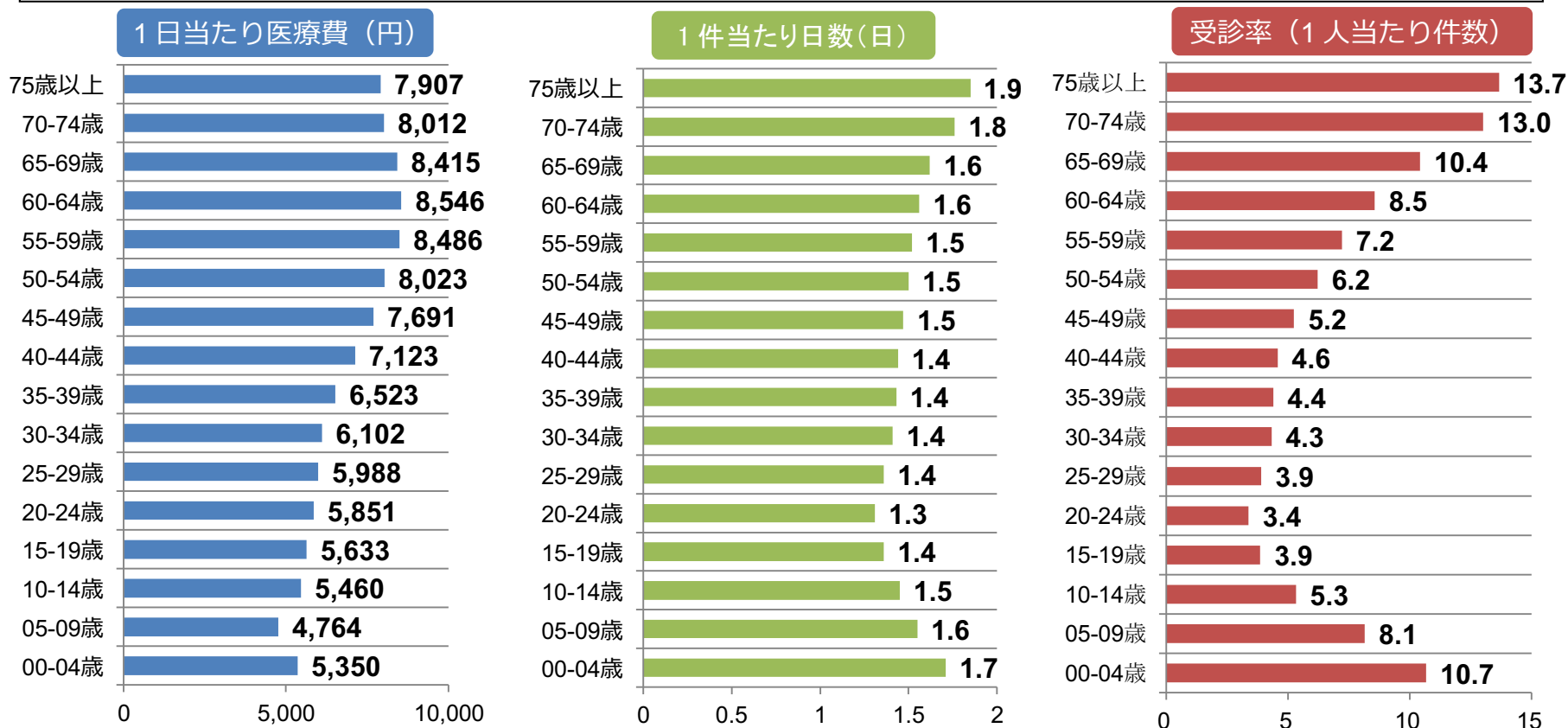
- 医科・入院外について、年齢階層別 1 人当たり医療費をみると、入院と異なり、乳幼児に加え、就学者層で比較的高くなっている点以外は入院とほぼ同様、年齢階層が上がるごとに高くなる傾向が示されている。



9. 医科・入院外：年齢階層別医療費 3 要素

入院外

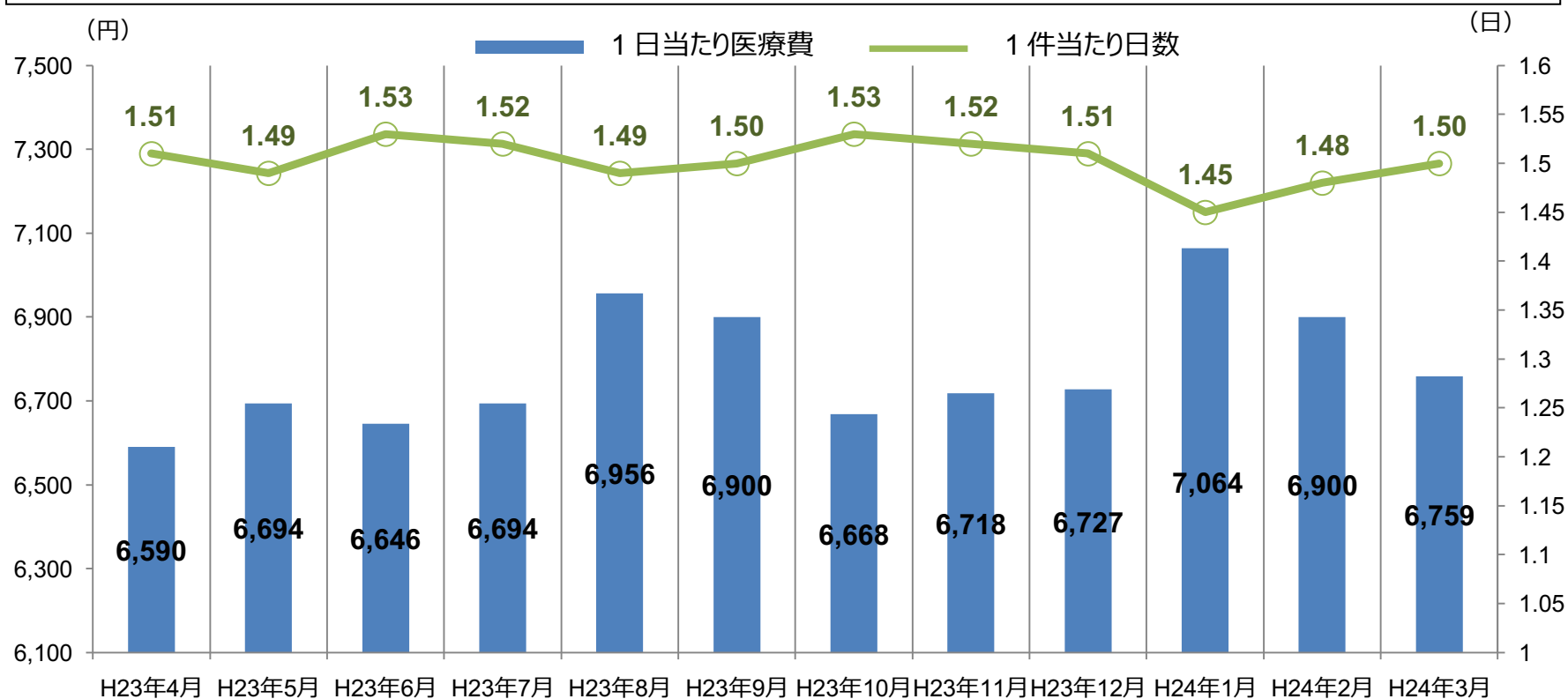
○ 医科・入院外について年齢階層別に医療費 3 要素をみてみたものである。1 日当たり医療費は、年齢階層とともに高くなる傾向にあるが、60-64 歳をピークに逆に低下している。また 1 件当たり日数にはそれほど顕著な差はないものの、受診率は、00-09 歳と 65 歳以上でとくに高いことがわかる。



10. 医科・入院外：1日当たり医療費×1件当たり日数（＝1件当たり医療費）の月次推移

入院外

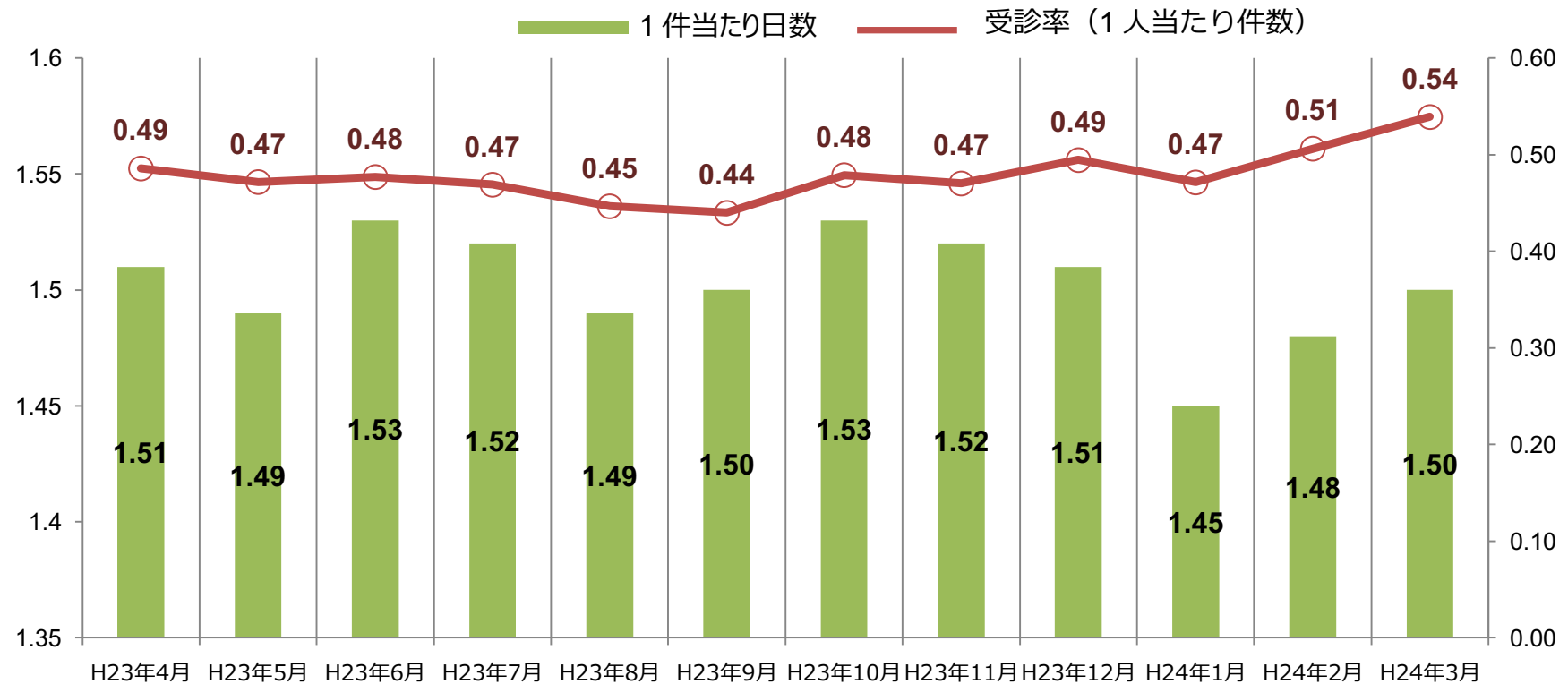
- 医科・入院外について1日当たり医療費及び1件当たり日数の月次推移をみると、1日当たり医療費は8-9月、1-2月で他の月に比べ高くなり、一方、1件当たり日数は6-7月、10-11月、3-4月でやや高い傾向となっている。
- 入院とは異なり、疾病との関係で季節変動のあることが考えられる。なお1件当たり医療費（1日当たり医療費×1件当たり日数）は、8月：6,956円×1.49日＝1万364円が最も高い。



11. 医科・入院外：1件当たり日数×受診率（＝1人当たり日数）の月次推移

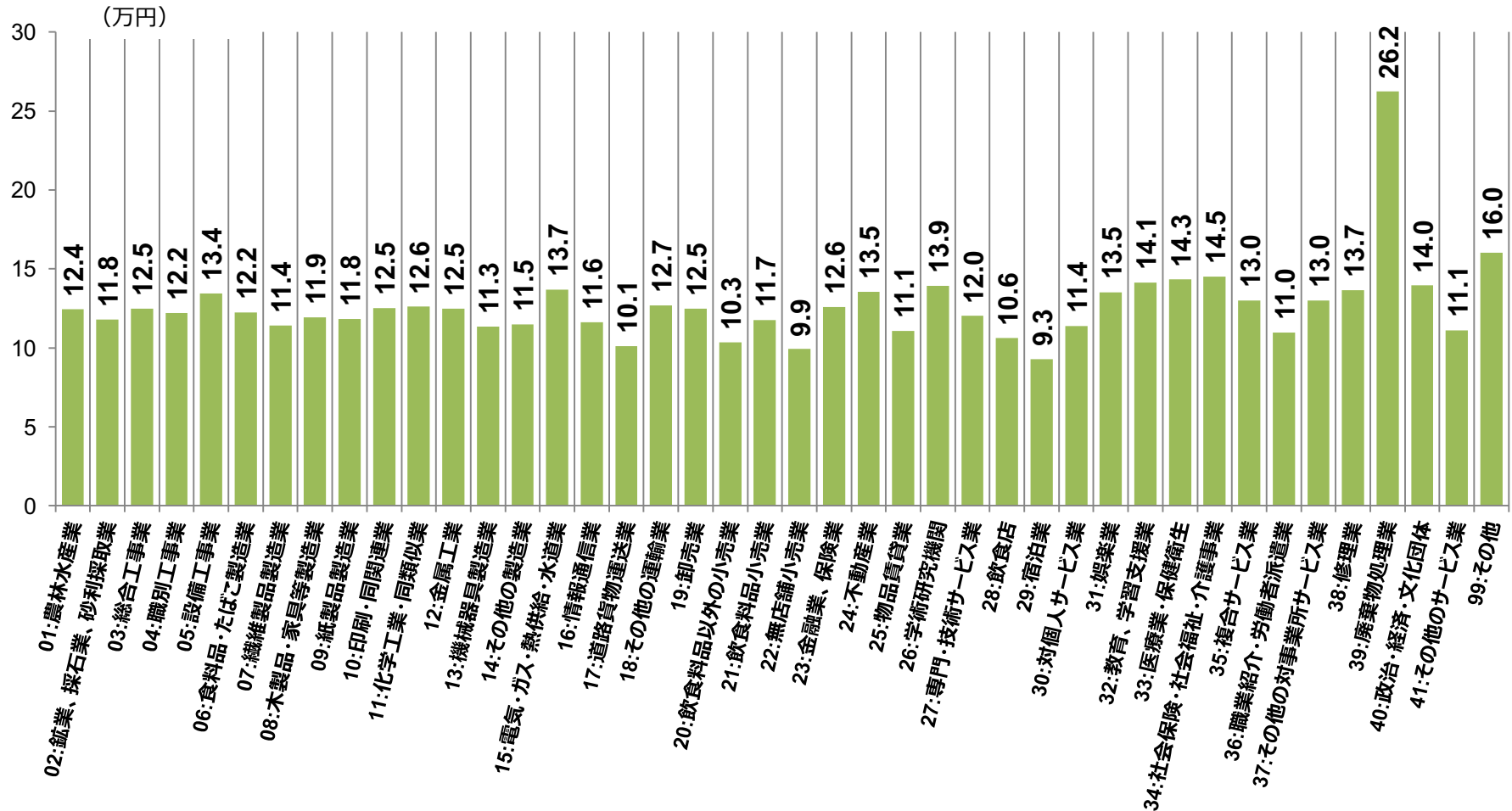
入院外

○ 医科・入院外について、1件当たり日数及び受診率（1人当たり件数）の月次推移をみると、1件当たり日数は6-7月、10-11月、3-4月でやや高くなる傾向にあり、受診率は10-12月、2-3月で高くなっている。入院外における1人当たり日数（＝1件当たり日数×受診率）は、3月が $1.50 \times 0.54 = 0.81$ 日と最も長い。



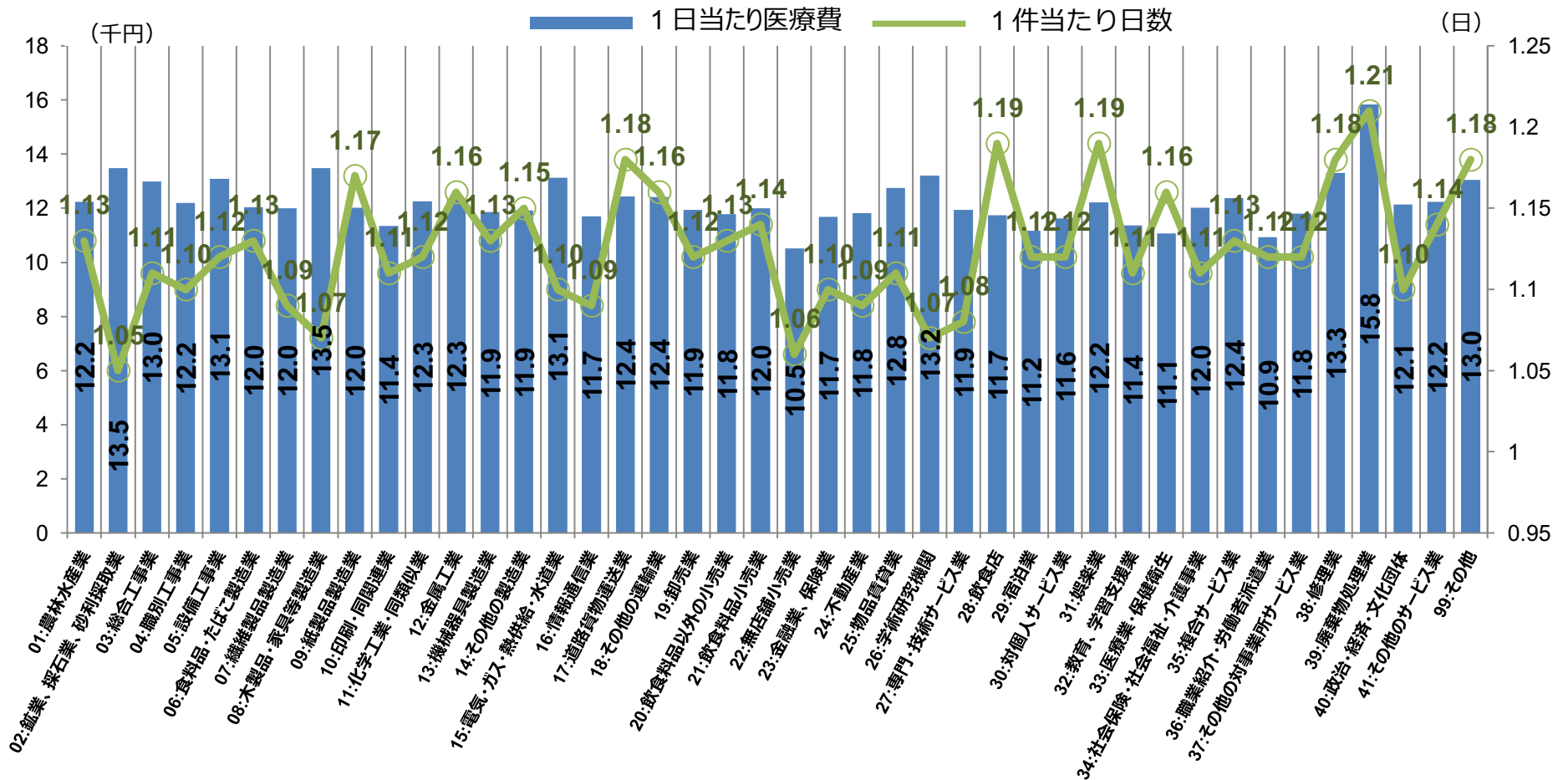
12. 業態別にみた被保険者・医科（入院・入院外計）1人当たり医療費

○ 表は、業態別に被保険者1人当たり医療費をみたものである。顕著に高い数字を示しているのは、①廃棄物処理業：26.2万円、次いで（その他：16.0万円を除く）、②社会保険・社会福祉・介護事業：14.5万円、③医療業・保健衛生：14.3万円、④教育・学習支援業：14.1万円、⑤政治・経済・文化団体：14.0万円—となっている。



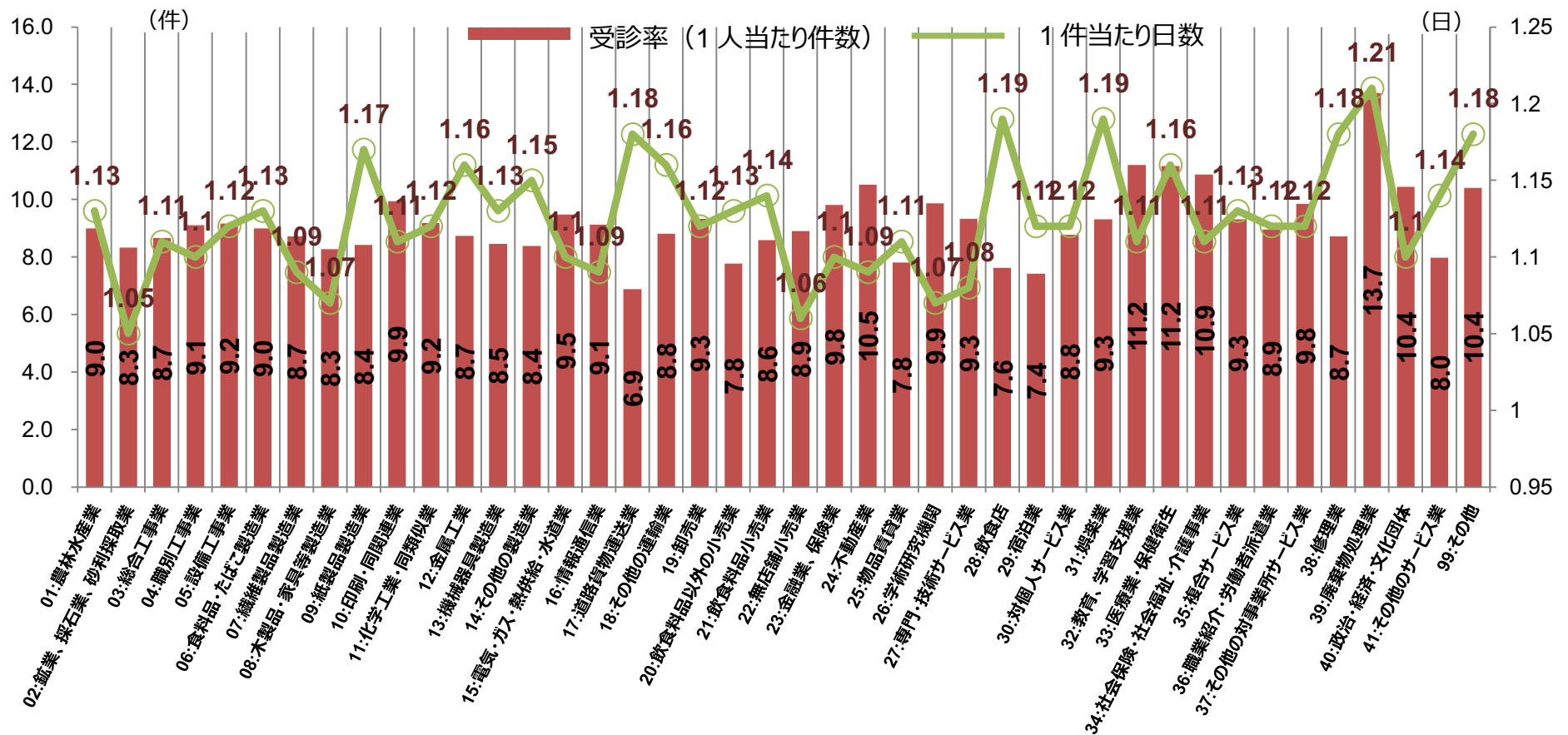
13. 業態別にみた被保険者・医科（入院・入院外計）1日当たり医療費と1件当たり日数

○ 業態別に被保険者1日当たり医療費と1件当たり日数をみると、両者ともに高い数字を示しているのは、①廃棄物処理業であり、1件当たり医療費（1日当たり医療費×1件当たり日数）も15.8×1.21=19.1万円と最も高い。次いで②修理業：13.3×1.18=15.7万円、③道路貨物運送業：12.4×1.18=14.7万円、④設備工事業：13.1×1.12=14.7万円となっている。



14. 業態別にみた被保険者・医科（入院・入院外計）1件当たり日数と受診率

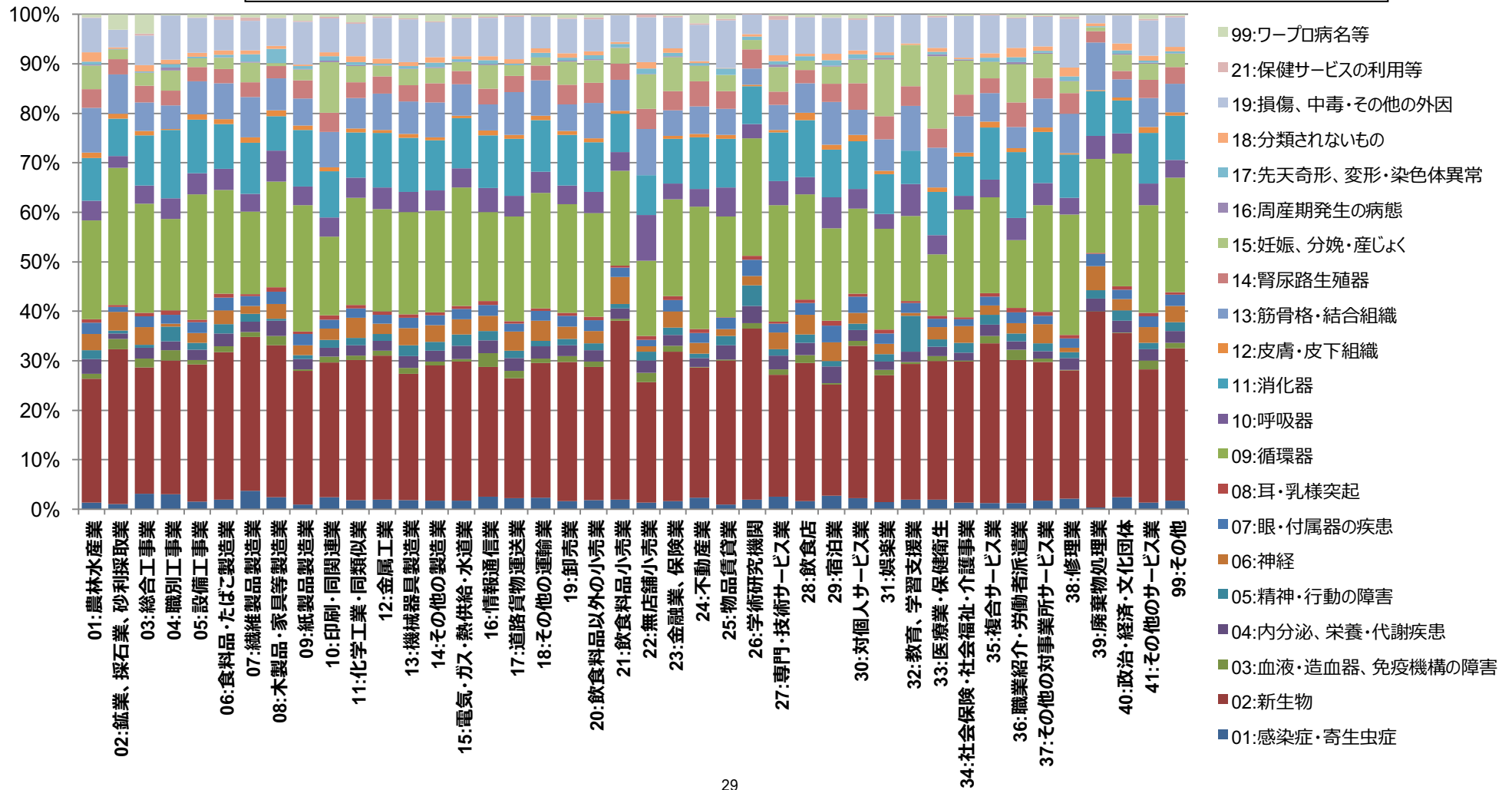
○ 業態別に被保険者1件当たり日数と受診率をみると、両者ともに高い数字を示しているのは、①廃棄物処理業であり、1人当たり日数(1件当たり日数×受診率)も $1.21 \times 13.7 = 16.6$ 日と最も長い。次いで②医療業・保健衛生： $1.16 \times 11.2 = 12.9$ 日、③教育・学習支援業： $1.11 \times 11.2 = 12.4$ 日、④社会保険・社会福祉・介護事業： $1.11 \times 10.9 = 12.1$ 日となっている。



15. 業態別にみた被保険者の医科・入院医療費の疾病 19 分類別割合

入院

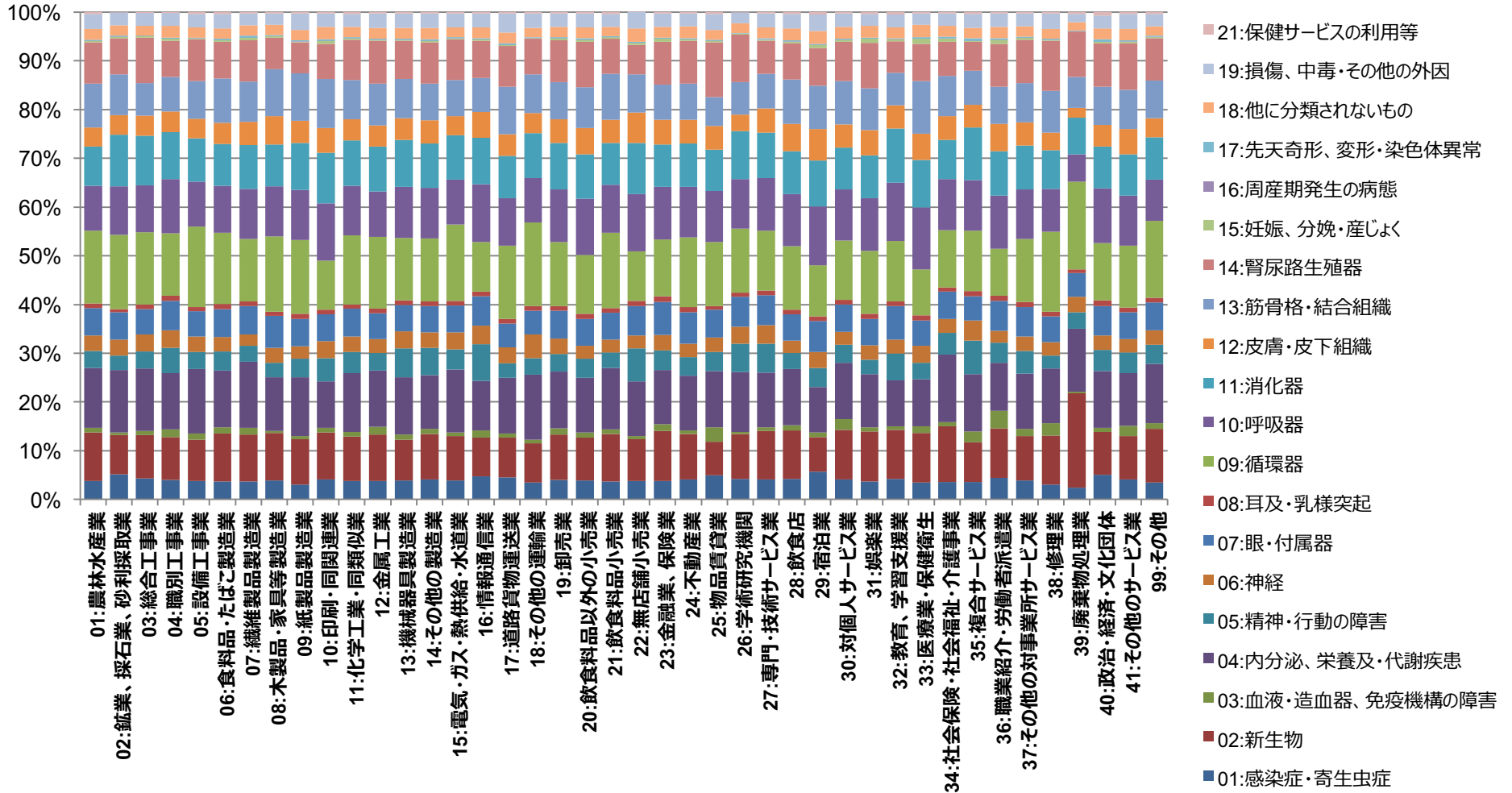
○ 業態別にみた被保険者の医科・入院の疾病分類（19）別割合では、どの業態においても「新生物」■、「循環器」■が、「消化器」■が主要な割合を占めている。新生物は、①廃棄物処理業、②飲食料品小売業、③学術研究機関—で比較的大きな割合を占めている。



16. 業態別にみた被保険者の医科・入院医療費の疾病19分類別割合

入院外

○ 一方、医科・入院外の疾病分類（19）別の割合では、①循環器■、②内分泌、栄養・代謝■、③呼吸器■、④新生物■、⑤消化器■、⑥腎尿路生殖器■が、どの業態でも共通して主要な割合を占めている。



参考

疾病分類（19分類）別 1人当たり医療費、医療費3要素【医科・入院】

H23 年度 609 組合	疾病分類（19分類）	1人当たり	1日当たり	1件当たり	受診率
		医療費（円）	医療費（円）	日数	（1人当たり件数）
入院	01:感染症及び寄生虫症	711	39,247	6.7	0.003
	02:新生物	8,097	58,682	10.8	0.013
	03:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	473	45,535	8.0	0.001
	04:内分泌、栄養及び代謝疾患	783	35,480	9.6	0.002
	05:精神及び行動の障害	1,336	15,617	22.5	0.004
	06:神経系の疾患	1,492	32,589	12.7	0.004
	07:眼及び付属器の疾患	592	64,206	5.8	0.002
	08:耳及び乳様突起の疾患	235	53,194	6.3	0.001
	09:循環器系の疾患	5,176	66,733	11.1	0.007
	10:呼吸器系の疾患	2,033	46,611	6.5	0.007
	11:消化器系の疾患	2,607	45,883	6.9	0.008
	12:皮膚及び皮下組織の疾患	295	35,747	8.3	0.001
	13:筋骨格系及び結合組織の疾患	2,179	50,483	11.4	0.004
	14:腎尿路生殖器系の疾患	1,204	44,952	7.1	0.004
	15:妊娠、分娩及び産じょく	1,884	32,176	7.1	0.008
	16:周産期に発生した病態	1,621	55,127	8.4	0.004
	17:先天奇形、変形及び染色体異常	1,267	81,055	10.4	0.002
	18:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	384	31,862	6.7	0.002
	19:損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,246	45,275	9.4	0.005
21:健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	95	36,981	8.5	0.000	
99:ワープロ病名等	215	43,408	9.9	0.001	

参考

疾病分類（19分類）別 1人当たり医療費、医療費3要素【医科・入院外】

H23 年度 609 組合	疾病分類	1人当たり	1日当たり	1件当たり	受診率
		医療費 (円)	医療費 (円)	日数	(1人当たり件数)
入院外	01:感染症及び寄生虫症	2,449	5,774	1.5	0.285
	02:新生物	4,851	18,940	1.5	0.169
	03:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	748	13,264	1.6	0.036
	04:内分泌、栄養及び代謝疾患	5,579	10,527	1.4	0.393
	05:精神及び行動の障害	2,485	6,281	1.6	0.252
	06:神経系の疾患	1,551	8,303	1.5	0.129
	07:眼及び付属器の疾患	3,400	5,139	1.2	0.570
	08:耳及び乳様突起の疾患	906	4,638	1.7	0.112
	09:循環器系の疾患	5,765	8,637	1.3	0.506
	10:呼吸器系の疾患	10,168	4,827	1.5	1.404
	11:消化器系の疾患	3,978	8,601	1.5	0.317
	12:皮膚及び皮下組織の疾患	3,252	4,156	1.4	0.580
	13:筋骨格系及び結合組織の疾患	4,177	5,123	2.2	0.374
	14:腎尿路生殖器系の疾患	4,021	12,548	1.7	0.189
	15:妊娠、分娩及び産じょく	247	5,597	1.7	0.026
	16:周産期に発生した病態	277	22,843	1.5	0.008
	17:先天奇形、変形及び染色体異常	486	13,018	1.4	0.026
	18:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,221	7,828	1.4	0.112
	19:損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,219	5,284	2.0	0.213
21:健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	161	11,528	1.4	0.010	
99:ワープロ病名等	513	5,805	2.0	0.043	

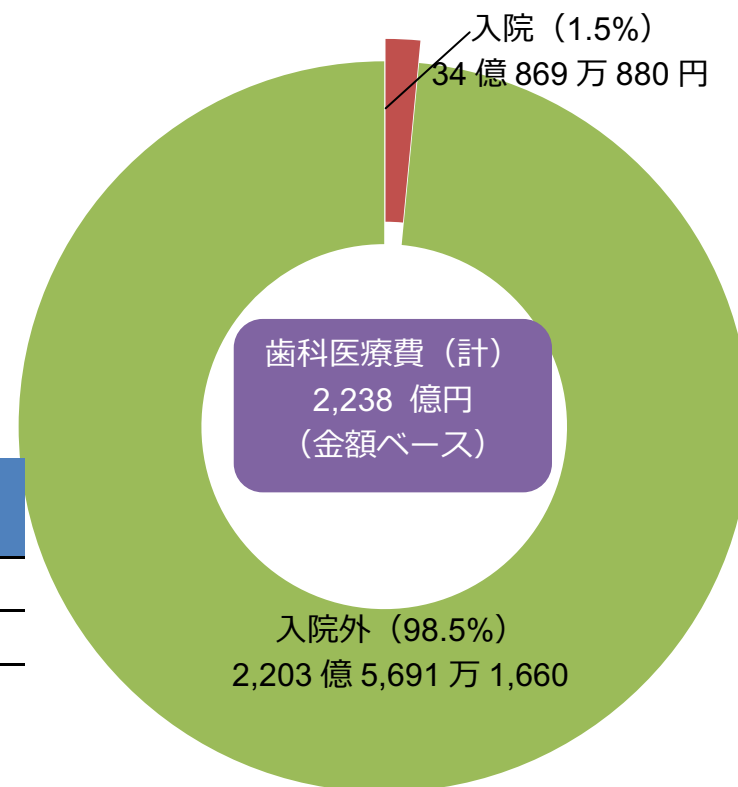
Ⅲ. 歯科医療費（入院外）の動向と現状

1. 歯科医療費の概況

- 歯科レセプトでは、『入院外』が全体の99.8%を占めており、以下では入院外の医療費を対象としている。
- 入院外の1人当たり医療費は1.6万円となっており、また、医療費3要素では、①受診率：1.4件、②1件当たり日数：1.9日、③1日当たり医療費：6,081円—となっている。

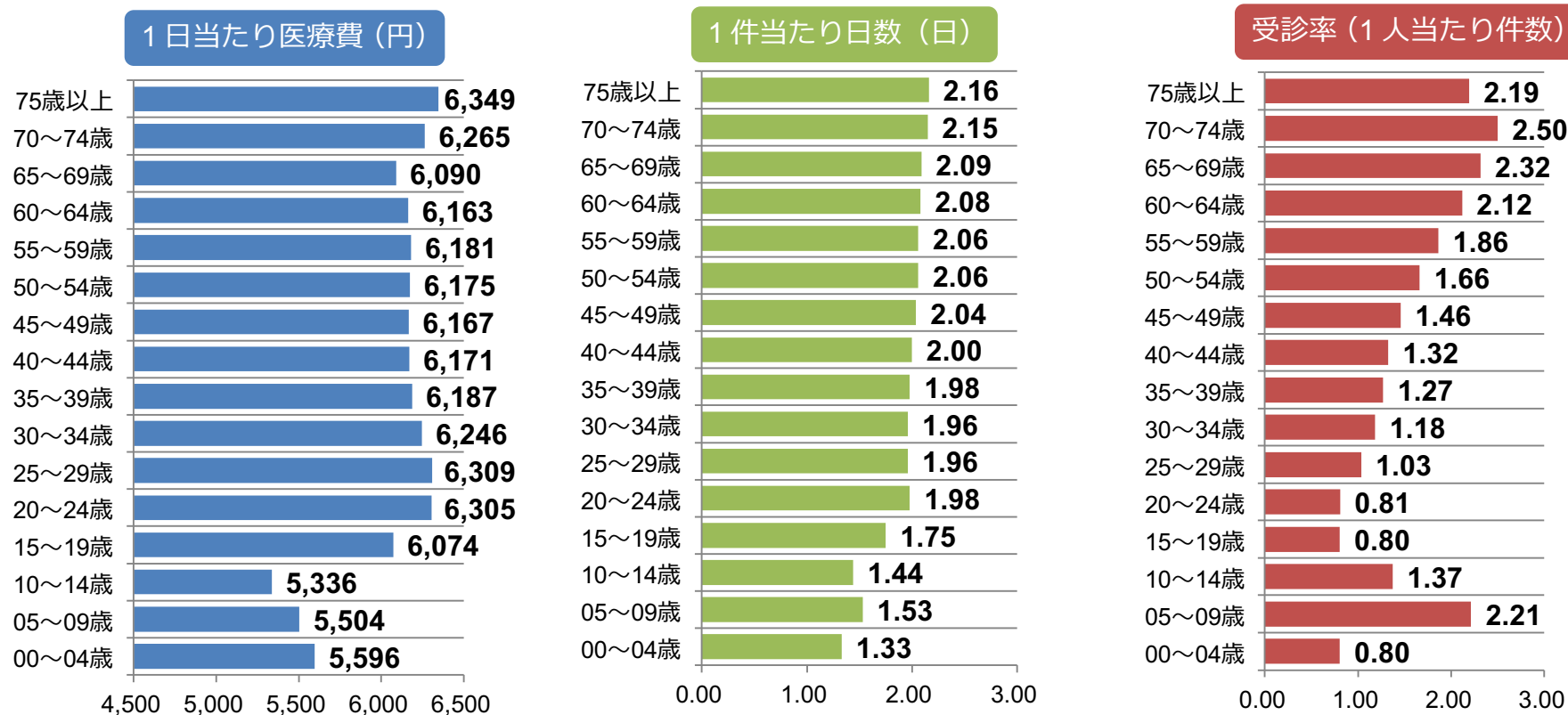
歯科レセプト		
レセプト件数	1,904万4,387件	
金額	2,237億6,560万5,540円	
	本人	1,246億8,840万210円
	家族	990億7,676万5,330円

	1人当たり 医療費 (円)	受診率 (1人当たり件数)	1件当たり 日数 (日)	1日当たり 医療費 (円)
歯科 (計)	1万6,130	1.4	1.9	6,163
入院	245	0.0	5.6	4万9,033
入院外	1万6,130	1.4	1.9	6,081

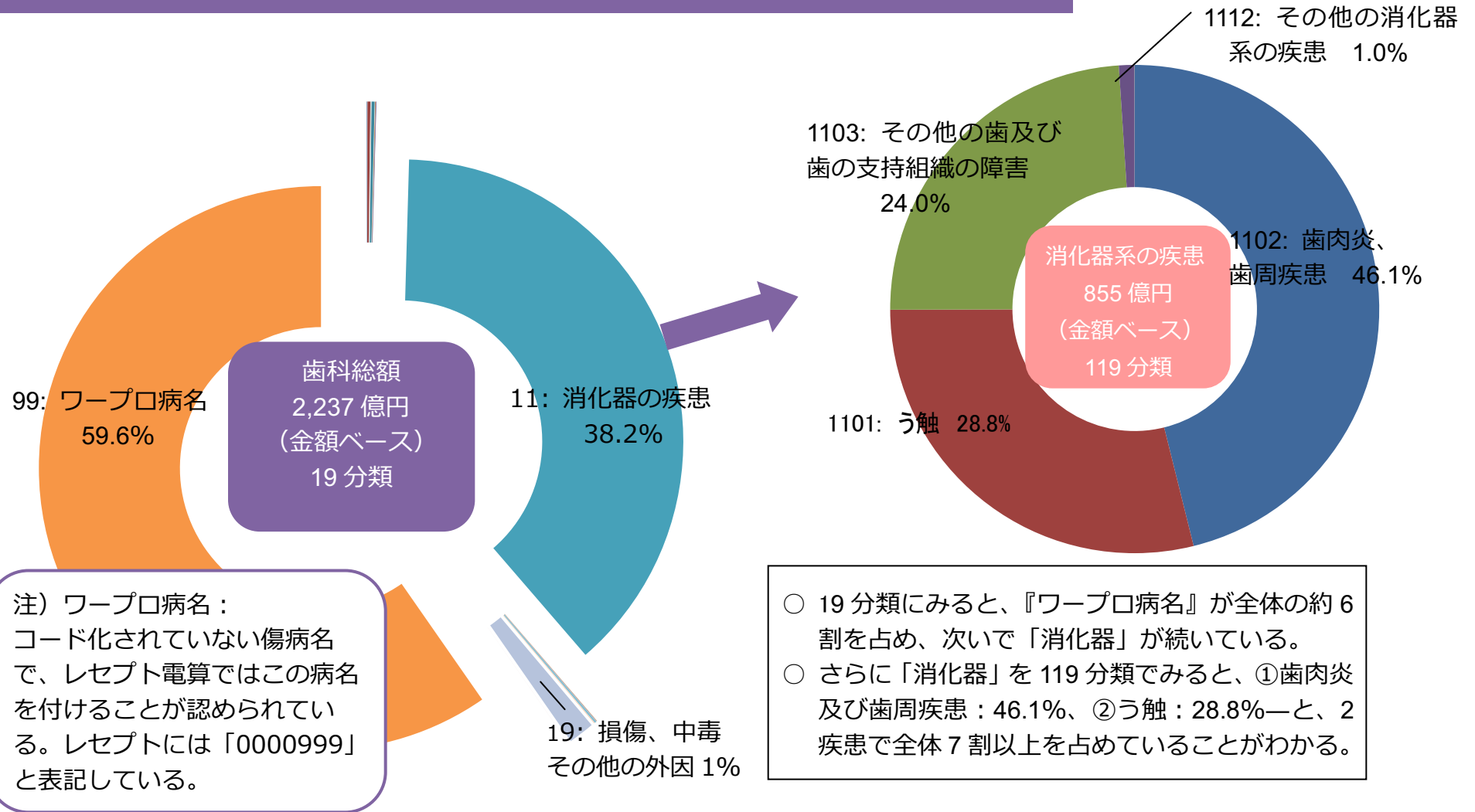


2. 歯科・入院外: 年齢階層別医療費 3 要素

- 1 日あたり医療費は総じて就学者層で低く、20～29 歳台で高い。30 歳以降は年齢階層ごとに低くなる傾向が示されているほか、70 歳以降で再び高くなる。また、1 件当たり日数は乳幼児・就学者層で短く、以降、年齢階層ごとにやや長くなる程度で大きな差異はない。
- 一方、受診率は、00-09 歳で 2.21 件と顕著な数字を示す以外は、年齢階層が上がるにつれて徐々に高くなる傾向にある。

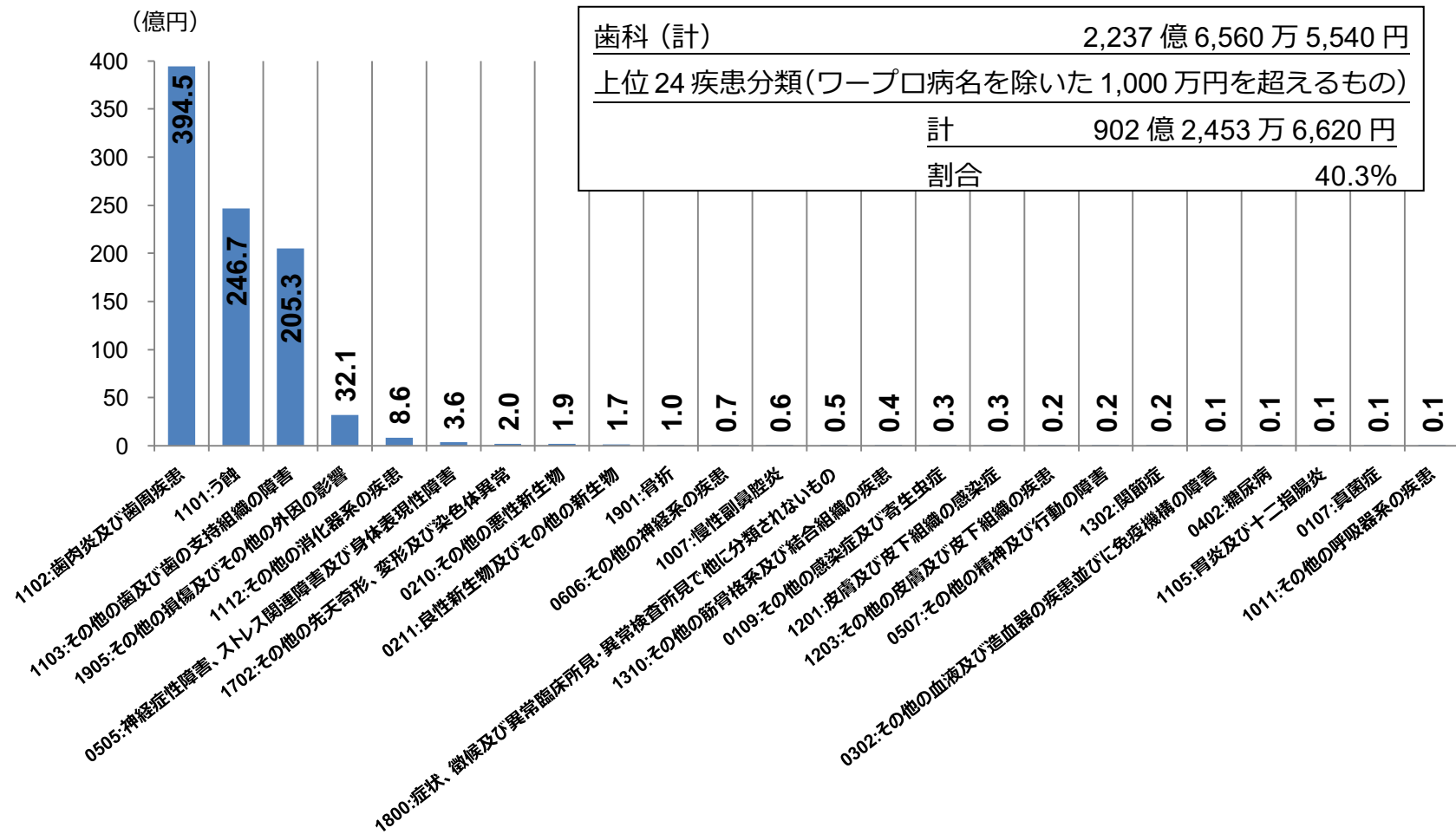


3. 歯科・入院外：疾病 19（119）分類別にみた割合（総計）



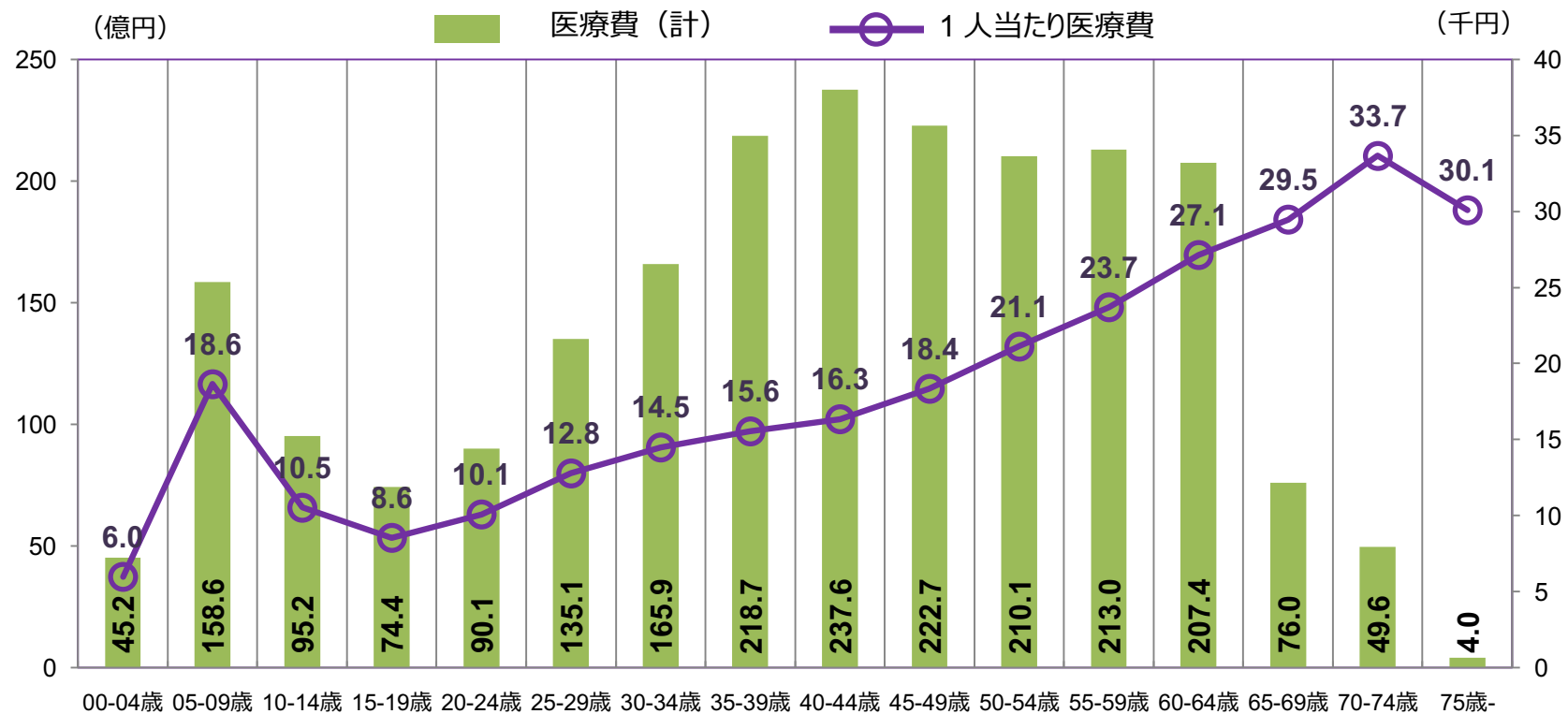
4. 歯科・入院外:119 分類別にみた医療費（ワープ口病名を除く上位 24 位: 1,000 万円以上のもの）

○ 「ワープ口病名」を除いた 119 分類別に医療費をみると、①歯肉炎及び歯周疾患が 394.5 億円と最も高く、次いで②う蝕:246.7 億円、③その他の歯及び歯の支持組織の障害：205.3 億円—となっている。



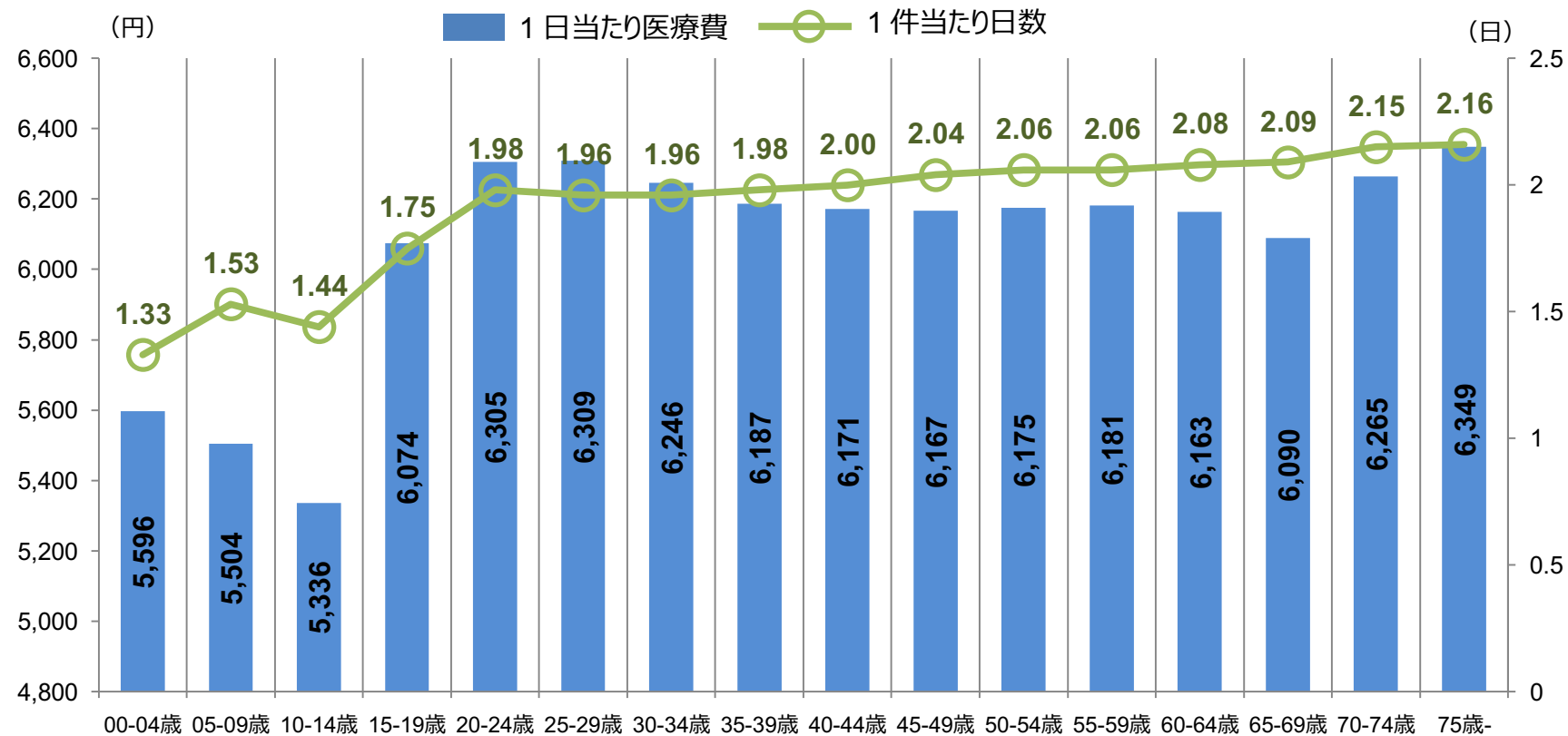
5. 歯科・年齢階層別医療費と1人当たり医療費（入院外）

- 年齢階層別医療費では、就学者層の05-09歳が高いほか、中高年層で比較的高い傾向が示されている。
- 1人当たり医療費は、同じく05-09歳の高く、20歳以降、年齢階層が上がるにつれて高くなっている。



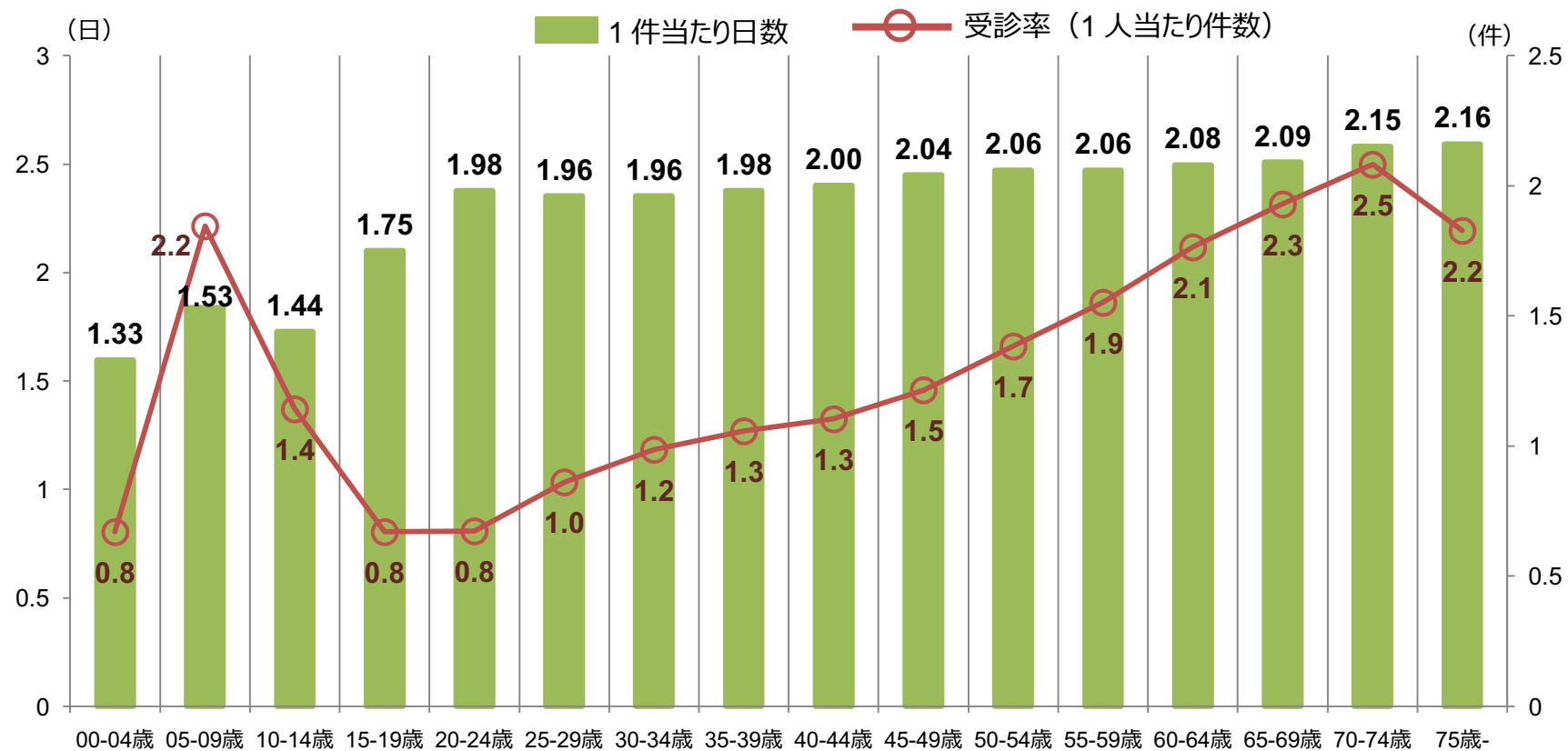
6. 歯科・年齢階層別医療費3要素(入院外):1日当たり医療費×1件当たり日数(=1件当たり医療費)

- 1人当たり医療費は、20-24歳：6,305円、25-29歳：6,309円—と、若年層で高めの水準になっている。
- 1件当たり日数は、20-24歳を境に高くなる傾向にある。また、1件当たり医療費(=1日当たり医療費×1件当たり日数)は40歳以降で年齢階層が上がるにつれて高くなるほか、1日当たり医療費が比較的高い20-29歳でも高い傾向にある。



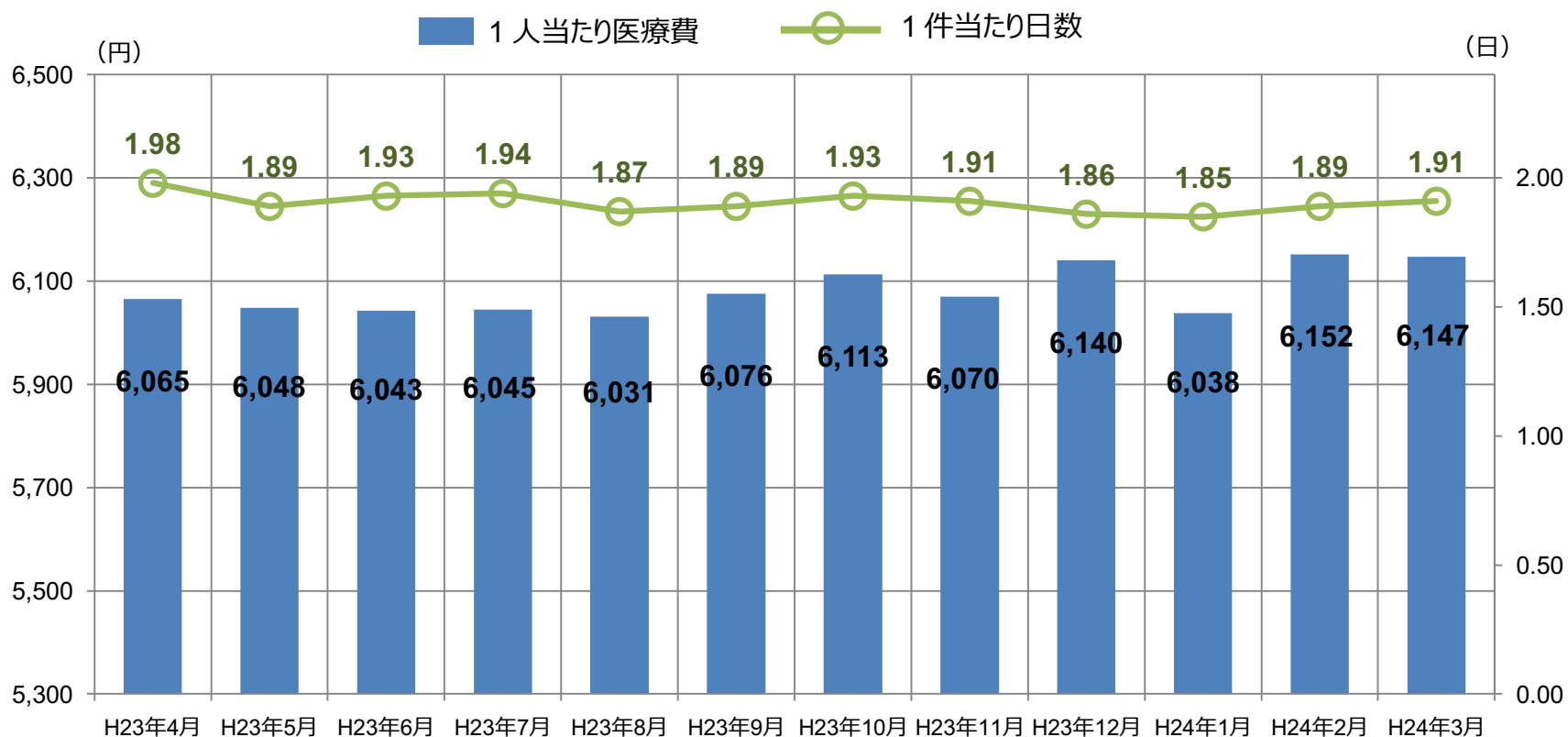
7. 歯科・年齢階層別医療費 3 要素（入院外）： 1 件当たり日数×受診率（=1 人当たり日数）

○ 受診率は、05-09 歳及び 60 歳以降で高い傾向が示されており、1 件当たり日数は概ね年齢階層が上がるにつれて高くなっている。また、1 人当たり日数（=1 件当たり日数×受診率）は、若年層では 05-09 歳：3.37 日で最も高く、以降、年齢階層が上がるにつれて長くなっている。



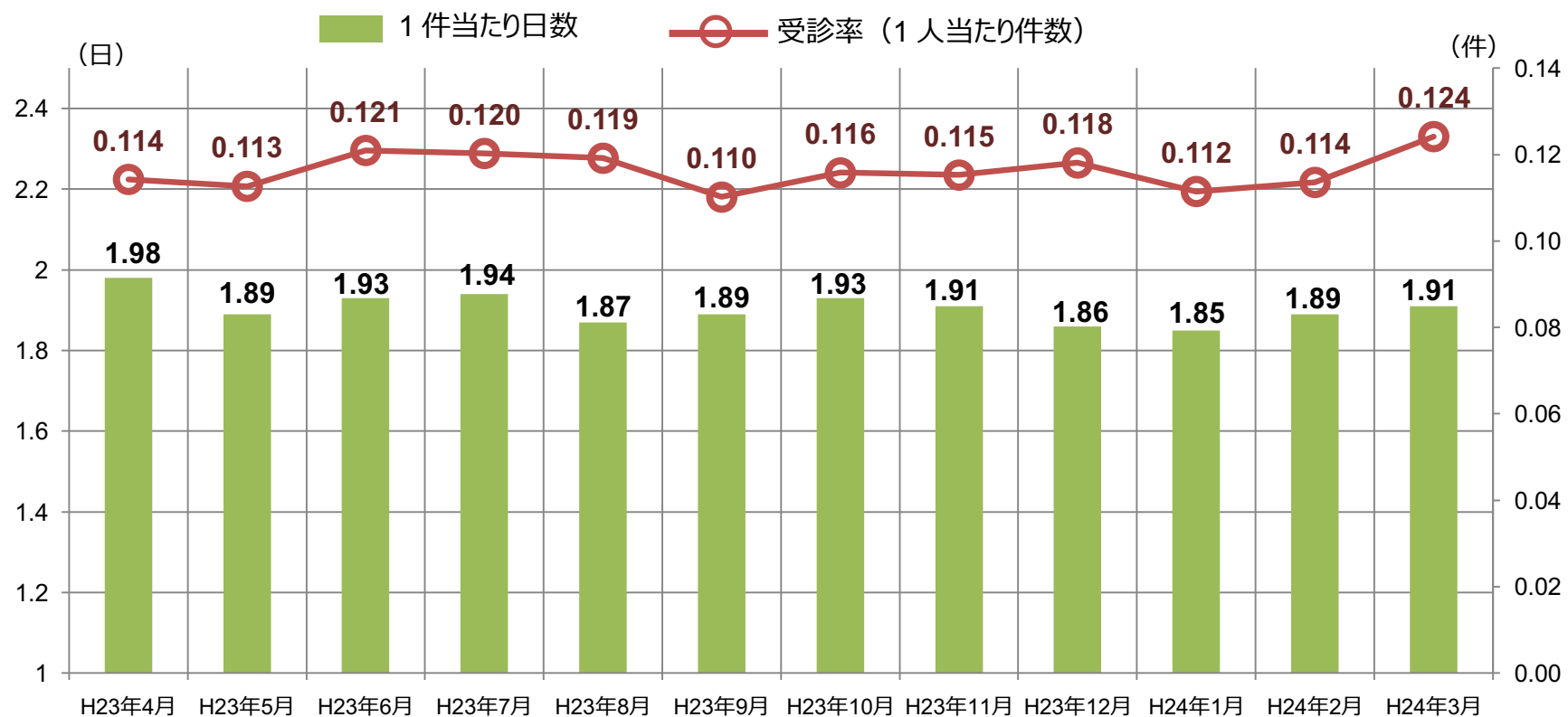
8. 歯科・入院外: 1日あたり医療費×1件あたり日数 (=1件あたり医療費) の月次推移

- 1日あたり医療費は、6,000～6,100円台で推移しており、月次での大きな変動はみられない。
- 1件あたり日数は概ね1.9日前後で推移しているが、やや季節変動が観察される。
- なお、1件あたり医療費(1日あたり医療費×1件あたり日数)は、4月(1万2,008円)、3月(1万1,741円)で高い傾向になっている。



9. 歯科・入院外:1件当たり日数×受診率（=1人当たり日数）の月次推移

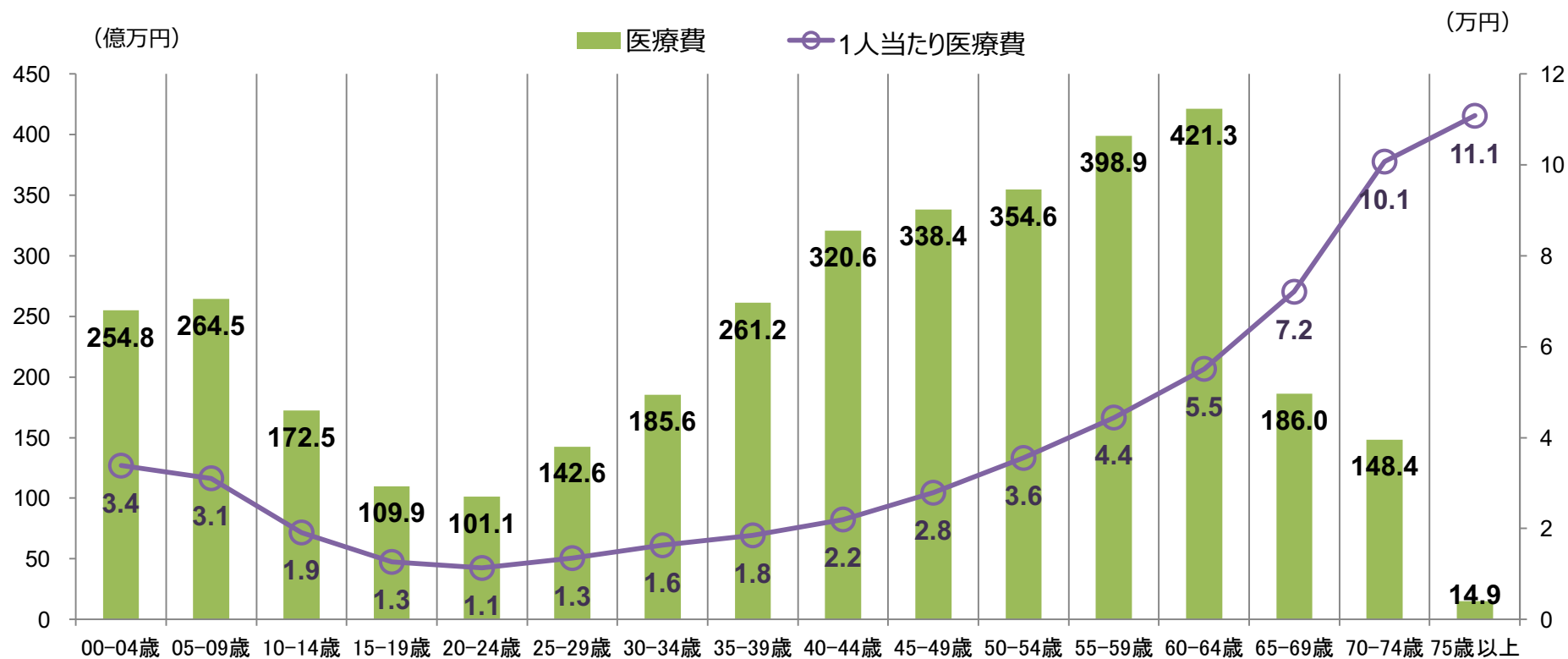
- 受診率は、3月（0.124件）が最も高く、9月（0.110件）で最も低く、季節変動が観察される。
- 1件当たり日数は、①4月：1.98日が最も長く、次いで②7月：1.94日、③6月：1.93、④10月：1.93—となっている。
- 1人当たり日数（=1件当たり日数×受診率）では、3月-4月、6月-7月が長くなる傾向が示されている。



IV. 調剤医療費の動向と現状

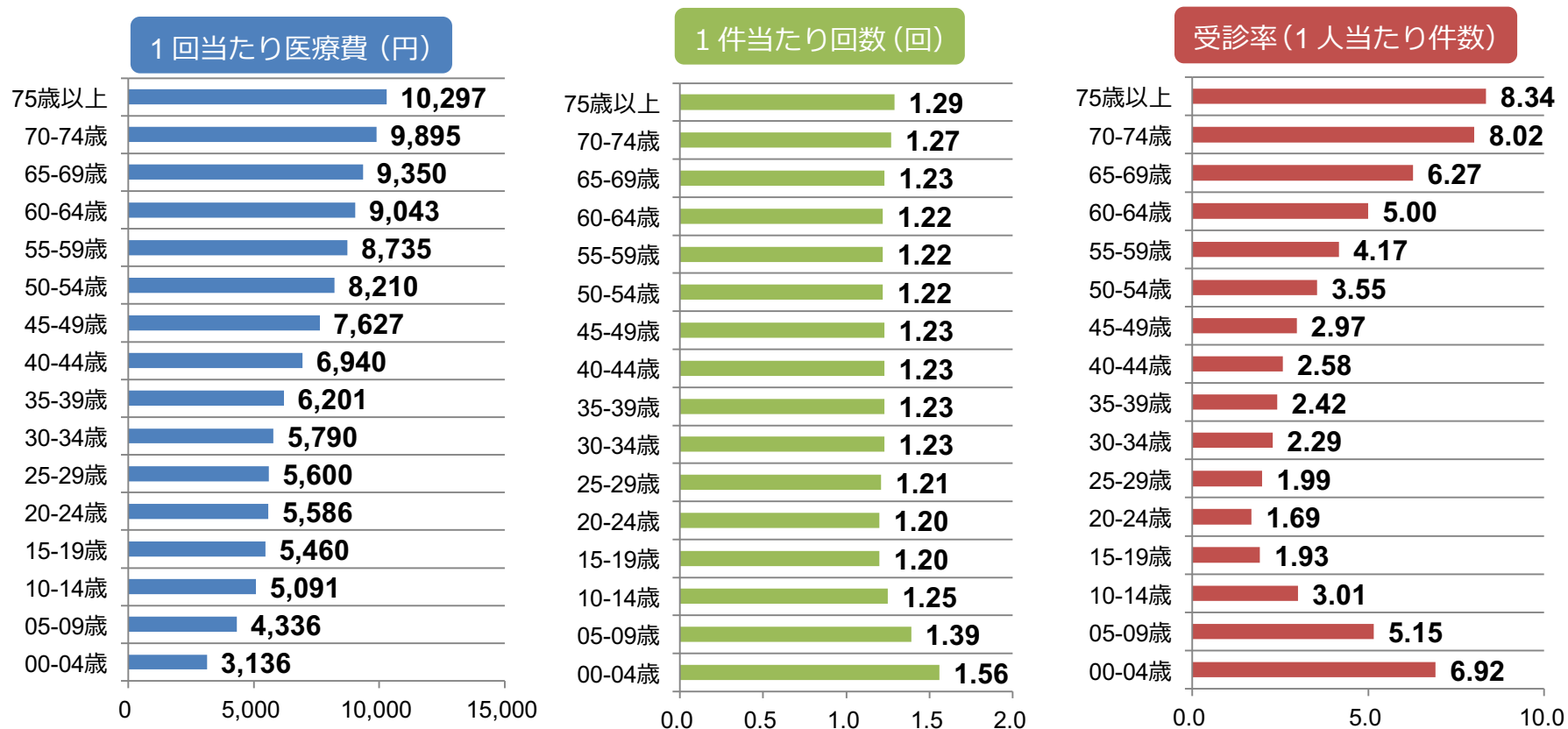
1. 調剤：年齢階層別医療費(本人・家族計)と1人当たり医療費

○ グラフは年齢階層別の調剤医療費の累計と1人当たり医療費をみたものである。乳幼児及び05-09歳で高い傾向とともに、20-24歳を過ぎると年齢階層が上がるにつれて増加している。とくに1人当たり医療費は60歳以降から顕著に高くなる傾向が示されている。(※なお、65歳を過ぎると加入者の客体数が減るため、棒グラフ上は減少してみえる。)



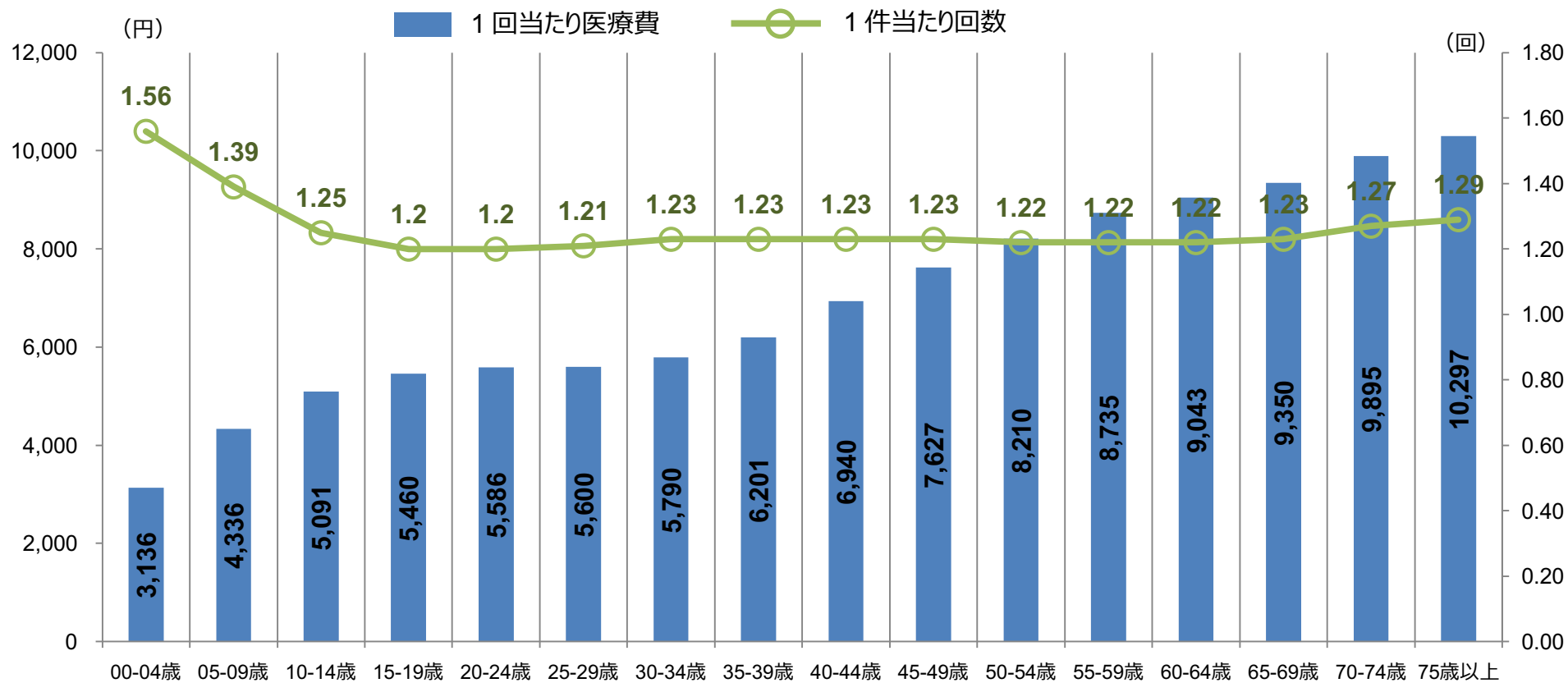
2. 調剤：年齢階層別医療費3要素（本人・家族計）

- 1人当たり医療費を構成する医療費三要素別に調剤医療費をみると、1回当たり医療費は75歳以上が最も高く10,297円、1件当たり回数は0～4歳が最も高く1.56回、受診率は75歳以上が最も高く8.34となっている。
- 1回当たり医療費と受診率は年齢が増すにつれて高くなるのに対し、1件当たり回数はどの年齢階層でも変化の幅が小さい。1人当たり医療費の増減には、1回当たり医療費と受診率の影響が大きいと考えられる。



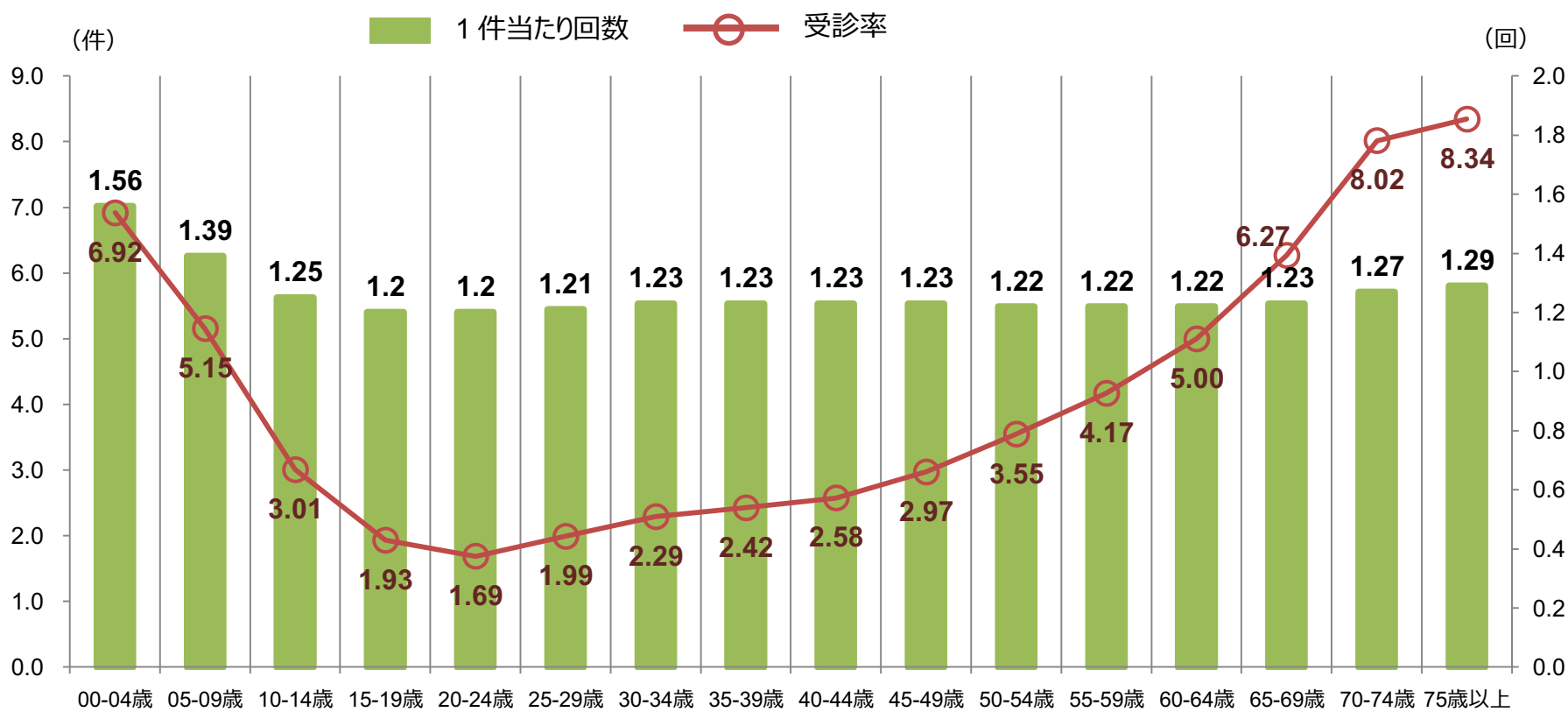
3. 調剤：年齢階層別医療費 3 要素:1 回当たり医療費×1 件当たり回数 (= 1 件当たり医療費)

○ レセプト 1 件当たり医療費を構成する 1 回当たり医療費と 1 件当たり回数の関係を見ると、1 回当たり医療費は年齢が高くなるにつれて増加しているのに対し、1 件当たり回数は 00-09 歳を除き、年齢階層での大きな差はみられない。



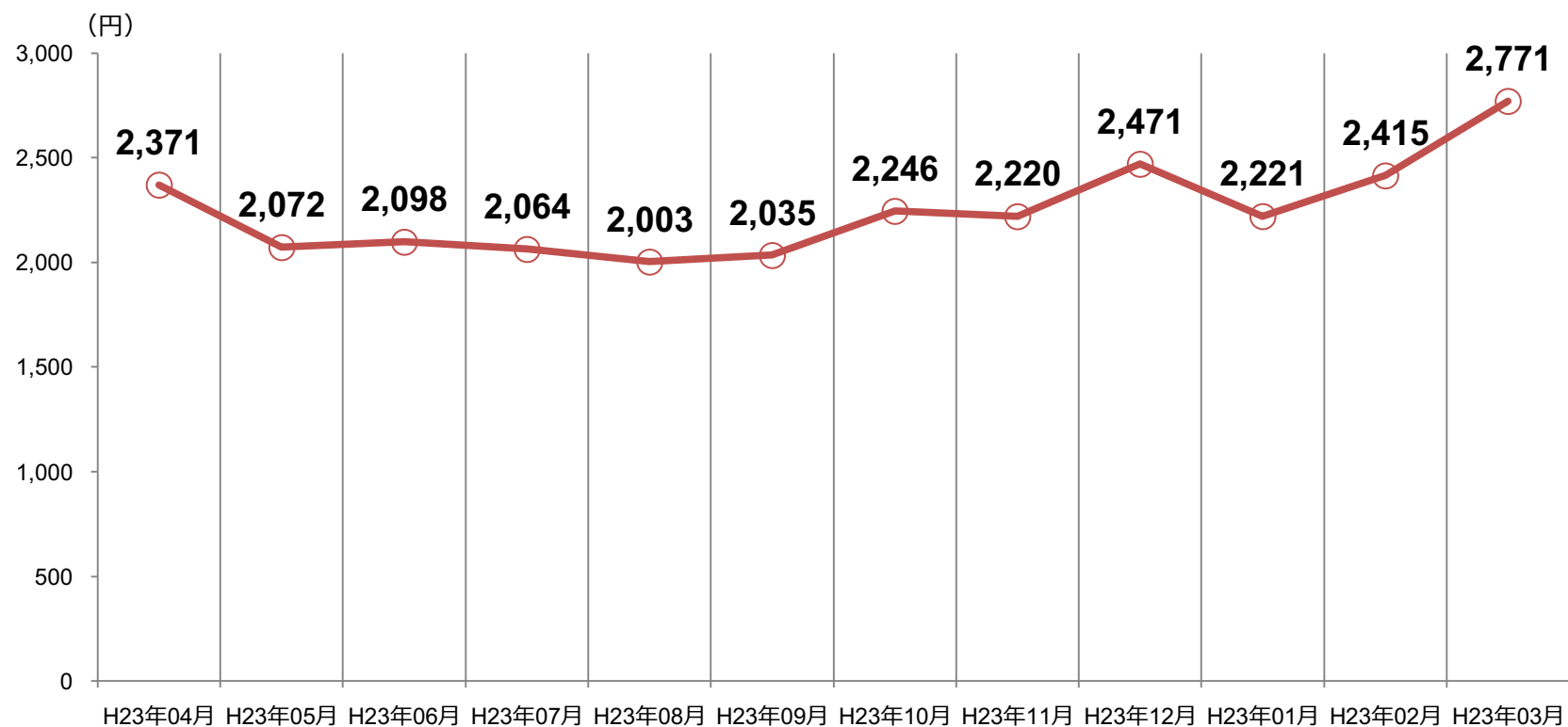
4. 調剤：年齢階層別医療費 3 要素:1 件当たり回数×受診率（=1 人当たり回数）

○ 1 人当たり処方回数を構成する 1 件当たり回数と受診率（1 人当たり件数）の関係をみると、受診率は年齢が高くなるにつれて増加しているのに対し、1 件当たり回数はどの年齢階層でも大きな差はみられない。



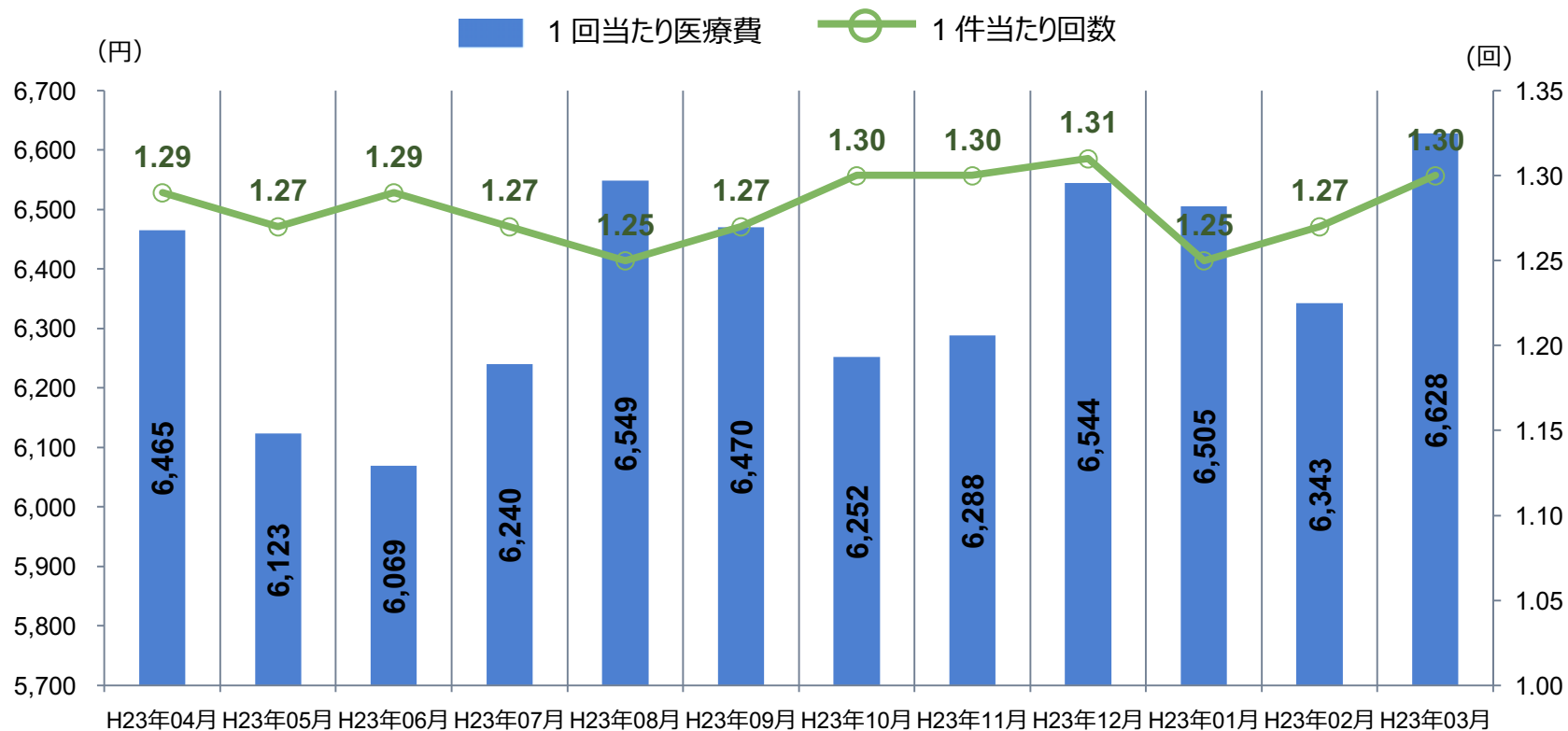
5. 調剤：1人当たり医療費（本人・家族計）の月次推移

- 1人当たり医療費を月別にみると、①3月：2,771円、②12月：2,471円、③2月：2,415円の順に高くなっている。
- 5～9月は、概ね2,000円前後で推移しており、ほとんど変動がみられない。



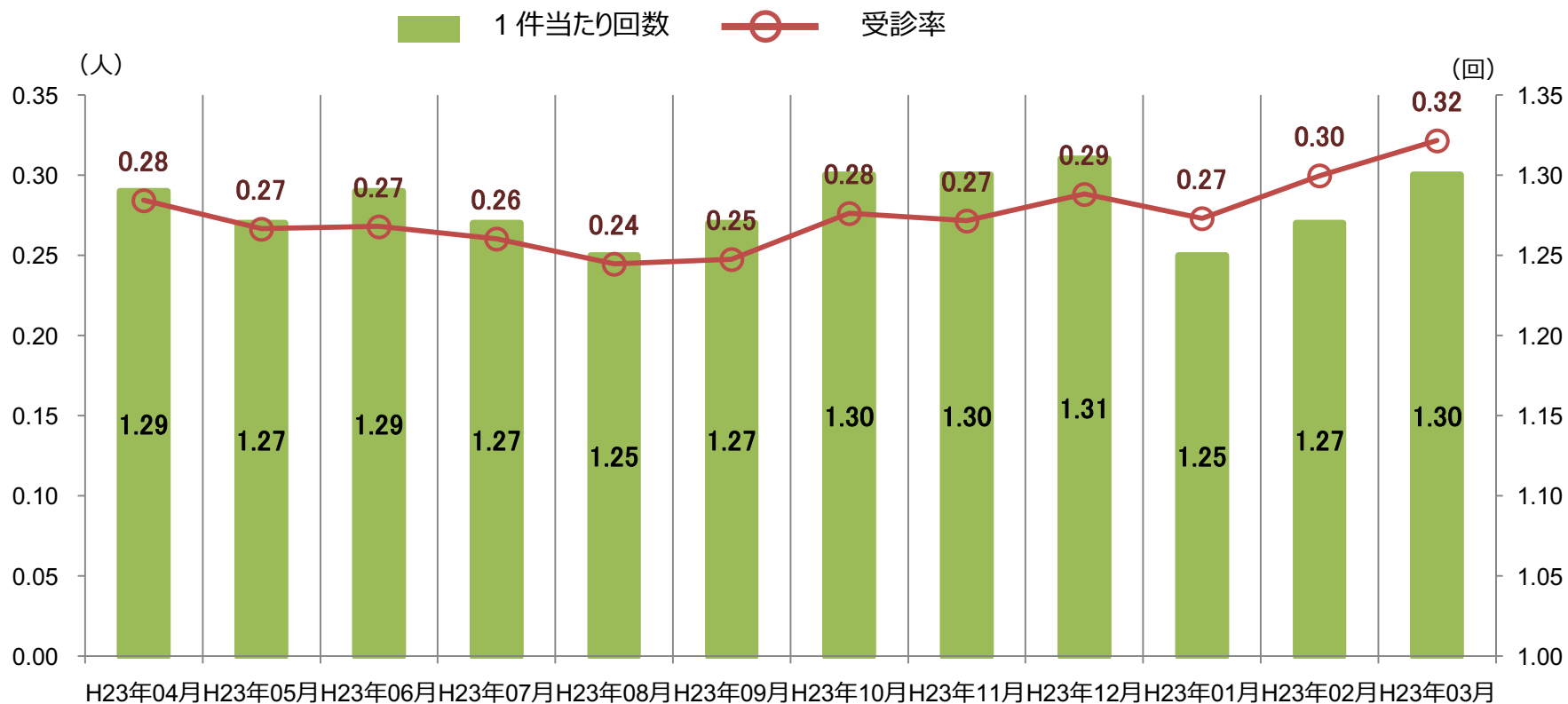
6. 調剤:1 回当たり医療費×1 件当たり回数 (= 1 件当たり医療費) の月次推移

- 「4月」「12月」「3月」が1回当たり医療費と1件当たり回数のどちらも高くなっており、この月は1人当たり医療費も高い。
- 1回当たり医療費は最高が3月：6,628円、最低が6月：6,069円—となっている。
- 変動の幅は、1回当たり医療費が特に大きく、1人当たり医療費の変動に関する影響が大きいとみられる。



7. 調剤:1件当たり日数×受診率 (=1人当たり日数) の月次推移

- 1人当たり処方回数を構成する1件当たり日数と受診率(1人当たり件数)の関係を見ると、1件当たり日数は8月：0.24、9月：0.25、8月：受診率では1.25、9月：1.27—と、両月とも低く、その結果、1人当たり日数(=1件当たり日数×受診率)も低い傾向になっている。



第 2 部 22 年度と 23 年度の医療費（450 組合）の比較

第2部：平成22年度と23年度の医療費の比較の対象データ（450組合）について

組合数	区分	加入者数（名）			受診者数（名）			レセプト件数（件）			
		H22年度	H23年度	増減	H22年度	H23年度	増減	H22年度	H23年度	増減	
450組合	医科歯科・計		10,903,397	10,935,168	0.29	9,986,381	10,114,479	1.28	111,763,760	115,225,627	3.10
	医科	医科・計				9,395,363	9,525,909	1.39	62,070,052	63,629,112	2.51
		入院				530,134	538,946	1.66	867,930	877,918	1.15
		入院外				9,382,073	9,513,155	1.40	61,202,122	62,751,194	2.53
		歯科・計				4,789,962	4,938,628	3.10	14,895,820	15,471,614	3.87
	歯科	入院				7,403	8,180	10.50	9,023	9,878	9.48
		入院外				4,789,936	4,938,594	3.10	14,886,797	15,461,736	3.86
		調剤				7,324,753	7,499,604	2.39	34,797,888	36,124,901	3.81

区分	実日数（日）			処方せん受付回数（回）			医療費（円）			
	H22年度	H23年度	増減	H22年度	H23年度	増減	H22年度	H23年度	増減	
医科歯科調剤・計		130,341,873	132,164,046	1.40	44977180	46240822	2.81	1,438,799,170,970	1,497,358,776,880	4.07
医科	医科・計	101,385,336	102,625,630	1.22	—	—	—	988,863,107,330	1,019,876,277,920	3.14
	入院	8,359,303	8,341,004	-0.22	—	—	—	371,199,304,640	381,526,316,450	2.78
	入院外	93,026,033	94,284,626	1.35	—	—	—	617,663,802,690	638,349,961,470	3.35
歯科	歯科・計	28,956,537	29,538,416	2.01	—	—	—	176,174,397,270	182,161,915,190	3.40
	入院	52,057	55,464	6.54	—	—	—	2,495,535,850	2,711,967,560	8.67
	入院外	28,904,480	29,482,952	2.00	—	—	—	173,678,861,420	179,449,947,630	3.32
調剤		—	—	0	44977180	46240822	2.81	273,761,666,370	295,320,583,770	7.88

1. H22年度とH23年度の医療費の比較（450組合）

- 同一の450組合を対象に、22年度と23年度の医療費を比較すると、総医療費（医科・歯科・調剤）では前年度比約4.1%、医科：3.1%、歯科：3.4%、調剤：7.9%の増加となり、とくに調剤の伸びが大きいことがわかる。
- これを1人当たり医療費で見ると、総医療費：3.7%、医科：2.9%、歯科：3.4%、調剤：7.8%となり、調剤の伸び率が顕著となっている。
- 医科の入院・入院外別で見ると、入院：2.8%、入院外：3.4%、1人当たり医療費では、入院：2.5%、入院外：2.9%と、いずれも「入院外」の伸びが大きくなっている。

加入者数（450組合）の増減

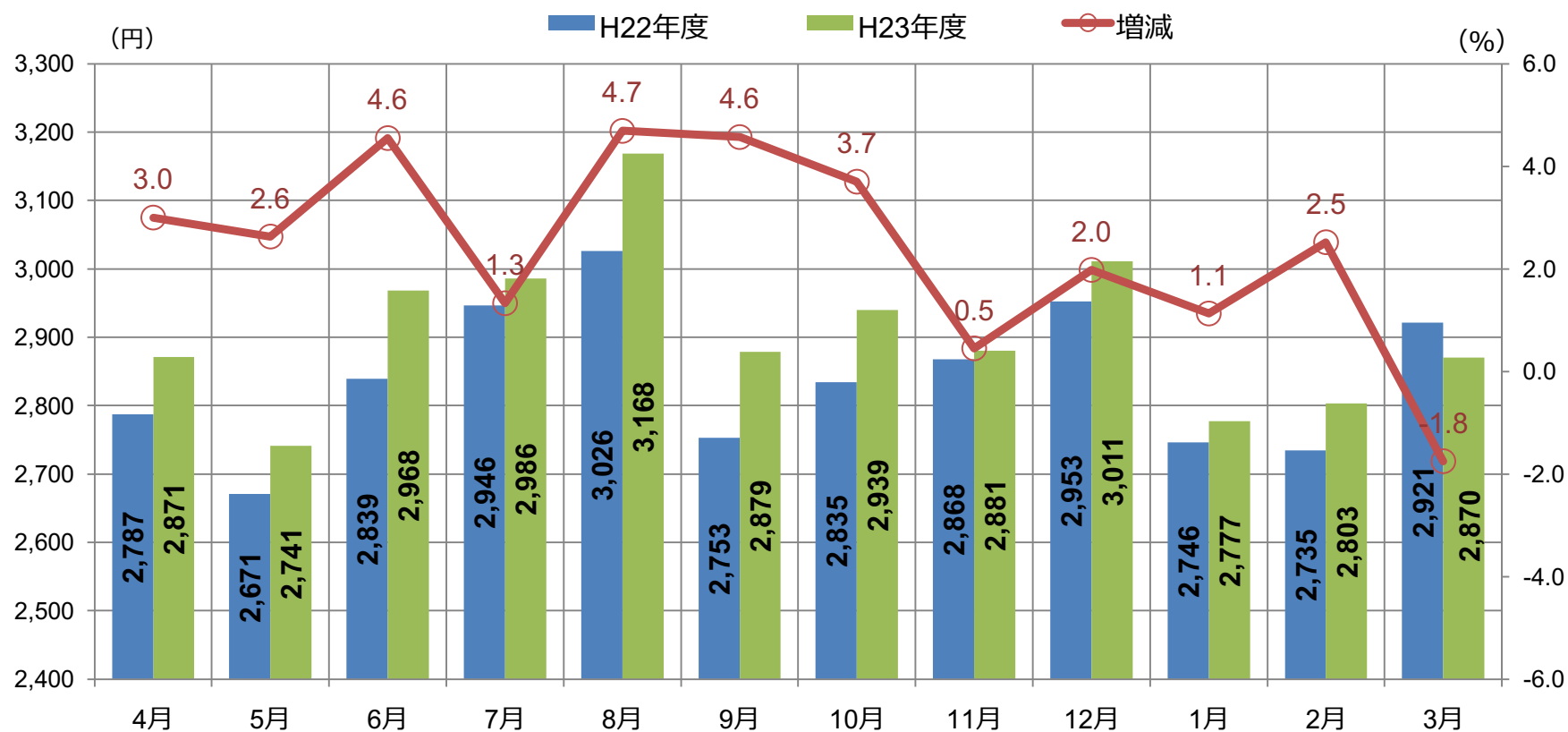
H22年度	H23年度	増減
1,090万3,397名	1,093万5,168名	0.29%

	医療費			1人当たり医療費（万円）		
	H22年度	H23年度	増減率	H22年度	H23年度	増減率
医療費【総計】	1兆4,388億円	1兆4,974億円	4.1%	13.2	13.7	3.7%
医科（計）	9,888億円	1兆198億円	3.1%	9.1	9.3	2.9%
入院	3,712億円	3,815億円	2.8%	3.4	3.5	2.5%
入院外	6,177億円	6,383億円	3.4%	5.6	5.8	2.9%
歯科（計）	1,762億円	1,822億円	3.4%	1.6	1.7	3.4%
入院	25億円	27億円	8.7%	0.02	0.03	11.6%
入院外	1,737億円	1,794億円	3.3%	1.6	1.6	3.3%
調剤	2,738億円	2,953億円	7.9%	2.5	2.7	7.8%

2. 医科・入院：1人当たり医療費と増減率の月次推移

入院

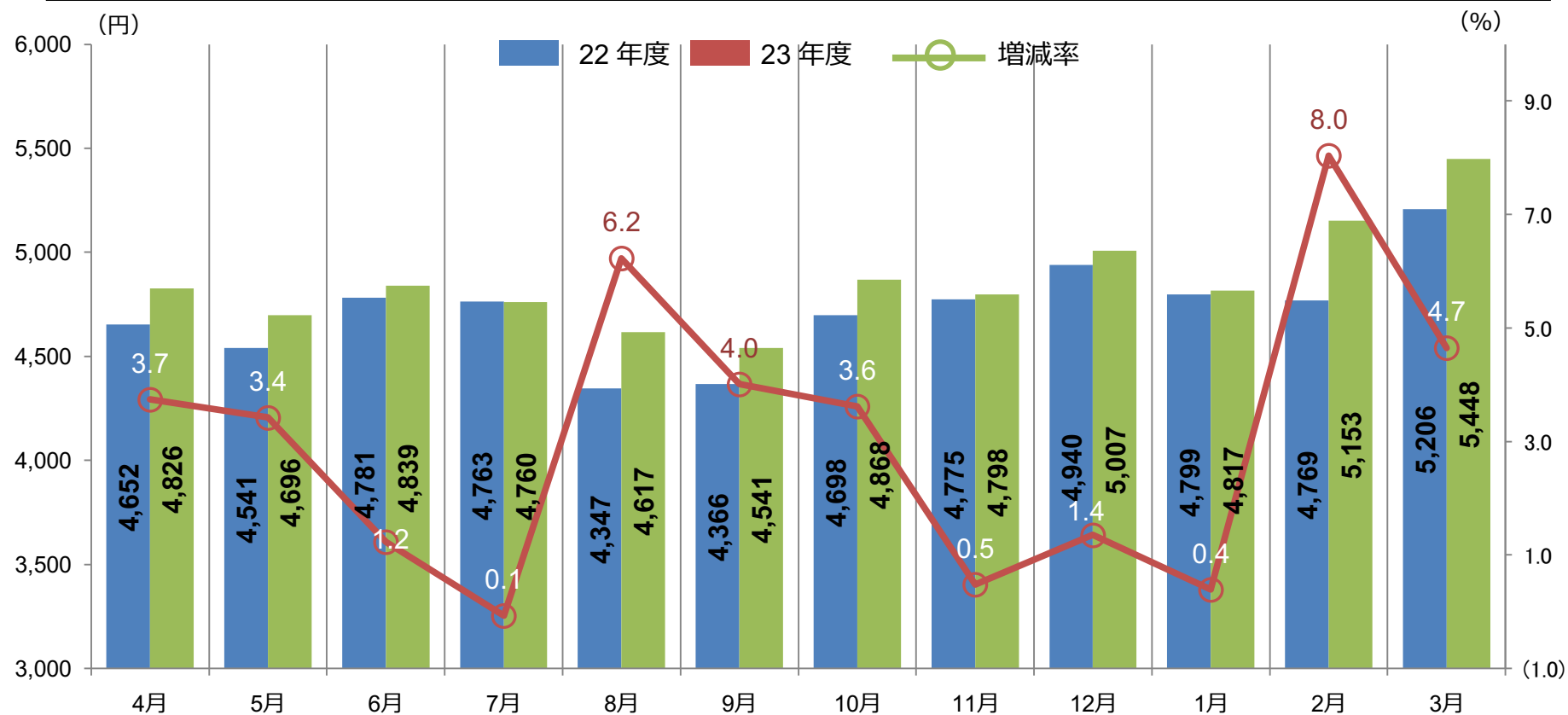
○ グラフは医科・入院外について、22-23年の月別の1人当たり医療費と前年同月比の伸び率をみたものである。伸びが顕著なのは、6月：4.6%、8月：4.7%、9月：4.6%であり、逆に伸びが低かったのは、11月：0.5%、1月：1.1%、3月：-1.8%—となっている。



3. 医科・入院外：1人当たり医療費と増減率の月次推移

入院外

○ 医科・入院では、全体的にどの月においても前年を上回っている。とくに伸びが顕著なのは、8月：6.2%、9月：4.0%、2月：8.0%、3月：4.7%であり、逆に伸びが低かったのは、7月：0.1%、11月：0.5%、1月：0.4%—となっており、月次での伸びの変動が大きいことがわかる。



4. 医療費 3 要素の対前年度比（増減率）

- 表は、医療費 3 要素について前年度との比較を行ったものである。増減率をみると、1 日当たり医療費と受診率については前年度に比べ伸びているものの、1 件当たり日数は、どの診療種別においても減少していることがわかる。このことから、23 年度の医療費の伸びは、1 日当たり医療費が伸びたこと（2.6%）に加え、受診率が増加（2.8%）したことが主な要因と考えられる。
- 医科の入院・入院外でみると、入院では、1 日当たり医療費：3.0%、1 件当たり日数：-1.4%、受診率：0.9%—となっており、1 日当たり医療費の伸びの影響が大きいものと考えられる。
- また、入院外では、1 日当たり医療費 2.0%、1 件当たり日数：-1.3%、受診率：2.2%—となっており、1 日当たり医療費の伸びに加え、受診率の増加が影響しているものと考えられる（次頁：本人・家族別 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素を参照）。

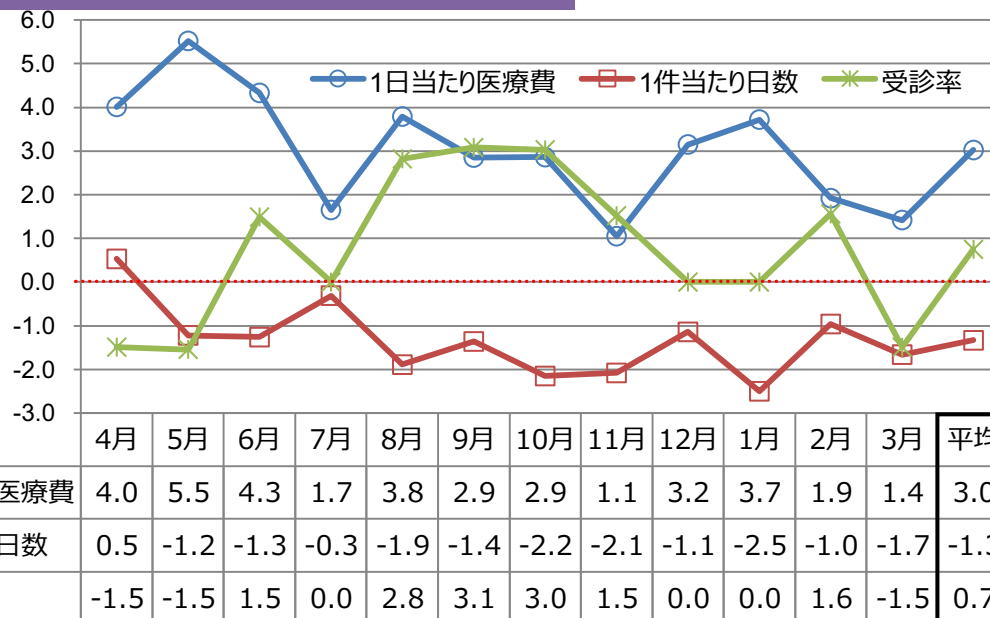
	1 日当たり医療費（円）			1 件当たり日数			受診率（1 人当たり件数）		
	H22 年度	H23 年度	増減	H22 年度	H23 年度	増減	H22 年度	H23 年度	増減
医療費（総計）	11,039	11,330	2.6%	1.17	1.15	-1.7%	10.25	10.54	2.8%
医科（計）	9,754	9,938	1.9%	1.63	1.61	-1.2%	5.69	5.82	2.2%
入院	44,406	45,741	3.0%	9.63	9.50	-1.4%	0.08	0.08	0.9%
入院外	6,640	6,770	2.0%	1.52	1.50	-1.3%	5.61	5.74	2.2%
歯科（計）	6,084	6,167	1.4%	1.94	1.91	-1.6%	1.37	1.41	3.6%
入院	47,939	48,896	2.0%	5.77	5.61	-2.8%	0.00	0.00	12.5%
入院外	6,009	6,087	1.3%	1.94	1.91	-1.6%	1.37	1.41	3.6%
調剤	6,087	6,387	4.9%	1.29	1.28	-0.8%	3.19	3.30	3.5%

5. 本人・家族別 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素の前年度比較及び対前年度比（増減率）

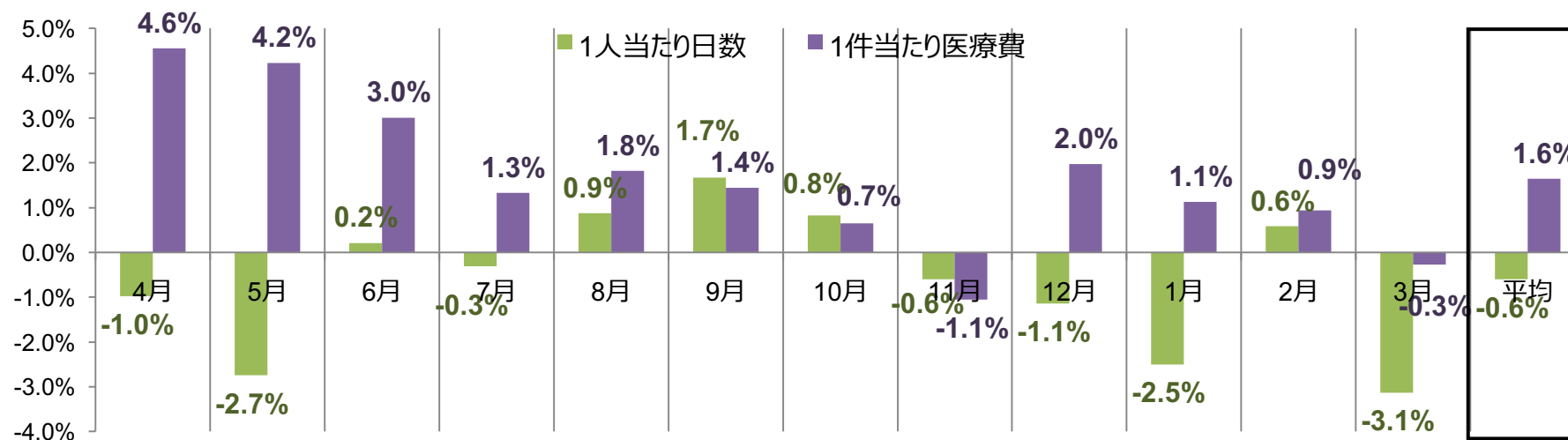
		1 人当たり医療費（円）			1 日当たり医療費（円）			1 件当たり日数			受診率		
区分		22 年度	23 年度	増減	22 年度	23 年度	増減	22 年度	23 年度	増減	22 年度	23 年度	増減
本人	合計	126,165	132,581	5.1	11,993	12,323	2.8	1.16	1.15	-0.9	9.07	9.36	3.2
	医科（計）	109,271	113,798	4.1	14,000	14,426	3.0	1.01	0.99	-2.0	7.73	7.97	3.1
	入院	31,685	32,645	3.0	49,075	50,529	3.0	9.33	9.19	-1.5	0.07	0.07	1.6
	入院外	77,195	81,546	5.6	10,838	11,223	3.6	0.93	0.92	-1.1	7.66	7.90	3.1
	歯科（計）	17,300	17,849	3.2	6,293	6,369	1.2	2.05	2.02	-1.5	1.34	1.39	3.5
	入院	226	248	9.4	44,710	45,810	2.5	6.33	6.01	-5.1	0.00	0.00	12.5
	入院外	17,096	17,541	2.6	6,222	6,294	1.2	2.05	2.01	-2.0	1.34	1.39	3.5
	合計	138,035	142,481	3.2	10,221	10,467	2.4	1.17	1.15	-1.7	11.54	11.84	2.6
家族	医科（計）	123,268	127,096	3.1	11,246	11,538	2.6	1.08	1.06	-1.9	10.15	10.39	2.4
	入院	36,627	37,359	2.0	40,738	41,925	2.9	9.88	9.76	-1.2	0.09	0.09	0.3
	入院外	86,530	89,398	3.3	8,603	8,856	2.9	1	0.98	-2.0	10.06	10.30	2.4
	歯科（計）	14,891	15,419	3.5	5,839	5,928	1.5	1.83	1.8	-1.6	1.39	1.45	3.7
	入院	243	246	1.3	51,866	52,559	1.3	5.21	5.21	0.0	0.00	0.00	0.0
	入院外	14,676	15,096	2.9	5,758	5,840	1.4	1.83	1.79	-2.2	1.39	1.44	3.7

6. 医科・入院における医療費 3 要素の伸び率（前年同期比）の月次推移

- 右のグラフは、入院における医療費 3 要素の前年度比の伸び率の月次推移を示している。1 件当たり日数が 4 月をのぞいてマイナスで推移していることがわかる。
- 下のグラフは、医療費 3 要素から、①1 人当たり日数、②1 件当たり医療費を算出し、前年同期比の伸び率の月次推移をみたものである。平均では、①-0.6%、②1.6%となっており、1 件当たり医療費の伸びが入院医療費の増加に寄与していると考えられる。

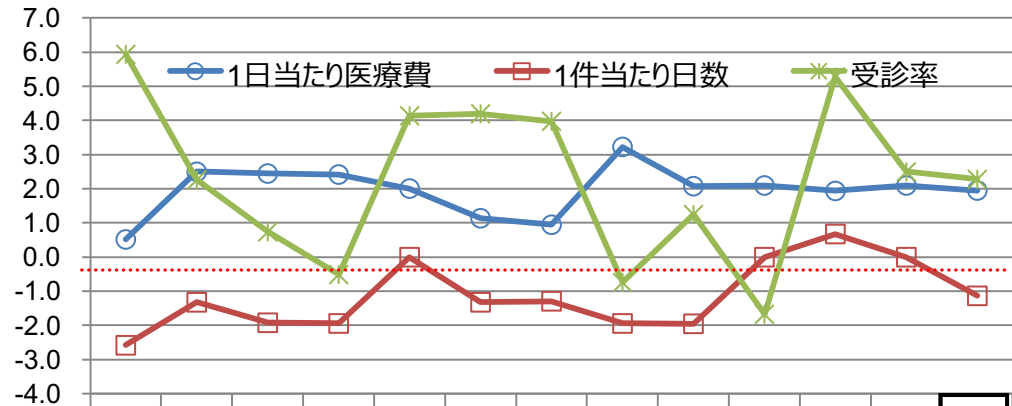


入院



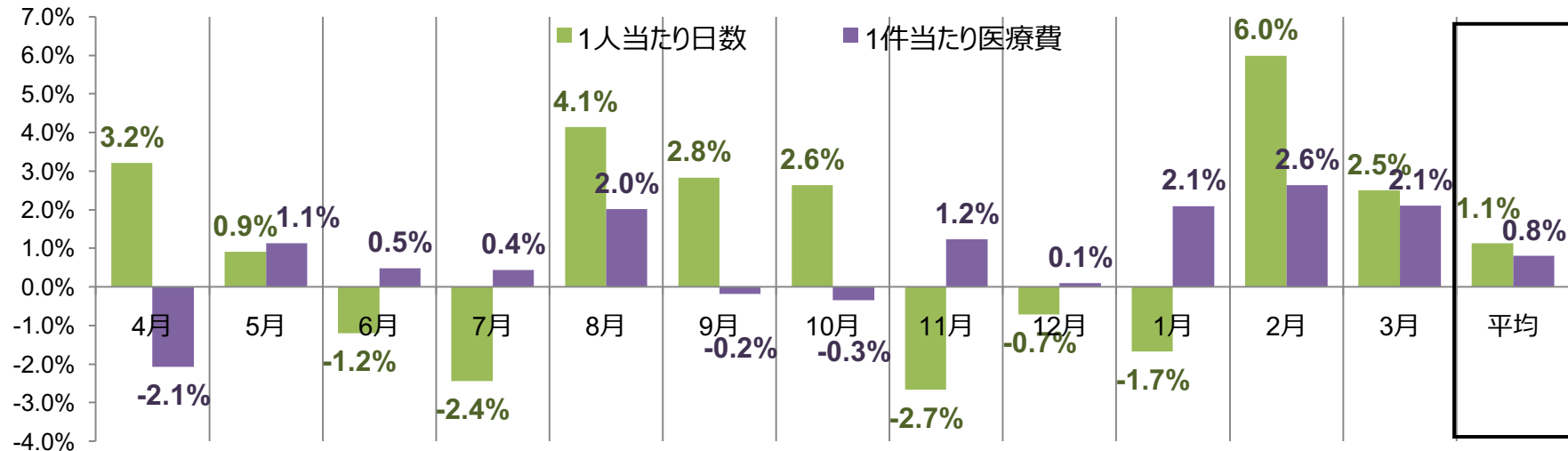
7. 医科・入院外における医療費 3 要素の伸び率（前年同期比）の月次推移

- 入院外では、1 件当たり日数が 2 月をのぞいて、0 もしくはマイナスで推移しており、平均：-1.1%、1 件当たり医療費：2.0%、受診率：2.3% となっている。
- 医療費 3 要素から算出した、① 1 人当たり日数、② 1 件当たり医療費の伸び率は、1 日当たり医療費の増加に加え、とくに受診率の影響が大きく、その結果、平均で①「1.1%」、②「0.8%」となっており、とくに 1 人当たり日数の伸びが入院外医療費の増加に寄与していると考えられる。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1日当たり医療費	0.5	2.5	2.5	2.4	2.0	1.1	1.0	3.2	2.1	2.1	1.9	2.1	2.0
1件当たり日数	-2.6	-1.3	-1.9	-1.9	0.0	-1.3	-1.3	-1.9	-2.0	0.0	0.7	0.0	-1.1
受診率	5.9	2.3	0.7	-0.5	4.1	4.2	4.0	-0.7	1.3	-1.7	5.3	2.5	2.3

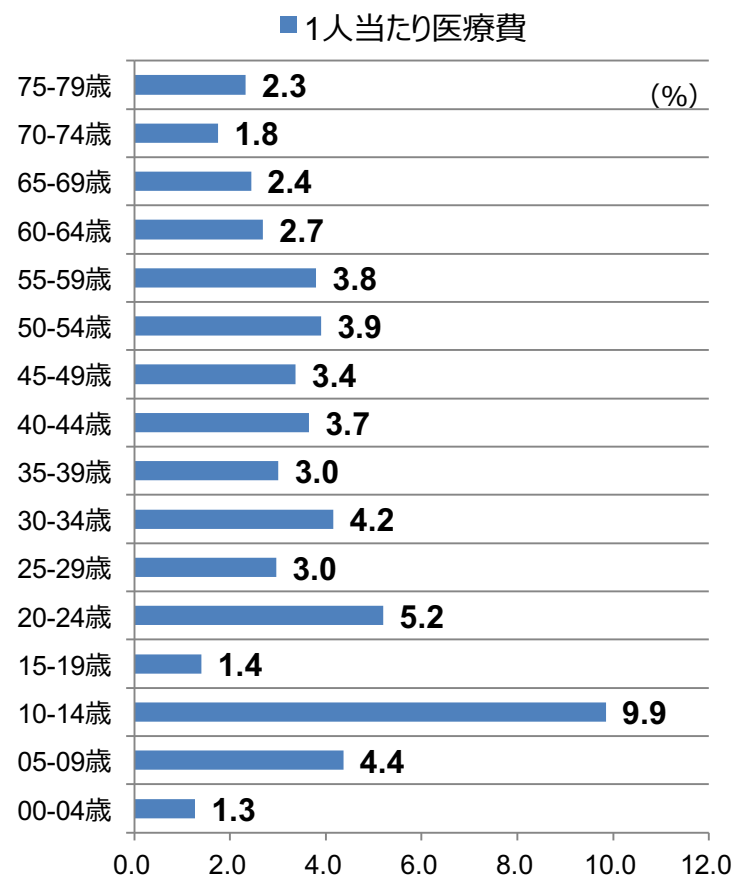
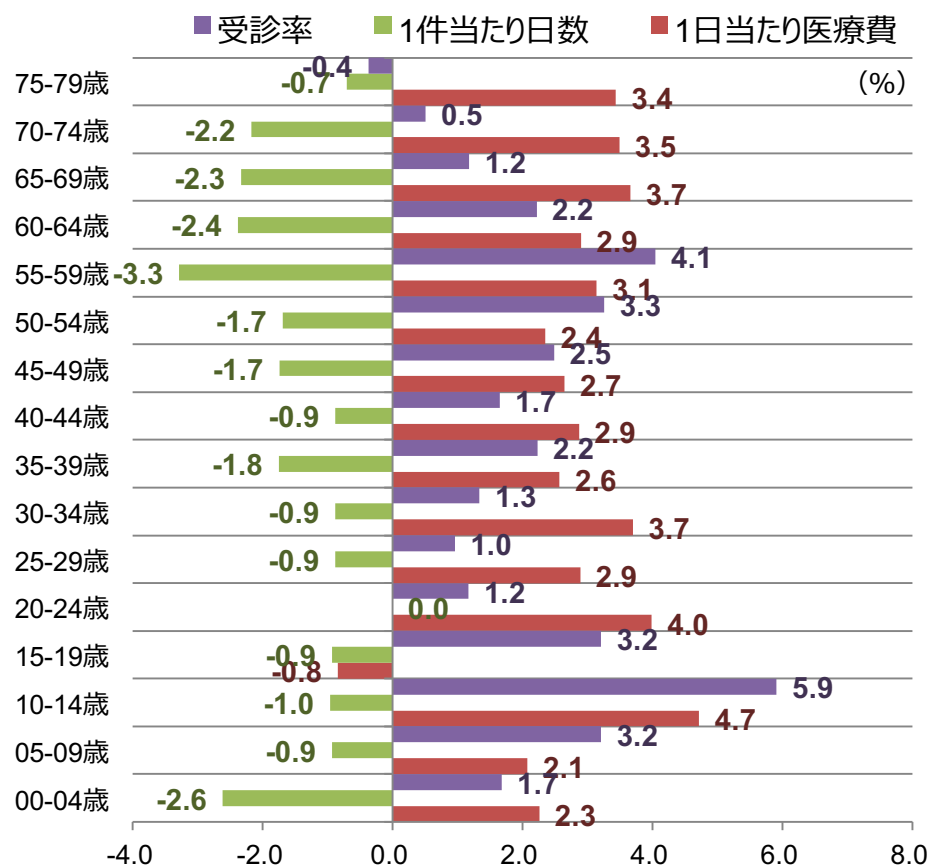
入院外



8. 医科：年齢階層別・男女別にみた1人当たり医療費と医療費3要素の伸び率（対前年度比）

男性

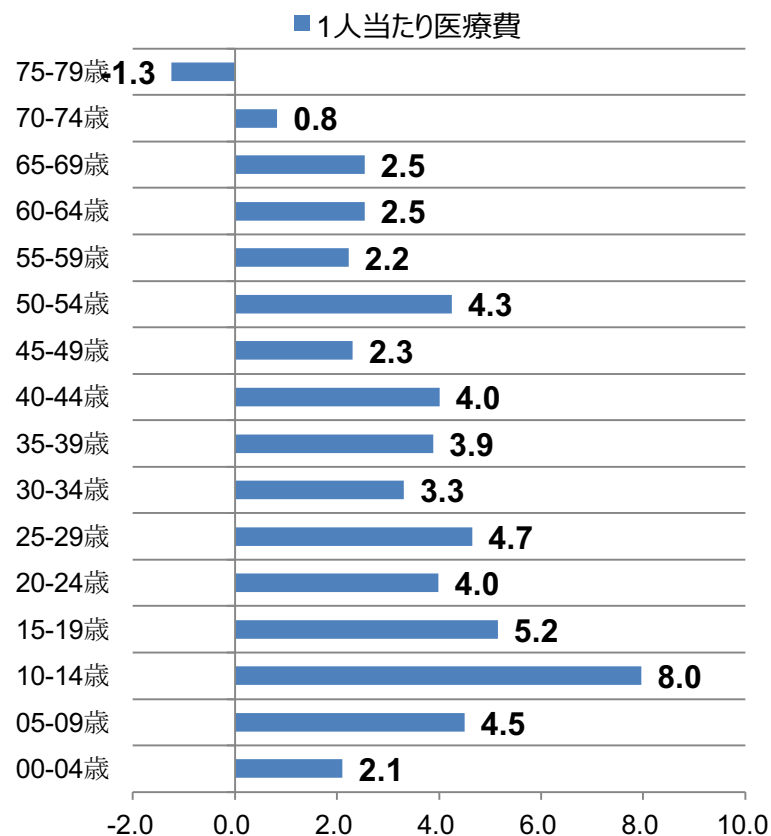
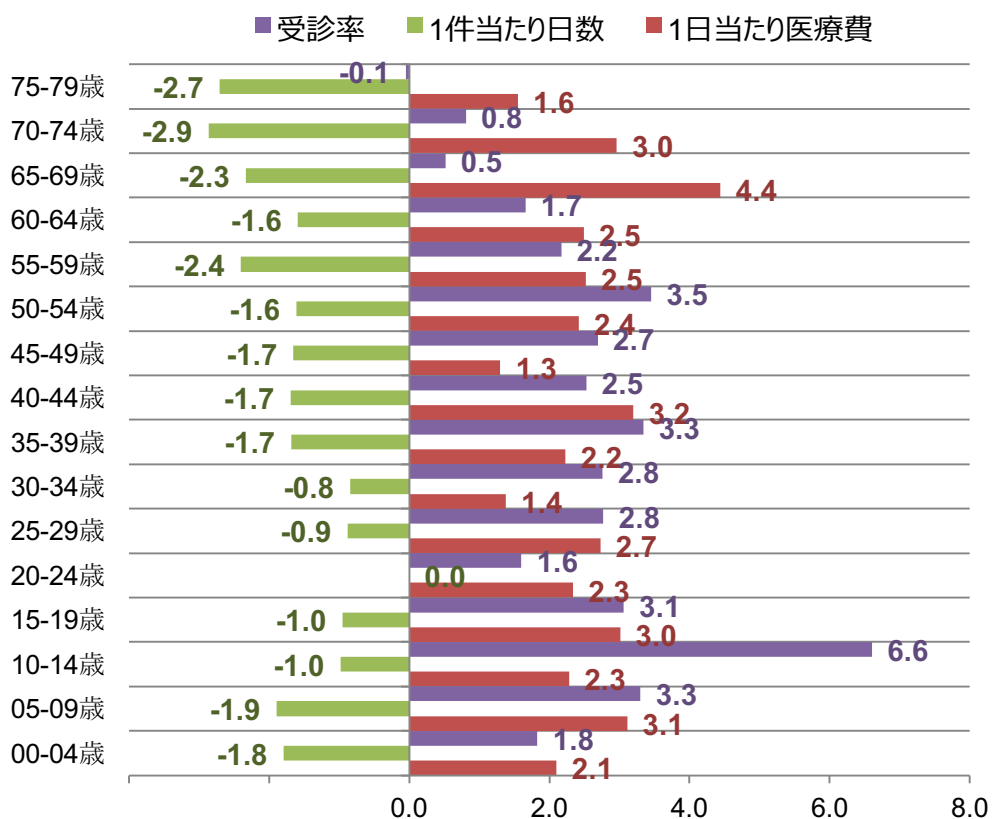
○ 医科（入院・入院外計）について、年齢階層別・男女別に1人当たり医療費と医療費3要素の対前年度比の伸び率を示したものである。男性では、10-14歳で受診率の伸び率が5.9%と高く、また、1人当たり医療費の伸びも9.9%と最も高い。そのほか1人当たり医療費の伸びは20-24歳で5.2%と高く、それ以降50-54歳をピークに年齢階層が上がるにつれて低くなる傾向にある。



9. 医科：年齢階層別・男女別にみた1人当たり医療費と医療費3要素の伸び率（対前年度比）

女性

○ 女性の場合も、10-14歳で受診率の伸び率が6.6%と高く、また、1人当たり医療費の伸びも8.0%と最も高くなっている。1人当たり医療費の伸び率は、次いで15-19歳で5.2%、25-29歳：4.7%、5-9歳：4.5%、20-24歳：4.0%—と比較的若い年齢階層での伸び率が高い傾向が示されている。



10. 医科：疾病（19）分類別 1人当たり医療費（対前年度比伸び率の高い順）

○ 表は、1人当たり医療費について対前年比の伸び率が高い順に並べてみたものである。最も高い伸び率を示しているのは、①「03:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」：11.1%であり、次いで、②「17:先天奇形、変形及び染色体異常」：8.3%、③「神経系の疾患」：7.3%、④「09:循環器系の疾患」：4.8%、⑤「13:筋骨格系及び結合組織の疾患」：4.0%となっている（次頁：疾病分類別医療費3要素と対前年比増減率も参照）。

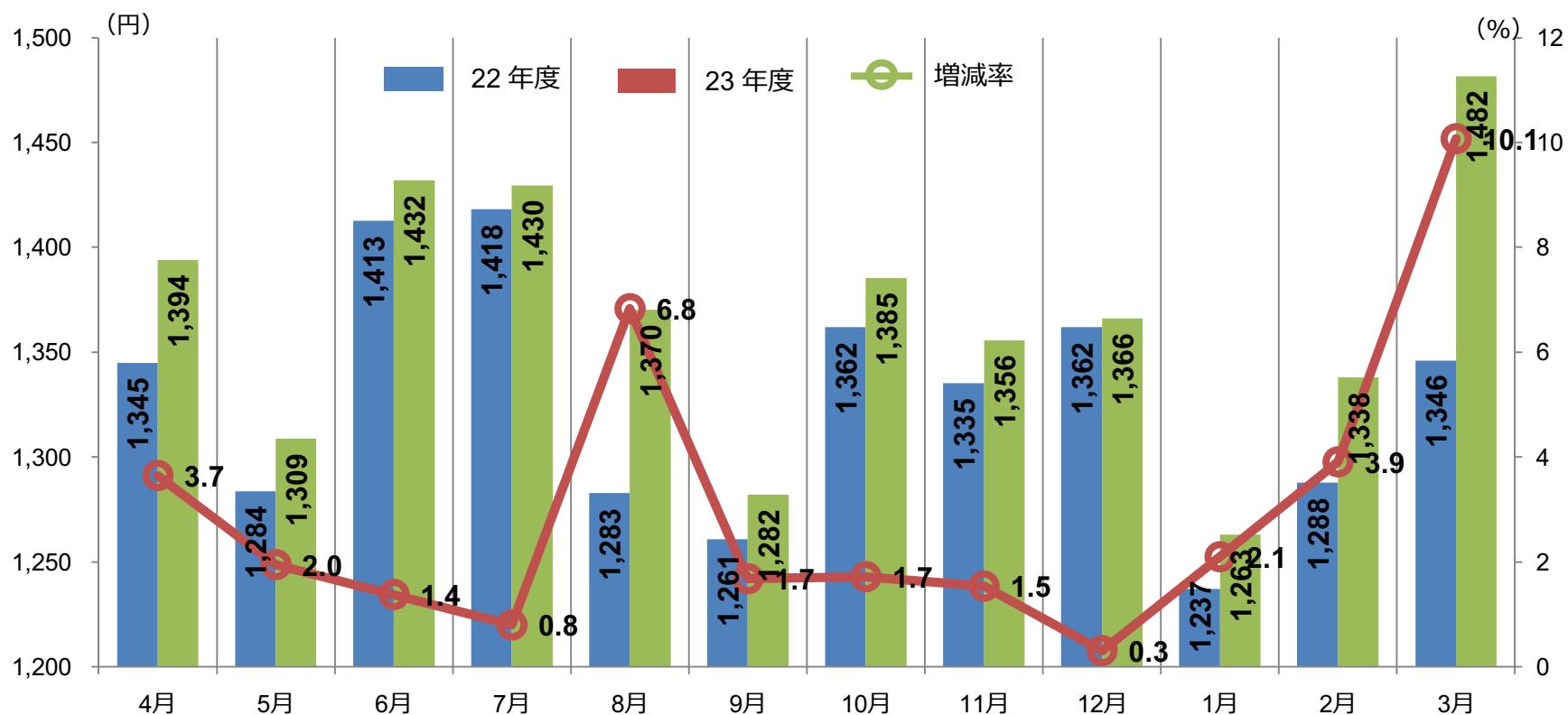
順位	医科・入院・入院外計（※前年度比で伸び率の高い順）	1人当たり医療費（円）		
		H22年度	H23年度	増減（%）
1	03:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,106	1,229	11.1
2	17:先天奇形、変形及び染色体異常	1,595	1,728	8.3
3	06:神経系の疾患	2,847	3,053	7.3
4	09:循環器系の疾患	10,491	10,994	4.8
5	13:筋骨格系及び結合組織の疾患	6,116	6,361	4.0
6	12:皮膚及び皮下組織の疾患	3,396	3,524	3.8
7	10:呼吸器系の疾患	11,732	12,114	3.3
8	02:新生物	12,521	12,926	3.2
9	16:周産期に発生した病態	1,840	1,894	3.0
10	11:消化器系の疾患	6,389	6,578	3.0
11	05:精神及び行動の障害	3,753	3,862	2.9
12	15:妊娠、分娩及び産じょく	2,071	2,126	2.6
13	19:損傷、中毒及びその他の外因の影響	4,348	4,456	2.5
14	04:内分泌、栄養及び代謝疾患	6,225	6,355	2.1
15	07:眼及び付属器の疾患	3,891	3,970	2.0
16	14:腎尿路生殖器系の疾患	5,143	5,239	1.9
17	18:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,631	1,613	-1.1
18	01:感染症及び寄生虫症	3,258	3,154	-3.2
19	08:耳及び乳様突起の疾患	1,222	1,147	-6.2

11. 医科（入院・入院外計）：疾病（19）分類別医療費3要素と対前年度比伸び率

疾病分類	1日当たり医療費			1件当たり日数			受診率		
	H22年度	H23年度	増減	H22年度	H23年度	増減	H22年度	H23年度	増減
01:感染症及び寄生虫症	7,246	7,151	-1.3	1.54	1.54	0.0	0.29	0.29	-1.9
02:新生物	32,011	32,887	2.7	2.20	2.18	-0.9	0.18	0.18	1.4
03:血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	16,968	18,497	9.0	1.81	1.80	-0.6	0.04	0.04	2.5
04:内分泌、栄養及び代謝疾患	11,348	11,535	1.7	1.43	1.40	-2.1	0.38	0.39	2.6
05:精神及び行動の障害	7,907	7,957	0.6	1.93	1.89	-2.1	0.25	0.26	4.4
06:神経系の疾患	12,652	13,089	3.5	1.80	1.77	-1.7	0.13	0.13	5.4
07:眼及び付属器の疾患	5,906	5,965	1.0	1.18	1.17	-0.9	0.56	0.57	1.9
08:耳及び乳様突起の疾患	5,606	5,744	2.5	1.82	1.77	-2.8	0.12	0.11	-5.8
09:循環器系の疾患	14,286	14,642	2.5	1.48	1.46	-1.4	0.50	0.51	3.7
10:呼吸器系の疾患	5,585	5,669	1.5	1.55	1.52	-1.9	1.36	1.41	3.7
11:消化器系の疾患	12,283	12,669	3.1	1.62	1.60	-1.2	0.32	0.32	1.1
12:皮膚及び皮下組織の疾患	4,467	4,472	0.1	1.37	1.36	-0.7	0.56	0.58	4.4
13:筋骨格系及び結合組織の疾患	7,199	7,385	2.6	2.30	2.28	-0.9	0.37	0.38	2.3
14:腎尿路生殖器系の疾患	15,100	15,099	0.0	1.83	1.81	-1.1	0.19	0.19	3.0
15:妊娠、分娩及び産じょく	20,351	20,750	2.0	3.02	3.04	0.7	0.03	0.03	0.0
16:周産期に発生した病態	45,128	45,740	1.4	3.64	3.54	-2.8	0.01	0.01	4.5
17:先天奇形、変形及び染色体異常	30,822	33,080	7.3	1.91	1.92	0.5	0.03	0.03	0.4
18:症状、徴候、異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,718	9,595	-1.3	1.50	1.48	-1.3	0.11	0.11	1.5
19:損傷、中毒及びその他の外因の影響	9,255	9,511	2.8	2.15	2.15	0.0	0.22	0.22	-0.3

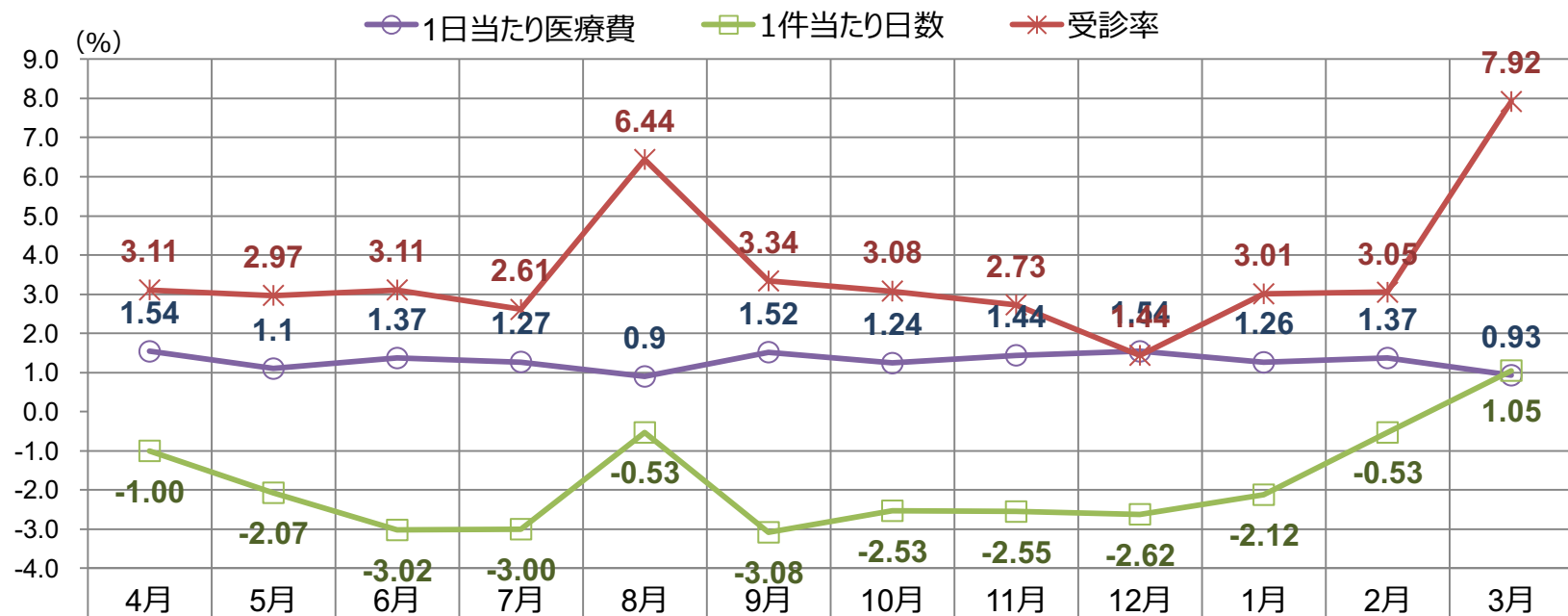
12. 歯科・入院外：1人当たり医療費と増減率の月次推移

- 1人当たり医療費は、いずれの月においても22年度より23年度の方が高いことがわかる。
- 増減率をみると、とくに8月：6.8%、3月：10.1%で顕著な伸びを示しているほか、2月：3.9%、4月：3.7%に非比較的高い伸びを示すなど、やや季節的な変動が大きい。



13. 歯科・入院外：医療費3要素の対前年同期比（増減率）の月次推移

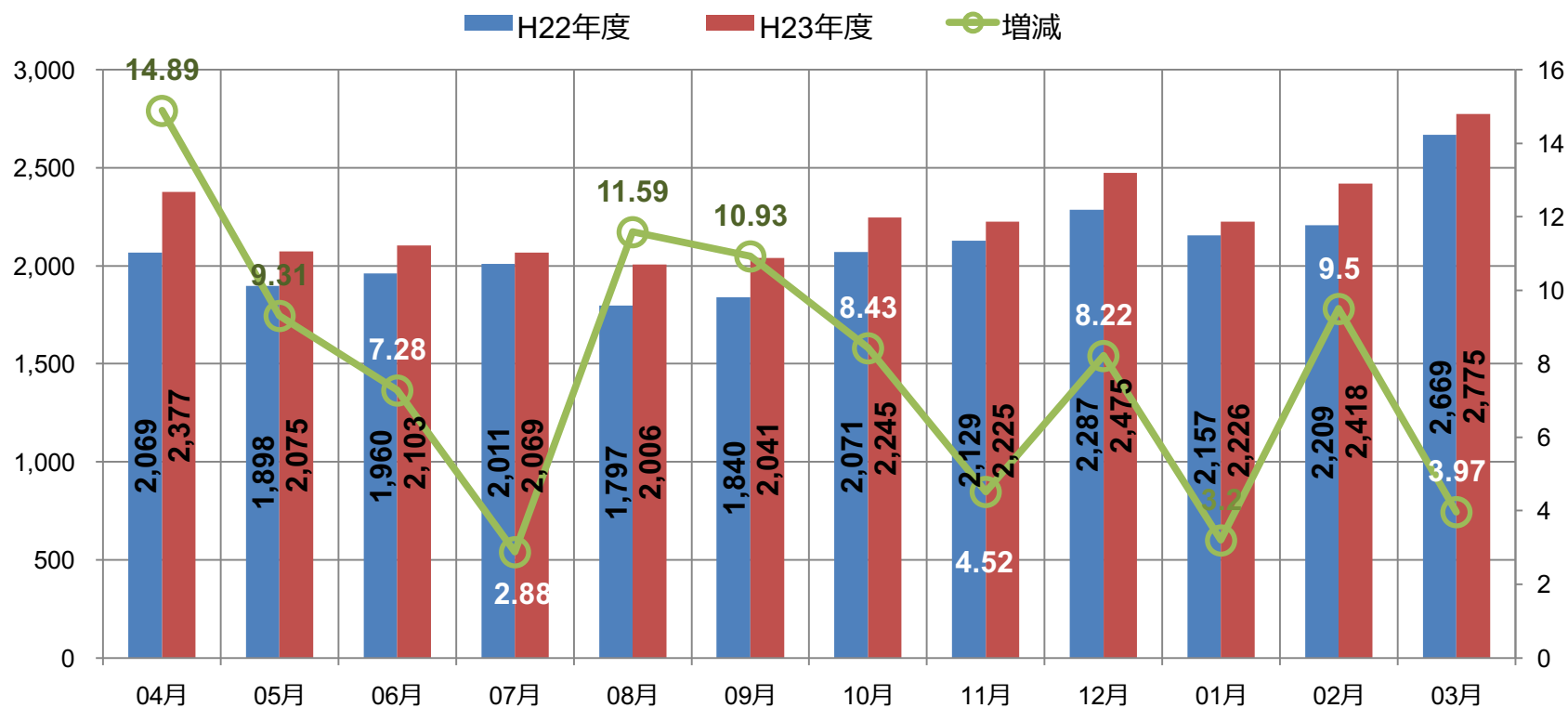
- 1日当たり医療費の増減率に大きな変動はみられない。
- 1件当たり日数は、3月を除きマイナスで推移していることがわかる。
- 受診率は、8月、12月の伸び率が顕著であるほか、全体的に高い伸び率で推移している。



1日当たり医療費	1.54	1.1	1.37	1.27	0.9	1.52	1.24	1.44	1.54	1.26	1.37	0.93
1件当たり日数	-1.00	-2.07	-3.02	-3.00	-0.53	-3.08	-2.53	-2.55	-2.62	-2.12	-0.53	1.05
受診率	3.11	2.97	3.11	2.61	6.44	3.34	3.08	2.73	1.44	3.01	3.05	7.92

14. 調剤：1人当たり医療費と増減率の月次推移

- H23年度と22年度の加入者1人当たり調剤医療費を比較すると、22年度が25,060円に対して23年度が27,008円となっており、7.77%増加している。
- 23年度の前年増減率をみると、4月、8月、9月の順に高い。
- 月別の1人当たり医療費について比較を行うと、両年とも3月、12月の順に高く、また8月、9月が最も低くなっている。



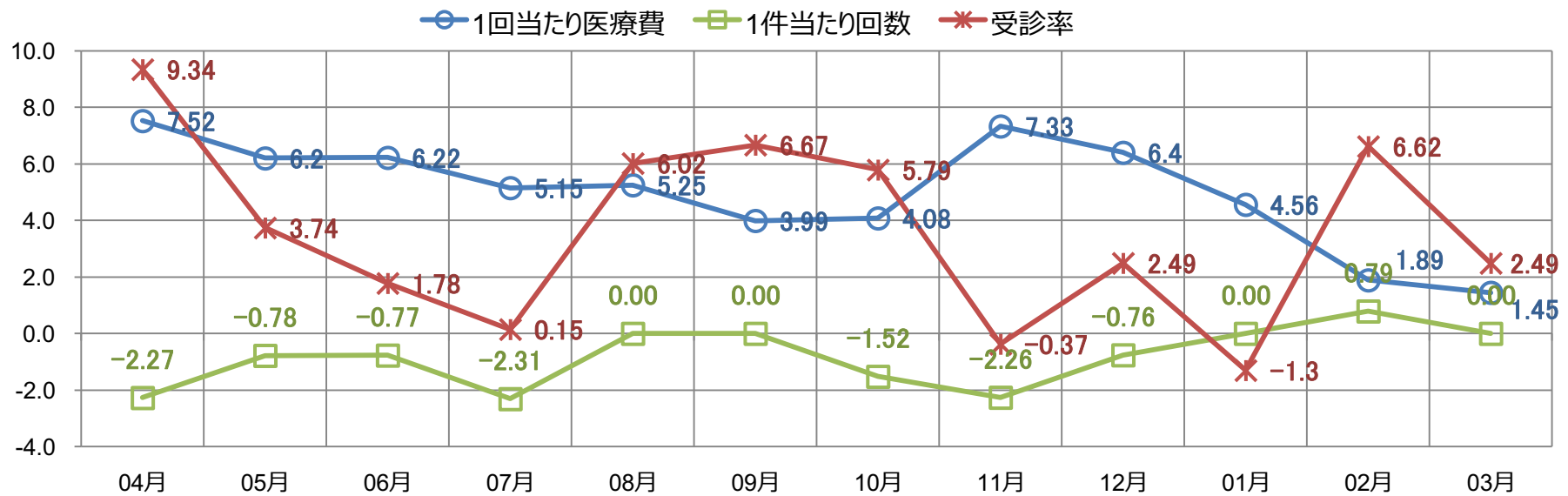
15. 調剤:月別 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素の比較

- 1 人当たり医療費を構成する医療費 3 要素別に 22 年度と 23 年度を比較すると、
 - 1) 1 回当たり医療費は、22 年は最も高い月が 3 月：6,547 円、最も低い月が 6 月：5,723 円、一方、23 年は最も高い月が 3 月：6,642 円、最も低い月が 6 月：6,079 円となっており、両年度とも同じ傾向が示されている。
 - 2) 1 件当たり回数は、22 年では最も高い月が 11 月：1.33 回、最も低い月が 8 月・1 月：1.25 回、23 年では最も高い月が 12 月：1.31 回、最も低い月が 8 月・1 月：1.25 回となっている。
 - 3) 受診率は、22 年では最も高い月が 3 月：0.31 件、最も低い月が 8 月・9 月：0.23、23 年でも最も高い月が 3 月 0.32、最も低い月が 8 月：0.24 となっている。
- 変動幅は、22 年、23 年とも 1 回当たり医療費が大きく、1 人当たり医療費の変動に関する影響が大きいとみられる。また、医療費 3 要素の各数値の月別変化は 22 年、23 年とも似た動向になっている。

	診療年月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 回当たり 医療費	22 年度	6,023	5,772	5,723	5,941	6,227	6,236	6,011	5,867	6,160	6,233	6,236	6,547
	23 年度	6,476	6,130	6,079	6,247	6,554	6,485	6,256	6,297	6,554	6,517	6,354	6,642
	増減(%)	7.52	6.20	6.22	5.15	5.25	3.99	4.08	7.33	6.40	4.56	1.89	1.45
1 件当たり 回数	22 年度	1.32	1.28	1.30	1.30	1.25	1.27	1.32	1.33	1.32	1.25	1.26	1.30
	23 年度	1.29	1.27	1.29	1.27	1.25	1.27	1.30	1.30	1.31	1.25	1.27	1.30
	増減(%)	-2.27	-0.78	-0.77	-2.31	0.00	0.00	-1.52	-2.26	-0.76	0.00	0.79	0.00
受診率	22 年度	0.26	0.26	0.26	0.26	0.23	0.23	0.26	0.27	0.28	0.28	0.28	0.31
	23 年度	0.28	0.27	0.27	0.26	0.24	0.25	0.28	0.27	0.29	0.27	0.30	0.32
	増減(%)	9.34	3.74	1.78	0.15	6.02	6.67	5.79	-0.37	2.49	-1.3	6.62	2.49

16. 調剤医療費 3 要素の前年同期比（増減率）の月次推移

- 1 件当たり回数に大きな変動は見られない。受診率は 4 月、9 月、2 月の伸び率が高く、1 回当たり医療費は 4 月、11 月の伸び率が高くなっている。
- 1 回当たり医療費と受診率が、1 人当たり医療費の伸び率に対する影響が大きいものと考えられる。



	4月	5月	6月	7月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月
1 回当たり医療費	7.52	6.20	6.22	5.15	5.25	3.99	4.08	7.33	6.40	4.56	1.89	1.45
1 件当たり回数	-2.27	-0.78	-0.77	-2.31	0.00	0.00	-1.52	-2.26	-0.76	0.00	0.79	0.00
受診率	9.34	3.74	1.78	0.15	6.02	6.67	5.79	-0.37	2.49	-1.30	6.62	2.49

【担当・照会先】

健康保険組合連合会 IT 推進部 データ分析推進グループ

e-mail : da@kenporen.or.jp